ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041101) Communicative English Ⅰ L(1) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2021年度** 前期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 森川　光与	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
クラスへの出席・積極的参加：20%
小テスト・期末試験：20%
授業での発表等（予習・復習）：20%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
　e-learningのサポート等
　TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授 業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【授業計画】
　第1回：オリエンテーション
　第2 - 15回：テキストUnit 1～14の演習活動
　授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
　インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041102) Communicative English Ⅰ L(2) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト20%・授業参加（課題・予習・復習）20%・期末試験20%：60%

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】各週の授業内容についてはMoodle のトピックを確認してください。
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。前時の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

3) 小テストおよび期末試験については授業で事前に周知します。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー	授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ	
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。	

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041103) Communicative English Ⅰ L(3) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井　克己	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト:10%
中間試験1:25%
中間試験2:25%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（安全な範囲でのコミュニケーション活動）

【授業計画】
この科目は基本的に対面授業を行います。
ただし新型コロナウイルスの感染状況により，遠隔授業に変更する可能性があります。緊急連絡は教務システム(Dream Campus)で行いますので，指示に従ってください。
Wk 1 (April 9): introduction to the course, Unit 1
Wk 2 (April 16): Unit 2, TOEIC練習1
Wk 3 (April 23): Unit 3, quiz 1
Wk 4 (April 30): Unit 4, TOEIC練習2
Wk 5 (May 14): Unit 5, quiz 2
Wk 6 (May 21): Unit 6, TOEIC練習3
Wk 7 (May 28): Tutorial, mid-term exam 1
Wk 8 (June 4): Unit 7, TOEIC練習4
Wk 9 (June 11): Unit 8, quiz 3
Wk 10 (June 18): Unit 9, TOEIC練習5
Wk 11 (June 25): Unit 10, quiz 4
Wk 12 (July 2): Unit 11, TOEIC練習6
Wk 13 (July 9): Unit 12, quiz 5
Wk 14 (July 16): Tutorial, mid-term exam 2
Wk 15 (July 21!): Unit 13-14
授業外：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され，成績の一部となります。TOEIC対策にもなりますので，計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って復習し，小テストに備えてください。

教科書・参考書等

ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
教科書代金にe-learning利用料が含まれた特別版ですので，必ず生協で購入のこと。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

手洗いや消毒，常時換気（窓開放）と安全な距離の確保等の感染防止対策を行った上で、対面授業を実施します。

マスクを着用し，1回目の授業で指定した場所に着席してください。大声や飲食は厳禁です。体調管理に気を遣い，咳や発熱等の症状が少しでもあれば，躊躇なく連絡して欠席（特別な理由による公欠）してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041104) Communicative English Ⅰ L(4) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 瀬良　和彦	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
平常点［提出率・課題内容・小テストなど］30%（４回未提出で単位不認定）
期末テスト30%（未受験の場合は単位を認定しない、成績不振による救済措置はしない）
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
この科目は基本的に対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST

Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041105) Communicative English Ⅰ L(5) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ビラ　ダビッド	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

In-class effort, participation, small assignments: 20%
Weekly quizzes: 20%
Midterm test: 10%
Final test: 10%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

この科目は基本的に遠隔授業を行います。一部の授業回では対面授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041106) Communicative English Ⅰ L(6) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ L(6)	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%

20% In Class Effort
20% Midterm exam
20% final exam

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

Classes will be held face-to-face, on campus. We may need to switch to online lessons if the situation with COVID worsens.

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。
教員の実務経験との関連
I have taught English for over 10 years in both England and Japan. I have taught all types of English, from business and education, to conversation. I hold an MA in Creative Writing and CELTA certificate.

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041107) Communicative English Ⅰ L(7) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2021年度** 前期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 篠原　範子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト　20%・授業での発表等（予習・復習などの宿題を含む）30%・期末試験 10%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041108) Communicative English Ⅰ L(8) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2021年度** 前期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ヒル　スティーブ	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

・作文・課題・小テスト・授業での発表等：30%
・期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2‐15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
この科目は基本的に遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041110) Communicative English Ⅰ JE(1) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト: 20%
中/期末試験：40%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci.
SEIBIDO.　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー 水曜日13:00時から14:00時まで

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041111) Communicative English Ⅰ JE(2) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 アダム・ブロッド	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト：10％
宿題：２５％
期末試験：２５％
TOEIC-IPの結果：20％（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60％未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

この授業は、基本的に対面で行いますが、一部遠隔でも行います。

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii Chinatsu Hirata Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi Masahiko Iwata Joe Ciunci
SEIBIDO ISBN 978-4-7919-7197-8

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041112) Communicative English Ⅰ JE(3) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 瀬良　和彦	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
平常点［提出率・課題内容・小テストなど］30%（４回未提出で単位不認定）
期末テスト30%（未受験の場合は単位を認定しない、成績不振による救済措置はしない）
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
この科目は基本的に対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041113) Communicative English Ⅰ JE(4) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2021年度** 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 コールドウェル　アンドリュージョン	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

この科目は基本的に遠隔授業を行います。一部の授業回では対面授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041114) Communicative English Ⅰ JE(5) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 森川　光与	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
クラスへの出席・積極的参加：20%
小テスト・期末試験：20%
授業での発表等（予習・復習）：20%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授 業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041115) Communicative English Ⅰ JE(6) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井　克己	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト:10%
中間試験1:25%
中間試験2:25%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（安全な範囲でのコミュニケーション活動）

【授業計画】
この科目は基本的に対面授業を行います。
ただし新型コロナウイルスの感染状況により，遠隔授業に変更する可能性があります。緊急連絡は教務システム(Dream Campus)で行いますので，指示に従ってください。
Wk 1 (April 14): introduction to the course, Unit 1
Wk 2 (April 21): Unit 2, TOEIC練習1
Wk 3 (April 28): Unit 3, quiz 1
Wk 4 (May 7, Fri): Unit 4, TOEIC練習2
Wk 5 (May 12): Unit 5, quiz 2
Wk 6 (May 19): Unit 6, TOEIC練習3
Wk 7 (May 26): Tutorial, mid-term exam 1
Wk 8 (June 2): Unit 7, TOEIC練習4
Wk 9 (June 9): Unit 8, quiz 3
Wk 10 (June 16): Unit 9, TOEIC練習5
Wk 11 (June 23): Unit 10, quiz 4
Wk 12 (June 30): Unit 11, TOEIC練習6
Wk 13 (July 7): Unit 12, quiz 5
Wk 14 (July 14): Tutorial, mid-term exam 2
Wk 15 (July 28): Unit 13-14
授業外：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され，成績の一部となります。TOEIC対策にもなりますので，計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って復習し，小テストに備えてください。

教科書・参考書等

ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
教科書代金にe-learning利用料が含まれた特別版ですので，必ず生協で購入のこと。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

手洗いや消毒，常時換気（窓開放）と安全な距離の確保等の感染防止対策を行った上で、対面授業を実施します。

マスクを着用し，1回目の授業で指定した場所に着席してください。大声や飲食は厳禁です。体調管理に気を遣い，咳や発熱等の症状が少しでもあれば，躊躇なく連絡して欠席（特別な理由による公欠）してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041116) Communicative English Ⅰ JE(7) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ビラ　ダビッド	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

In-class effort, participation, small assignments: 20%
Weekly quizzes: 20%
Midterm test: 10%
Final test: 10%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

この科目は基本的に遠隔授業を行います。一部の授業回では対面授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041117) Communicative English Ⅰ JE(8) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 竹中　千鶴	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 480 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

平常点（小テスト・課題を含む）：30%
期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)2020. 成美堂.
ISBN 978-4-7919-7197-8

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041118) Communicative English Ⅰ JE(9) Communicative English Ⅰ Communicative English I JE (9)	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%

20% In Class Effort
20% Mid term exam
20% Final Exam
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

Classes will be held face-to-face, on campus. We may need to switch to online lessons if the situation with COVID worsens.

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。
教員の実務経験との関連 I have taught English for over 10 years in both England and Japan. I have taught all types of English, from business and education, to conversation. I hold an MA in Creative Writing and CELTA certificate.

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041119) Communicative English Ⅰ JE(10) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中島　友愛	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
毎回の提出課題：25%
期末試験：25%
授業への熱心なとりくみ：10%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

この授業は基本的に対面授業を行います。
一部の授業回では遠隔授業を行います。
なお、状況によっては授業形態をすべて対面または遠隔へ変更する可能性があります。
第1回の授業形態(対面・遠隔)については、直前の感染拡大状況により決定しますので、
開講直前に配信されるドリームキャンパスのメッセージで必ず確認してください。
授業形態にかかわらず第1回授業までに必ず教科書を購入しておいてください。
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2‐15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー	授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ	
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。	

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041120) Communicative English Ⅰ JE(11) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中井　富紀	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

予習(語いリスト)30%：期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
＊マスク着用、教室全窓開放の上、対面で授業を実施する。

e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2‐15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー 幸町北キャンパス教育学部棟3号館4階 中井研究室（特命講師控室）

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041121) Communicative English Ⅰ JE(12) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ヒル　スティーブ	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

・作文・課題・小テスト・授業での発表等：30%　　・期末試験：30%

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

e-learningのサポート等

TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1）e-learning（English Central）

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2）TOEIC対策テキスト

　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

この科目は基本的に遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST

Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci

SEIBIDO　　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041122) Communicative English Ⅰ JE(13) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2021年度** 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中島 友愛	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
毎回の提出課題：25%
期末試験：25%
授業への熱心なとりくみ：10%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

この授業は基本的に対面授業を行います。
一部の授業回では遠隔授業を行います。
なお、状況によっては授業形態をすべて対面または遠隔へ変更する可能性があります。
第1回の授業形態(対面・遠隔)については、直前の感染拡大状況により決定しますので、
開講直前に配信されるドリームキャンパスのメッセージで必ず確認してください。
授業形態にかかわらず第1回授業までに必ず教科書を購入しておいてください。
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2‐15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii Chinatsu Hirata Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi Masahiko Iwata Joe Ciunci
SEIBIDO ISBN 978-4-7919-7197-8

オフィスアワー	授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ	
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。	

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041123) Communicative English Ⅰ JE(14) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 瀬良　和彦	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
平常点［提出率・課題内容・小テストなど］30％（４回未提出で単位不認定）
期末テスト30％（未受験の場合は単位を認定しない、成績不振による救済措置はしない）
TOEIC-IPの結果：20％（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
この科目は基本的に対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2‐15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041124) Communicative English Ⅰ JE(15) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・宿題等：20%
中間試験: 20%
期末試験： 20%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2‐15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

この科目は基本的に対面授業を行います。なお状況によっては授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii, Chinatsu Hirata, Yuko Matsumura, Osamu Yamaguchi, Masahiko Iwata, & Joe Ciunci.
Tokyo: SEIBIDO. ISBN 978-4-7919-7197-8

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041125) Communicative English Ⅰ JE(16) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 竹中　千鶴	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 480 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

平常点（小テスト・課題を含む）：30%
期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)2020. 成美堂.
ISBN 978-4-7919-7197-8

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041126) Communicative English Ⅰ JE(17) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 鳥越　洋子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
授業での発表・参加度：30%
小テスト・課題：30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041127) Communicative English Ⅰ JE(18) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 柏原　智美	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

授業態度及び各活動への取り組み：30%
期末テスト：30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
授業形態としては、基本的に対面授業を行いますが、状況によっては全てまたは一部の授業回を遠隔授業へ変更する可能性があります。
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等 TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST

Takayuki Ishii Chinatsu Hirata Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi Masahiko Iwata Joe Ciunci
SEIBIDO ISBN 978-4-7919-7197-8

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041129) Communicative English Ⅰ T(1) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中島　友愛	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
毎回の提出課題：25%
期末試験：25%
授業への熱心なとりくみ：10%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

この授業は基本的に対面授業を行います。
一部の授業回では遠隔授業を行います。
なお、状況によっては授業形態をすべて対面または遠隔へ変更する可能性があります。
第1回の授業形態(対面・遠隔)については、直前の感染拡大状況により決定しますので、
開講直前に配信されるドリームキャンパスのメッセージで必ず確認してください。
授業形態にかかわらず第1回授業までに必ず教科書を購入しておいてください。
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2‐15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー	授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ	
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。	

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041130) Communicative English Ⅰ T(2) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 水野　康一	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）：30%・期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー 火曜日４時限目，金曜４時限目

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041131) Communicative English Ⅰ T(3) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 柏原　智美	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

授業態度及び各活動への取り組み：30%
期末テスト：30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
授業形態としては、基本的に対面授業を行いますが、状況によっては全てまたは一部の授業回を遠隔授業へ変更する可能性があります。
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041132) Communicative English Ⅰ T(4) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 田口　明美	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・平常点: 20%
期末試験：40%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第8回: 小テスト
第2‐15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー　教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入しておいてください。

教員の実務経験との関連
全国通訳案内士および司法通訳の実務経験を活かし、日本文化や異文化に対する知識や理解を深められるよう講義を行います。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041133) Communicative English Ⅰ T(5) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2021年度** 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中住　幸治	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 420 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
中間・期末試験：35%（未受験の場合は単位を認定しない）
小テスト、宿題、授業内活動：25%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第２ - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

この科目は基本的に対面授業で行いますが、状況によっては授業形態を一部又は全て遠隔へ変更する可能性もあります。

【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)
2020. 成美堂. ISBN 978-4-7919-7197-8

オフィスアワー 木曜日 12:30~13:30 幸町キャンパス北5号館5階 中住研究室

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

教員の実務経験との関連
高等学校に勤務経験あり。英語を担当。高等学校での実務経験を基にTOEIC対策を中心とした授業を行います。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041134) Communicative English Ⅰ T(6) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ビラ　ダビッド	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

In-class effort, participation, small assignments: 20%
Weekly quizzes: 20%
Midterm test: 10%
Final test: 10%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

この科目は基本的に遠隔授業を行います。一部の授業回では対面授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041135) Communicative English Ⅰ T(7) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ガルシア　フェルナンデス　マリアグデリア	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

・参加（In-class effort）: 20%・中間試験（Midterm exam）: 20%・期末試験（Final exam）：20%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。This course will be taught face-to-face in all sessions, but there is a possibility that some or all of the classes will be taught remotely.

【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041136) Communicative English Ⅰ T(8) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 杉田　貴瑞	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

期末試験：30%
小テスト、宿題、授業内活動：30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041137) Communicative English Ⅰ T(9) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ T (9)	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%

20% In Class effort
20% Midterm Exam
20% Final exam
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

この科目は基本的に対面授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります
Classes will be held face-to-face, on campus. We may need to switch to online lessons if the situation with COVID worsens.

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー	授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

教員の実務経験との関連

I have taught English for over 10 years in both England and Japan. I have taught all types of English, from business and education, to conversation. I hold an MA in Creative Writing and CELTA certificate.

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041138) Communicative English Ⅰ T(10) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2021年度** 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 コールドウェル　アンドリュージョン	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

この科目は基本的に遠隔授業を行います。一部の授業回では対面授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041139) Communicative English Ⅰ T(11) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中井　富紀	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

予習(語いリスト)30%：期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
＊マスク着用、教室全窓開放の上、対面で授業を実施する。

e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2‐15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー 幸町北キャンパス教育学部棟3号館4階 中井研究室（特命講師控室）

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041155) Communicative English Ⅰ T(12) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 永尾　智	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

・小テスト・授業での発表等（予習・復習）：30%
・期末試験：30%
・TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
・e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

この授業は基本的に《対面授業》方式で実施します。

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2‐15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定します。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041156) Communicative English Ⅰ T(13) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 篠原　範子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト　20%・授業での発表等（予習・復習などの宿題を含む）30%・期末試験 10%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等　TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041140) Communicative English Ⅰ A(1) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2021年度** 前期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 鳥越　洋子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
授業での発表・参加度：30%
小テスト・課題：30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2‐15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041141) Communicative English Ⅰ A(2) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2021年度** 前期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中島 友愛	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
毎回の提出課題：25%
期末試験：25%
授業への熱心なとりくみ：10%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

この授業は基本的に対面授業を行います。
一部の授業回では遠隔授業を行います。
なお、状況によっては授業形態をすべて対面または遠隔へ変更する可能性があります。
第1回の授業形態(対面・遠隔)については、直前の感染拡大状況により決定しますので、
開講直前に配信されるドリームキャンパスのメッセージで必ず確認してください。
授業形態にかかわらず第1回授業までに必ず教科書を購入しておいてください。
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2‐15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii Chinatsu Hirata Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi Masahiko Iwata Joe Ciunci
SEIBIDO ISBN 978-4-7919-7197-8

オフィスアワー	授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ	
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。	

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041142) Communicative English Ⅰ A(3) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 柏原　智美	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

授業態度及び各活動への取り組み：30%
期末テスト：30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
授業形態としては、基本的に対面授業を行いますが、状況によっては全てまたは一部の授業回を遠隔授業へ変更する可能性があります。
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041143) Communicative English Ⅰ A(4) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 竹中　千鶴	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 420 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

平常点（小テスト・課題を含む）：30%
期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第２ - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)2020. 成美堂.
ISBN 978-4-7919-7197-8

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041144) Communicative English Ⅰ A(5) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 瀬良　和彦	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
平常点［提出率・課題内容・小テストなど］30%（４回未提出で単位不認定）
期末テスト30%（未受験の場合は単位を認定しない、成績不振による救済措置はしない）
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
この科目は基本的に対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041145) Communicative English Ⅰ A(6) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト20%・授業参加（課題・予習・復習）20%・期末試験20%：60%

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。前時の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

3) 小テストおよび期末試験については授業で事前に周知します。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041146) Communicative English Ⅰ A(7) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井　克己	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト:10%
中間試験1:25%
中間試験2:25%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（安全な範囲でのコミュニケーション活動）

【授業計画】
この科目は基本的に対面授業を行います。
ただし新型コロナウイルスの感染状況により，遠隔授業に変更する可能性があります。緊急連絡は教務システム(Dream Campus)で行いますので，指示に従ってください。
Wk 1 (April 15): introduction to the course, Unit 1
Wk 2 (April 22): Unit 2, TOEIC練習1
Wk 3 (April 29!): Unit 3, quiz 1
Wk 4 (May 6): Unit 4, TOEIC練習2
Wk 5 (May 13): Unit 5, quiz 2
Wk 6 (May 20): Unit 6, TOEIC練習3
Wk 7 (May 27): Tutorial, mid-term exam 1
Wk 8 (June 3): Unit 7, TOEIC練習4
Wk 9 (June 10): Unit 8, quiz 3
Wk 10 (June 17): Unit 9, TOEIC練習5
Wk 11 (June 24): Unit 10, quiz 4
Wk 12 (July 1): Unit 11, TOEIC練習6
Wk 13 (July 8): Unit 12, quiz 5
Wk 14 (July 15): Tutorial, mid-term exam 2
Wk 15 (July 22!): Unit 13-14
授業外：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され，成績の一部となります。TOEIC対策にもなりますので，計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って復習し，小テストに備えてください。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Ishii　他，SEIBIDO ISBN　978-4-7919-7197-8
（この教科書の代金にはe-learning利用料が含まれています）

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

手洗いや消毒，常時換気（窓開放）と安全な距離の確保等の感染防止対策を行った上で、対面授業を実施します。

マスクを着用し，1回目の授業で指定した場所に着席してください。大声や飲食は厳禁です。体調管理に気を遣い，咳や発熱等の症状が少しでもあれば，躊躇なく連絡して欠席（特別な理由による公欠）してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041148) Communicative English Ⅰ M(1) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2021年度** 前期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中井　富紀	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

予習(語いリスト)30%：期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
＊マスク着用、教室全窓開放の上、対面で授業を実施する。

e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2‐15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー　幸町北キャンパス教育学部棟3号館4階 中井研究室（特命講師控室）

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041149) Communicative English Ⅰ M(2) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2021年度** 前期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 篠原　範子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト　20%・授業での発表等（予習・復習などの宿題を含む）30%・期末試験 10%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041150) Communicative English Ⅰ M(3) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2021年度** 前期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 コールドウェル　アンドリュージョン	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

この科目は基本的に遠隔授業を行います。一部の授業回では対面授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041151) Communicative English Ⅰ M(4) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ M (4)	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%

20% In Class Effort
20% Midterm Exam
20% Final Exam

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

この科目は基本的に対面授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。Classes will be held face-to-face, on campus. We may need to switch to online lessons if the situation with COVID worsens.

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー	授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

教員の実務経験との関連

I have taught English for over 10 years in both England and Japan. I have taught all types of English, from business and education, to conversation. I hold an MA in Creative Writing and CELTA certificate.

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041152) Communicative English Ⅰ NP(1) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2021年度** 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 コールドウェル　アンドリュージョン	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

この科目は基本的に遠隔授業を行います。一部の授業回では対面授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041153) Communicative English Ⅰ NP(2) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ NP (2)	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%

20% In Class Effort
20% Midterm Exam
20% Final Exam
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

Classes will be held face-to-face, on campus. We may need to switch to online lessons if the situation with COVID worsens.

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。
教員の実務経験との関連 I have taught English for over 10 years in both England and Japan. I have taught all types of English, from business and education, to conversation. I hold an MA in Creative Writing and CELTA certificate.

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041154) Communicative English Ⅰ NP(3) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中井　富紀	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

予習(語いリスト)30%：期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
＊マスク着用、教室全窓開放の上、対面で授業を実施する。

e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー 幸町北キャンパス教育学部棟3号館4階 中井研究室（特命講師控室）

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041157) Communicative English Ⅰ NP(4) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 篠原　範子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト　20%・授業での発表等（予習・復習などの宿題を含む）30%・期末試験 10%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST
Takayuki Ishii　Chinatsu Hirata　Yuko Matsumura Osamu Yamaguchi　Masahiko Iwata　Joe Ciunci
SEIBIDO　　ISBN　978-4-7919-7197-8

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041201) Communicative English Ⅱ L(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II L (1)	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

In Class Effort: 20% (assignments, quizzes and activities.)
Midterm exam: 10%
Final exam: 20%)
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

The procedure for each class is as follows.

Class start-Support for e-learning, etc followed by exercises using textbooks (communication activities)

[Class plan]

1st: Orientation
2-15: Exercise activities using textbooks
Outside class (schedule is specified separately): TOEIC-IP test
[Advice on self-study]
(1) e-learning (English Central)
Compliant with textbooks using an internet-connected computer or smartphone We will learn English related to TOEIC measures based on the videos. Learning outcomes are recorded on the server and considered as part of the grade. Please work systematically.
(2) Main texts
Texts are used in class. Please prepare for the lesson according to the instructions of the person in charge of the lesson. The specific content of the preparation will differ from class to class.

90 minutes per week should be used for e-learning and homework.

Classes will be held face-to-face, on campus. We may need to switch to online lessons if the situation with COVID worsens.

教科書・参考書等

Traveler Intermediate

H.Q Mitchell MM Publications ISBN: 9789004439744
オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041202) Communicative English Ⅱ L(2) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 コールドウェル　アンドリュージョン	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：50％
TOEIC-IPの結果：30％（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション
第2 - 5回: Activities from the textbook (Units 1 to 5)
第6回: Section Test (Units 1 to 5) and continue textbook activities.
第7 - 10回: Activities from the textbook (Units 7 to 10)
第11回: Section Test (Units 7 to 10) and continue textbook activities.
第12 - 15回 Activities from the textbook (Units 11 to 15)
第16回: Final Test

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

この科目は基本的に遠隔授業を行います。一部の授業回では対面授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

Our World Today. (Adam Murray & Anderson Passos) 南雲堂. ISBN 9784523178903.

オフィスアワー	授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ	
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。	

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041203） Communicative English Ⅱ L(3) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2021年度 後期金4	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 ビラ　ダビッド	関連授業科目　主題科目B-2で提供される講義 履修推奨科目　Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間）　）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

In-class participation and effort: 20%
Midterm Exam: 15%
Final Exam: 15%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始‐10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分‐授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2‐15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

この科目は基本的に遠隔授業を行います。一部の授業回では対面授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

Our World Today.（Adam Murray & Anderson Passos）南雲堂. ISBN 978-4523178903.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041204) Communicative English Ⅱ L(4) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ヒル　スティーブ	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

・作文・課題・小テスト・授業での発表等：30%
・期末試験：20％
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
　毎回の授業の進め方は下記の通りです。教科書を使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

この科目は基本的に遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

Our World Today.（Adam Murray & Anderson Passos）南雲堂. ISBN 978-4523178903

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041205) Communicative English Ⅱ L(5) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 森川　光与	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

クラスへの出席・積極的参加：15％
小テスト・期末試験：15％
授業での発表等（予習・復習）：20％
TOEIC-IPの結果：30％（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授 業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回～第15回：テキストに沿ってリーディングの技法を学ぶ。詳細はクラスでお話します。
期末試験日：具体的な指示は授業で行います。計画的に準備しておくこと。
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

World English 2A Combo Split Third Edition, Hughs, J. et al. ISBN: 978-0-35-713031-5

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041206) Communicative English Ⅱ L(6) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 瀬良　和彦	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

平常点［提出率・課題内容・小テストなど］30％（４回未提出で単位不認定）
期末テスト20％（未受験の場合は単位を認定しない）
TOEIC-IPの結果：30％（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

この科目は基本的に対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【授業計画】

第1回：オリエンテーション
第2回：Introduction to Environmental Issues
第3回：Climate Change
第4回：Energy
第5回：Waste
第6回：Review 1: Units 1-4（小テスト）
第7回：Population Growth
第8回：Pollution
第9回：Water
第10回：Deforestation
第11回：Review 2: Units 6-9（小テスト）
第12回：Hydroelectricity
第13回：Solar Panels
第14回：Wind Turbies
第15回：Nuclear Energy
第16回：Review 3: Units 11-14（期末テスト：予定）
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

(1) e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

(2) テキスト 　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
教科書・参考書等 Our World Today.(Adam Murray & Anderson Passos).2019.Nan'un-do. ISBN:9784523178903.
オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041207) Communicative English Ⅱ L(7) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 篠原　範子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
期末テスト：15%・小テスト：10％・宿題：10％・授業貢献度：15%
TOEIC-IPの結果：30%
e-learning：20％（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストを使用しての演習：詳細についてはオリエンテーション時に説明。
定期試験は15回に含めません。
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Let's Read Aloud & Learn English: On Campus. (Kamoyama & Capper). 2019. 成美堂. ISBN 978-4791971824.

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041208) Communicative English Ⅱ L(8) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

Class-participation and homework - 20%
Mid-term assignment - 15%
Final assignment - 15%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

【授業の方法】
授業担当者が毎回の授業の進め方について記述してください。毎回の授業がどのように展開されるのか、または授業でどのような活動を行うのかについて具体的に記述してください。

【授業計画】

第1回：オリエンテーション
第2‐6回：Activities based on the textbook and handouts
第7回: Mid-term assignment
第8‐14回: Activities based on the textbook and handouts
第15回: Final Assignment

授業外（日程は別途指示：TOEIC-IPテスト

自学自習に関するアドバイス】

(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

(2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の

具体的な内容については授業ごとに異なります。
教科書・参考書等 CBS NewsBreak 5 by Nobuhiro Kumai & Stephen Timson. Seibido (2021). ISBN: 9784791972302
オフィスアワー　オフィスアワー: 水曜日13:00時から14:00時
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041210) Communicative English Ⅱ JE(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト:20%
期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等　会話練習
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第１回：オリエンテーション　Unit 1 Develop Your Intercultural Awareness
第２回：Unit2 Understand Intercultural Diversity in Peoples and Places
第３回：Be a Good Consumer
第４回：Learn about Food, Culture and Society
第５回：Have Better Lifestyles in Different Cultures
第６回：Be an Intercultural Traveler / 小テスト(Moodle)
第７回：Cultivate Global Citizenship
第８回：Study the Education System
第９回：Appreciate the Arts
第10回：See the Potential of Artificial Intelligence(AI)
第11回：Change Your Attitude toward Gender Roles　/ 小テスト(Moodle)
第12回：Live Well in a Cashless Society
第13回：Pray for No More Wars and Just Peace
第14回：Address Immigration Issues
第15回：Engage a Lot More in Globalization
期末試験

授業外：TOEIC-IPテスト（日程は別途指示）

【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて、ビデオ動画に基づいたリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。前時の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

3) 小テストおよび期末試験については授業で事前に周知します。

教科書・参考書等

Intercultural Awareness CLIL 英語で培う文化間意識　笹島茂他　三修社　2020
ISBN978-4-384-33494-4

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041211) Communicative English Ⅱ JE(2) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ガルシア　フェルナンデス　マリアグデリア	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

In-class effort: 10%　Midterm exam: 20%　Final Exam: 20%

TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。This course will be taught face-to-face in all sessions, but there is a possibility that some or all of the classes will be taught remotely.

【自学自習に関するアドバイス】

(1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

(2) テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Traveler Intermediate by HQ Mitchel, ISBN: 978-960-443-974-4, publisher: MM Publications

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041212) Communicative English Ⅱ JE(3) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 コールドウェル　アンドリュージョン	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：50％

TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 5回: Activities from the textbook (Units 1 to 5)
第6回: Section Test (Units 1 to 5) and continue textbook activities.
第7 - 10回: Activities from the textbook (Units 7 to 10)
第11回: Section Test (Units 7 to 10) and continue textbook activities.
第12 - 15回 Activities from the textbook (Units 11 to 15)
第16回: Final Test

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
この科目は基本的に遠隔授業を行います。一部の授業回では対面授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

Our World Today. (Adam Murray & Anderson Passos) 南雲堂. ISBN 9784523178903.

オフィスアワー	授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ	
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。	

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041213) Communicative English Ⅱ JE(4) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ヒル　スティーブ	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

・作文・課題・小テスト・授業での発表等：30%
・期末試験：20％
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
教科書を使用しての演習（コミュニケーション活動）
。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

この科目は基本的に遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

Our World Today.（Adam Murray & Anderson Passos）南雲堂. ISBN 978-4523178903.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041214) Communicative English Ⅱ JE(5) Communicative English Ⅱ Communicative English II JE (5)	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

In Class Effort: 20% (assignments, quizzes and activities.)
Midterm exam: 10%
Final exam: 20%)
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

The procedure for each class is as follows.

Class start-Support for e-learning, etc followed by exercises using textbooks (communication activities)

[Class plan]

1st: Orientation
2-15: Exercise activities using textbooks
Outside class (schedule is specified separately): TOEIC-IP test
[Advice on self-study]
(1) e-learning (English Central)
Compliant with textbooks using an internet-connected computer or smartphone We will learn English related to TOEIC measures based on the videos. Learning outcomes are recorded on the server and considered as part of the grade. Please work systematically.
(2) Main texts
Texts are used in class. Please prepare for the lesson according to the instructions of the person in charge of the lesson. The specific content of the preparation will differ from class to class.

Classes will be held face-to-face, on campus. We may need to switch to online lessons if the situation with COVID worsens.

教科書・参考書等

Traveler Elementary A 1.2 (American Edition)
HQ Mitchell
MM Publications

ISBN: 978-960-443-954-6
オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041215) Communicative English Ⅱ JE(6) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 森川　光与	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

クラスへの出席・積極的参加：15%
小テスト・期末試験：15%
授業での発表等（予習・復習）：20%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回～第15回：テキストに沿ってリーディングの技法を学ぶ。詳細はクラスでお話します。
期末試験日：具体的な指示は授業で行います。計画的に準備しておくこと。
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

World English 2A Combo Split Third Edition, Hughs, J. et al. ISBN: 978-0-35-713031-5

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041216) Communicative English Ⅱ JE(7) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中島 友愛	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト(ほぼ毎回実施)：10％
期末テスト(対面で実施)：30％
授業への熱心なとりくみ：10％
TOEIC-IPの結果：30％（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
- e-learningなどについての伝達(冒頭5分)
- 教科書を使用しての演習
  この授業は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。
  なお状況によっては授業形態をすべて対面または遠隔へ変更する可能性があります。
- 第1回授業の形態(対面か遠隔か)については、直前の感染拡大状況により判断します。
  開講直前に配信されるドリームキャンパスのメッセージで指示しますので、必ず確認してください。
- 第1回授業までに必ず教科書を購入しておいてください。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：教科書を毎回1ユニットずつ進める。
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

CBS NewsBreak 5（Nobuhiro Kumai & Stephen Timson）成美堂. ISBN 978-4791972302
（CBS NewsBreak 4ではなく、CBS NewsBreak 5です。購入時に注意してください。）

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041217) Communicative English Ⅱ JE(8) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 アダム・ブロッド	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

Quizzes:30%
Participation and Homework: 20%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この授業は、基本的に対面で行いますが、一部遠隔でも行います。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－6回：Activities based on the text book and handouts.
第7回: Mid term assignment
第8-15回: Activities based on the text book and handouts
第16回:Final Assessment

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

CBS NewsBreak 5 by Nobuhiro & Stephen Timson, Seibido (2021). ISBN: 9784791972302

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041218) Communicative English Ⅱ JE(9) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井　克己	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

毎週の活動:10%
中間試験1：20%
中間試験2：20%
TOEIC：30%（スコアが300未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
テキストを使用した（安全な範囲での）コミュニケーション活動

【授業計画】
この科目は基本的に対面授業を行います。
ただし新型コロナウイルスの感染状況により，遠隔授業に変更する可能性があります。緊急連絡は教務システム(Dream Campus)で行いますので，指示に従ってください。
wk 1 (Oct 6): introduction to the course / mock TOEIC 1
wk 2 (Oct 13): unit 1 A-C
wk 3 (Oct 20): unit 1 D-V / mock TOEIC 2
wk 4 (Oct 27): unit 2 A-C
wk 5 (Nov 10): unit 2 D-V / mock TOEIC 3
wk 6 (Nov 17): unit 3 A-C
wk 7 (Nov 24): unit 3 D-V / mock TOEIC 4
wk 8 (Dec 1): tutorial / mid-term exam 1
wk 9 (Dec 8): unit 4 A-C
wk 10 (Dec 15): unit 4 D-V / mock TOEIC 5
wk 11 (Dec 22): Unit 5 A-C
wk 12 (Jan 12): Unit 5 D-V
wk 13 (Jan 19): Unit 6 A-C
wk 14 (Jan 26): Unit 6 D-V
wk 15 (Feb 2): tutorial / mid-term exam 2

【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されま

す。計画的に取り組んで下さい。 (2) テキスト 教科書にはe-learningとworkbookが付属しますので，動画と音声を併用し学習してください。
教科書・参考書等 World English Combo Split 2A with Online Workbook. 2019. Cengage. ISBN 9780357130315.
オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 手洗いや消毒，常時換気（窓開放）と安全な距離の確保等の感染防止対策を行った上で、対面授業を実施します。 マスクを着用し，1回目の授業で指定した場所に着席してください。大声や飲食は厳禁です。体調管理に気を遣い，咳や発熱等の症状が少しでもあれば，躊躇なく連絡して欠席（特別な理由による公欠）してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041219) Communicative English Ⅱ JE(10) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 竹中　千鶴	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は健康上の理由により受験できなかった場合以外は単位が認定されませんので注意して下さい。
授業への積極的参加、課題提出、発表等：25%
中間・期末試験（Paper test）：25%
TOEIC-IPの結果：30%
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
毎回 Listening, Reading, Speaking(discussion)あるいはwriting活動を取り入れる予定です。この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動（毎回１Unitずつ進めていく予定です。）
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) 主テキスト
授業ではテキストを使用します。指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。

教科書・参考書等

教科書
Charles Browne & 田邉祐司.(2019). Expanding Horizons. 南雲堂.

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041220) Communicative English Ⅱ JE(11) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中井　富紀	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

予習（語いリスト）20%　期末試験：30％

TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）

e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

＊マスク着用、教室全窓開放の上、対面で授業を実施する。Whole language approachのコンセプトの基に、speakingのみならず、reading、writing、listeningのすべての技能の改善を目指して、多様な演習活動を個人、ペア、グループなどで行う。

【授業計画】

第1回：Course work introduction（コースワーク紹介）
第2回：module 1　Youth Culture　　第3回：module 1-2　Youth Culture
第4回：module 2　What a experience!　　第5回：module 2-2　What a experience!
第6回：module 3　Going places　　第7回 ： module 3-2　Going places
第8回 ： module 4　Nowadays　　第9回 ： module 4-2　Nowadays
第10回 ： module 5　Help　　第11回 ： module 5-2　Help
第12回：module 6　Time out　　第13回：module 6-2　Time out
第14回：module 7　Good job　　第15回：module 8　Way of life
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

(1)　e-learning（English Central）

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

(2)　テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Traveler pre-intermediate A2 American edition Student’s book.桐原書店 ISBN 978-9604439645

オフィスアワー　幸町北キャンパス教育学部棟3号館4階 中井研究室（特命講師控室）

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041221) Communicative English Ⅱ JE(12) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・宿題等：10%
中間試験: 20%
期末試験： 20%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
e-learningのサポート等（English Central + Moodle）
テキスト(Expanding Horizons)を使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回: Expanding Horizons (EH) Unit 1
第3回: EH Unit 2
第4回: EH Unit 3
第5回: EH Unit 4
第6回: EH Unit 5
第7回: EH Unit 6
第8回: Mid-term test
第9回: EH Unit 7
第10回：EH Unit 8
第11回: TOEIC Half-test
第12回: EH Unit 9
第13回: EH Unit 10
第14回: EH Unit 11
第15回: EH Unit 12
第16: Final Projects
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

(2) テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

この科目は基本的に対面授業を行います。なお状況によっては授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

Tanabe, Y., & Browne, C. (2020). Expanding Horizons. 南雲堂. ISBN: 9784523179061

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041222) Communicative English Ⅱ JE(13) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 コールドウェル　アンドリュージョン	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：50％
TOEIC-IPの結果：30％（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 5回: Activities from the textbook (Units 1 to 5)
第6回: Section Test (Units 1 to 5) and continue textbook activities.
第7 - 10回: Activities from the textbook (Units 7 to 10)
第11回: Section Test (Units 7 to 10) and continue textbook activities.
第12 - 15回 Activities from the textbook (Units 11 to 15)
第16回: Final Test

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

この科目は基本的に遠隔授業を行います。一部の授業回では対面授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

Our World Today. (Adam Murray & Anderson Passos) 南雲堂. ISBN 9784523178903.

オフィスアワー	授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ	
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。	

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041223) Communicative English Ⅱ JE(14) Communicative English Ⅱ Communicative English II JE (14)	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

In Class Effort: 20% (assignments, quizzes and activities.)
Midterm exam: 10%
Final exam: 20%)
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

The procedure for each class is as follows.

Class start-Support for e-learning, etc followed by exercises using textbooks (communication activities)

[Class plan]

1st: Orientation
2-15: Exercise activities using textbooks
Outside class (schedule is specified separately): TOEIC-IP test
[Advice on self-study]
(1) e-learning (English Central)
Compliant with textbooks using an internet-connected computer or smartphone We will learn English related to TOEIC measures based on the videos. Learning outcomes are recorded on the server and considered as part of the grade. Please work systematically.
(2) Main texts
Texts are used in class. Please prepare for the lesson according to the instructions of the person in charge of the lesson. The specific content of the preparation will differ from class to class.

90 minutes per week should be used for e-learning and homework.

Classes will be held face-to-face, on campus. We may need to switch to online lessons if the situation with COVID worsens.

教科書・参考書等

Traveler Elementary A1.2

HQ Mitchell MM Publications ISBN: 978-960-443-954-6
オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041224) Communicative English Ⅱ JE(15) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 瀬良　和彦	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

平常点［提出率・課題内容・小テストなど］30％（４回未提出で単位不認定）
期末テスト20％（未受験の場合は単位を認定しない）
TOEIC-IPの結果：30％（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

この科目は基本的に対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【授業計画】

第1回：オリエンテーション
第2回：Introduction to Environmental Issues
第3回：Climate Change
第4回：Energy
第5回：Waste
第6回：Review 1: Units 1-4（小テスト）
第7回：Population Growth
第8回：Pollution
第9回：Water
第10回：Deforestation
第11回：Review 2: Units 6-9（小テスト）
第12回：Hydroelectricity
第13回：Solar Panels
第14回：Wind Turbies
第15回：Nuclear Energy
第16回：Review 3: Units 11-14（期末テスト：予定）
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

(2) テキスト 　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
教科書・参考書等 Our World Today.(Adam Murray & Anderson Passos).2019.Nan'un-do. ISBN:9784523178903.
オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041225) Communicative English Ⅱ JE(16) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 篠原　範子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
期末テスト：15%・小テスト：10％・宿題：10％・授業貢献度：15%
TOEIC-IPの結果：30%　　e-learning：20％（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストを使用しての演習：詳細についてはオリエンテーション時に説明。
定期試験は15回に含めません。
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Let's Read Aloud & Learn English: On Campus. (Kamoyama & Capper). 2019. 成美堂. ISBN 978-4791971824.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041226) Communicative English Ⅱ JE(17) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 竹中　千鶴	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は健康上の理由により受験できなかった場合以外は単位が認定されませんので注意して下さい。

授業への積極的参加、課題提出、発表等：25%
中間・期末試験（Paper test)：25%
TOEIC-IPの結果：30%
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
毎回 Listening, Reading, Speaking(discussion)あるいはwriting活動を取り入れる予定です。この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動（毎回１Unitずつ進めていく予定です。）
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) 主テキスト
授業ではテキストを使用します。指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。

教科書・参考書等 Charles Browne &田邉祐司. (2019). Expanding Horizons. 南雲堂.

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041227) Communicative English Ⅱ JE(18) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井　克己	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

毎週の活動:10%
中間試験1：20%
中間試験2：20%
TOEIC：30%（スコアが300未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
テキストを使用した（安全な範囲での）コミュニケーション活動

【授業計画】
この科目は基本的に対面授業を行います。
ただし新型コロナウイルスの感染状況により，遠隔授業に変更する可能性があります。緊急連絡は教務システム(Dream Campus)で行いますので，指示に従ってください。
wk 1 (Oct 7): introduction to the course / mock TOEIC 1
wk 2 (Oct 14): unit 1 A-C
wk 3 (Oct 21): unit 1 D-V / mock TOEIC 2
wk 4 (Oct 28): unit 2 A-C
wk 5 (Nov 4): unit 2 D-V / mock TOEIC 3
wk 6 (Nov 11): unit 3 A-C
wk 7 (Nov 18): unit 3 D-V / mock TOEIC 4
wk 8 (Dec 2): tutorial / mid-term exam 1
wk 9 (Dec 9): unit 4 A-C
wk 10 (Dec 16): unit 4 D-V / mock TOEIC 5
wk 11 (Dec 23): Unit 5 A-C
wk 12 (Jan 13): Unit 5 D-V
wk 13 (Jan 20): Unit 6 A-C
wk 14 (Jan 27): Unit 6 D-V
wk 15 (Feb 3): tutorial / mid-term exam 2

【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されま

す。計画的に取り組んで下さい。 (2) テキスト 教科書にはe-learningとworkbookが付属しますので，動画と音声を併用し学習してください。
教科書・参考書等 World English Combo Split 2A with Online Workbook. 2019. Cengage. ISBN 9780357130315.
オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 手洗いや消毒，常時換気（窓開放）と安全な距離の確保等の感染防止対策を行った上で、対面授業を実施します。 マスクを着用し，1回目の授業で指定した場所に着席してください。大声や飲食は厳禁です。体調管理に気を遣い，咳や発熱等の症状が少しでもあれば，躊躇なく連絡して欠席（特別な理由による公欠）してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041229) Communicative English Ⅱ T(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II T (1)	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

In Class Effort: 20% (assignments, quizzes and activities.)
Midterm exam: 10%
Final exam: 20%)
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

The procedure for each class is as follows.

Class start-Support for e-learning, etc followed by exercises using textbooks (communication activities)

[Class plan]

1st: Orientation
2-15: Exercise activities using textbooks
Outside class (schedule is specified separately): TOEIC-IP test
[Advice on self-study]
(1) e-learning (English Central)
Compliant with textbooks using an internet-connected computer or smartphone We will learn English related to TOEIC measures based on the videos. Learning outcomes are recorded on the server and considered as part of the grade. Please work systematically.
(2) Main texts
Texts are used in class. Please prepare for the lesson according to the instructions of the person in charge of the lesson. The specific content of the preparation will differ from class to class.

90 minutes per week should be used for e-learning and homework.

Classes will be held face-to-face, on campus. We may need to switch to online lessons if the situation with COVID worsens.

教科書・参考書等

Traveler Intermediate B1, American Edition

HQ Mitchell MM Publications ISBN: 978-960-443-974-4
オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041230) Communicative English Ⅱ T(2) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 コールドウェル　アンドリュージョン	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：50％
TOEIC-IPの結果：30％（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション
第2 - 5回: Activities from the textbook (Units 1 to 5)
第6回: Section Test (Units 1 to 5) and continue textbook activities.
第7 - 10回: Activities from the textbook (Units 7 to 10)
第11回: Section Test (Units 7 to 10) and continue textbook activities.
第12 - 15回 Activities from the textbook (Units 11 to 15)
第16回: Final Test

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

この科目は基本的に遠隔授業を行います。一部の授業回では対面授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

Our World Today. (Adam Murray & Anderson Passos) 南雲堂. ISBN 9784523178903.

オフィスアワー	授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ	
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。	

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041231) Communicative English Ⅱ T(3) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 水野　康一	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）:30%・期末試験：20%

TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

環境問題をテーマにした教科書を用いて授業を進めます。４技能の中でも科学的な文章を正確に読む力の養成，および英語プレゼンのための発音指導を行います。

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回：教科書Unit1-14（毎回1Unit）

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

(1) e-learning（English Central）

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

(2) テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Our World Today.（A. Murray & A. Passos）南雲堂.

オフィスアワー 火曜日４時限目，金曜日４時限目

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041232) Communicative English Ⅱ T(4) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中井　富紀	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
予習（語いリスト）20%　期末試験：30％
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
＊マスク着用、教室全窓開放の上、対面で授業を実施する。Whole language approachのコンセプトの基に、speakingのみならず、reading、writing、listeningのすべての技能の改善を目指して、多様な演習活動を個人、ペア、グループなどで行う。

【授業計画】
第1回：Course work introduction（コースワーク紹介）
第2回：module 1　Youth Culture　　第3回：module 1-2　Youth Culture
第4回：module 2　What a experience!　　第5回：module 2-2　What a experience!
第6回：module 3　Going places　　第7回 ： module 3-2　Going places
第8回 ： module 4　Nowadays　　第9回 ： module 4-2　Nowadays
第10回 ： module 5　Help　　第11回 ： module 5-2　Help
第12回：module 6　Time out　　第13回：module 6-2　Time out
第14回：module 7　Good job　　第15回：module 8　Way of life
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1)e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Traveler pre-intermediate A2 American edition Student’s book.桐原書店 ISBN 978-9604439645

オフィスアワー　幸町北キャンパス教育学部棟3号館4階 中井研究室（特命講師控室）

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041233) Communicative English Ⅱ T(5) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中島　友愛	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト(ほぼ毎回実施)：10％
期末テスト(対面で実施)：30％
授業への熱心なとりくみ：10％
TOEIC-IPの結果：30％（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
- e-learningなどについての伝達(冒頭5分)
- 教科書を使用しての演習
  この授業は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。
  なお状況によっては授業形態をすべて対面または遠隔へ変更する可能性があります。
- 第1回授業の形態(対面か遠隔か)については、直前の感染拡大状況により判断します。
  開講直前に配信されるドリームキャンパスのメッセージで指示しますので、必ず確認してください。
- 第1回授業までに必ず教科書を購入しておいてください。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：教科書を毎回1ユニットずつ進める。
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

CBS NewsBreak 5 (Nobuhiro Kumai & Stephen Timson) 成美堂. ISBN 978-4791972302
(CBS NewsBreak 4ではなく、CBS NewsBreak 5です。購入時に注意してください。)

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041234) Communicative English Ⅱ T(6) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 田口　明美	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・平常点:20％
期末試験：30％
TOEIC-IPの結果：30％（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。授業は主に演習活動を行います。

【授業計画】

第1回：オリエンテーション
第2回:Unit1
第3回:Unit2
第4回:Unit3
第5回:Unit4
第6回:Unit5
第7回:Unit6
第8回:小テスト及びUnit7
第9回:Unit7
第10回:Unit8
第11回:Unit9
第12回:Unit10
第13回:Unit11
第14回:Unit12
第15回:Unit13

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

(2) テキスト 　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
教科書・参考書等 Let's Read Aloud & Learn English:On Campus (Kadoyama&Capper).2019.成美堂　ISBN 978-4791971824
オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。
教員の実務経験との関連 全国通訳案内士および司法通訳の実務経験を活かし、日本文化や異文化に対する知識や理解を深められるよう講義を行います。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041235) Communicative English Ⅱ T(7) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 柏原　智美	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

授業態度及び各活動への取り組み：30%
期末テスト：20%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
本授業では、テキストに基づいてコミュニケーション活動を主体とした演習を行います。授業形態としては、全回対面授業を行いますが、状況によっては全てまたは一部の授業回を遠隔へ変更する可能性があります。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：毎回、1Unit分の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Expanding Horizons. 南雲堂. ISBN 978-4523179061.

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041236) Communicative English Ⅱ T(8) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 篠原　範子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
期末テスト：15%・小テスト：10％・宿題：10％・授業貢献度：15%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストを使用しての演習：詳細についてはオリエンテーション時に説明。
定期試験は15回に含めません。
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Let's Read Aloud & Learn English: On Campus. (Kamoyama & Capper). 2019. 成美堂. ISBN 978-4791971824.

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041237) Communicative English Ⅱ T(9) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ビラ　ダビッド	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

In-class participation and effort: 20%
Midterm Exam: 15%
Final Exam: 15%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

この科目は基本的に遠隔授業を行います。一部の授業回では対面授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

World English Combo Split 1A with Online Workbook. 2019. Cengage. 978-0357130292.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041238) Communicative English Ⅱ T(10) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ポール・バテン	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業参加:20%
期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

●この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業(Zoom)を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

【授業の方法】
開始－15分　復習・会話練習・ブレイクアウトグループなど
15分－終了　テキストを使用しての演習

【授業計画】
第 1回：Unit 01　What's your major? + オリエンテーション
第 2回：Unit 02　How do you like your new school?
第 3回：Unit 03　Let me introduce a new member to you
第 4回：Unit 04　How was your Golden Week?
第 5回：Unit 05　I'm looking for a part-time job
第 6回：Unit 06　What do you call this in Japanese?
第 7回：Unit 07　Have you been there?
第 8回：Unit 08　Could you tell me how to get there?
第 9回：Unit 09　What do you want me to do?
第10回：Unit 10　I'm on a tight budget
第11回：Unit 11　What do you think of this program?
第12回：Unit 12　I'm reviewing what I studied
第13回：Unit 13　Final exam week is so stressful
第13回：Unit 14　Is this your first trip abroad?
第15回：Unit 15　What would you like to order?

【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されま

す。計画的に取り組んで下さい。
(2) 授業の準備
　授業ではテキストを使用します。前時の指示に従い課題と予習をして授業に臨んで下さい。
(3) 小テストおよび期末試験
　事前に授業で周知します。

教科書・参考書等

Let's Read Aloud & Learn English: On Campus. By Teruhiko Kadoyama & Simon Caper. SEIBIDO.
ISBN978-4-7919-7182-4

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
Friday, 3:00 - 4:00 p. m. Please email me before to confirm time and topic.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041239) Communicative English Ⅱ T(11) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中住　幸治	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
中間・期末試験：30%（未受験の場合は単位を認定しない）
小テスト・宿題・授業内活動：20%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

この科目は基本的に対面授業で行いますが、状況によっては授業形態を一部又は全て遠隔へ変更する可能性もあります。

【自学自習に関するアドバイス】
(1)e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Charles Browne, 田邉祐司 (2019). Expanding Horizons. 南雲堂. ISBN:978-4523179061.

オフィスアワー 火曜日 12:30~13:30 幸町キャンパス北5号館5階 中住研究室

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

教員の実務経験との関連
高等学校に勤務経験あり。英語を担当。高等学校での実務経験を基にTOEIC対策を含む総合的な英語の授業を行います。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041255) Communicative English Ⅱ T(12) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 杉田　貴瑞	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
期末試験：25％（未受験の場合は単位を認定しない）
小テスト・宿題・授業内活動：25％
TOEIC-IPの結果：30％（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。授業毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：Unit 1 The Sky Lodge.
第3回：Unit 2 Japanese High School Life.
第4回：Unit 3 Sloth Calendar.
第5回：Unit 4 The Skate Brothers.
第6回：Unit 5 Picnic Snack Ideas.
第7回：Unit 6 Volcano Adventure.
第8回：Unit 7 Crazy Rides.
第9回：Unit 8 The Forrest Guards.
第10回：Unit 9 A Different Kind of Journey.
第11回：Unit 10 Comic Book Writer.
第12回：Unit 11 Sharing Life with 1,000 Cats.
第13回：Unit 12 Living in 1927.
第14回：Unit 13 Our Clothes.
第15回：Unit 14 Future Food, Growing Cities.
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の

具体的な内容については授業ごとに異なります。
教科書・参考書等 Expanding Horizons. 南雲堂. ISBN 978-4523179061
オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041256) Communicative English Ⅱ T(13) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 永尾　智	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

・小テスト・授業での発表等（予習・復習）：20%
・期末試験：30％
（この50％をどのように振り分けるかは授業担当者が決定してください。）
・TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
・e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

この授業は基本的に《対面授業》方式で実施します。

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は次のとおりです。
・授業開始～10（20）分：e-learningのサポート、復習テスト等
・10（20)分～授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：UNIT 1: Are You Ready for a Pet?
第3回：UNIT 2: Gap Year
第4回：UNIT 3: What Is Wealth?
第5回：UNIT 4: Globalization
第6回：UNIT 5: What I Learned in College
第7回：UNIT 6: How Paper Is Recycled
第8回：UNIT 7: Life Expectancy
第9回：UNIT 8: From "Snail Mail" to PDAs in Barely Thirty Years
第10回：UNIT 9: Rules for Success
第11回：UNIT10: Paid Leave and Public Holidays
第12回：UNIT11:A Suitable Hotel
第13回：UNIT12:Another Earth?
第14回：UNIT13:An Interview with a New Student Union President
第15回：UNIT14:Modern Writing: Be Brief!
第16回：期末試験
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

＜準備学習＞各単元ごとに最低限、次の点をクリアーすること（20時間）。
・単元の学習課題を確認し、未知・曖昧語句をリストアップしながら、ひとまず自力で解答する。
・未知・曖昧語句を、発音、意味、文型、コロケーションについて調べて整理する。
・整理した情報に基づいて再度解答する。一通り発音しておく。

＜事後学習＞各単元ごとに最低限、次の点をクリアーすること（20時間）。
・各事項を音読練習する。
・事前整理事項の再整理を行う。
・音声教材を使ってシャドーイングを試みる。
・次回の授業で行われる復習テストに備える。
・TOEIC-IPテストに備えて、前期学習教科書を計画的に復習する。
・中間試験、期末試験の準備学習を滞りなく行う。

教科書・参考書等

English Stream: Pre-intermediate (Takeuchi et al.). 2018. 金星堂. ISBN: 978-4746740600.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定します。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041240) Communicative English Ⅱ A(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 コールドウェル　アンドリュージョン	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：50％
TOEIC-IPの結果：30％（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション
第2 - 5回: Activities from the textbook (Units 1 to 5)
第6回: Section Test (Units 1 to 5) and continue textbook activities.
第7 - 10回: Activities from the textbook (Units 7 to 10)
第11回: Section Test (Units 7 to 10) and continue textbook activities.
第12 - 15回 Activities from the textbook (Units 11 to 15)
第16回: Final Test

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

この科目は基本的に遠隔授業を行います。一部の授業回では対面授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

Our World Today. (Adam Murray & Anderson Passos) 南雲堂. ISBN 9784523178903.

オフィスアワー	授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ	
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。	

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041241) Communicative English Ⅱ A(2) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 鳥越　洋子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

授業での発表・参加度：20％
小テスト・課題：30％
TOEIC-IPの結果：30％（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) 主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等 Expanding Horizons（Tanabe Yuji他）南雲堂 ISBN 9784523179061

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041242） Communicative English Ⅱ A(3) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2021年度 後期木3	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 瀬良　和彦	関連授業科目　主題科目B-2で提供される講義 履修推奨科目　Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
平常点［提出率・課題内容・小テストなど］30％（４回未提出で単位不認定）
期末テスト20％（未受験の場合は単位を認定しない）
TOEIC-IPの結果：30％（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この科目は基本的に対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：Introduction to Environmental Issues
第3回：Climate Change
第4回：Energy
第5回：Waste
第6回：Review 1: Units 1-4（小テスト）
第7回：Population Growth
第8回：Pollution
第9回：Water
第10回：Deforestation
第11回：Review 2: Units 6-9（小テスト）
第12回：Hydroelectricity
第13回：Solar Panels
第14回：Wind Turbies
第15回：Nuclear Energy
第16回：Review 3: Units 11-14（期末テスト：予定）
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の

具体的な内容については授業ごとに異なります。
教科書・参考書等 Our World Today.(Adam Murray & Anderson Passos).2019.Nan'un-do. ISBN:9784523178903.
オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041243) Communicative English Ⅱ A(4) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中島　友愛	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト(ほぼ毎回実施)：10％
期末テスト(対面で実施)：30％
授業への熱心なとりくみ：10％
TOEIC-IPの結果：30％（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
- e-learningなどについての伝達(冒頭5分)
- 教科書を使用しての演習
  この授業は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。
  なお状況によっては授業形態をすべて対面または遠隔へ変更する可能性があります。
- 第1回授業の形態(対面か遠隔か)については、直前の感染拡大状況により判断します。
  開講直前に配信されるドリームキャンパスのメッセージで指示しますので、必ず確認してください。
- 第1回授業までに必ず教科書を購入しておいてください。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：教科書を毎回1ユニットずつ進める。
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

CBS NewsBreak 5 (Nobuhiro Kumai & Stephen Timson) 成美堂. ISBN 978-4791972302
(CBS NewsBreak 4ではなく、CBS NewsBreak 5です。購入時に注意してください。)

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041244) Communicative English Ⅱ A(5) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 篠原　範子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
期末テスト：15%・小テスト：10％・宿題：10％・授業貢献度：15%
TOEIC-IPの結果：30%
e-learning：20％（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストを使用しての演習：詳細についてはオリエンテーション時に説明。
定期試験は15回に含めません。
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Let's Read Aloud & Learn English: On Campus. (Kamoyama & Capper). 2019. 成美堂. ISBN 978-4791971824.

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041245) Communicative English Ⅱ A(6) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 竹中　千鶴	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は健康上の理由により受験できなかった場合以外は単位が認定されませんので注意して下さい。

授業への積極的参加、課題提出、発表等：25%
中間・期末試験（Paper test ）：25%
TOEIC-IPの結果：30%
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
毎回 Listening, Reading, Speaking(discussion)あるいはwriting活動を取り入れる予定です。この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動（毎回１Unitずつ進めていく予定です。）
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) 主テキスト
授業ではテキストを使用します。指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。

教科書・参考書等

Chales Browne & 田邉祐司. (2019). Expanding Horizons. 南雲堂.

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041246) Communicative English Ⅱ A(7) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 柏原　智美	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

授業態度及び各活動への取り組み：30%
期末テスト：20%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
本授業では、テキストに基づいてコミュニケーション活動を主体とした演習を行います。授業形態としては、全回対面授業を行いますが、状況によっては全てまたは一部の授業回を遠隔へ変更する可能性があります。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：毎回、1Unit分の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Expanding Horizons. 南雲堂. ISBN 978-4523179061.

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041248) Communicative English Ⅱ M(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II M (1)	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

In Class Effort: 20% (assignments, quizzes and activities.)
Midterm exam: 10%
Final exam: 20%)
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

The procedure for each class is as follows.

Class start-Support for e-learning, etc followed by exercises using textbooks (communication activities)

[Class plan]

1st: Orientation
2-15: Exercise activities using textbooks
Outside class (schedule is specified separately): TOEIC-IP test
[Advice on self-study]
(1) e-learning (English Central)
Compliant with textbooks using an internet-connected computer or smartphone We will learn English related to TOEIC measures based on the videos. Learning outcomes are recorded on the server and considered as part of the grade. Please work systematically.
(2) Main texts
Texts are used in class. Please prepare for the lesson according to the instructions of the person in charge of the lesson. The specific content of the preparation will differ from class to class.

90 minutes per week should be used for e-learning and homework.

Classes will be held face-to-face.

Note: Due to the current situation with Covid, we may need to switch to online lessons.

教科書・参考書等
Traveler Intermediate B1, American Edition HQ Mitchell MM Publications ISBN: 978-960-443-974-4
オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041249) Communicative English Ⅱ M(2) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中井　富紀	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

予習（語いリスト）20%　期末試験：30%

TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

＊マスク着用、教室全窓開放の上、対面で授業を実施する。

タイトルのごとく、Content and Language Integrated Learning（内容と言語を統合した学習法）に沿うように、パラグラフリーディング、エッセイ要約、音読、ディスカッションなどの多様な演習活動を個人、ペア、グループなどで行う。

【授業計画】

第1回：Course work introduction（コースワーク紹介）
第2回：unit 1　Sports and injuries
第3回：unit 2　Blood circulation
第4回：unit 3　Muscles and movement
第5回：unit 4　Genetically modified (GM) food
第6回：unit 5　The brain: language and sleep
第7回 ： unit 6　Animals and humans
第8回 ： unit 7　Agriculture and human health
第9回 ： unit 8　Health and fitness
第10回 ： unit 9　Food and nutrition
第11回 ： unit 10　Drugs and human body
第12回：unit 11　Human immunity
第13回：unit 12　Humans and their environments
第14回：unit 13　Food issues and human health
第15回：unit 14　Genetics
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

(1)　e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

(2)　テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等
CLIL Human Biology.(Sasajima et al.) 2016.Sanshusha.ISBN 978-6384334609
オフィスアワー　　幸町北キャンパス教育学部棟3号館4階 中井研究室（特命講師控室）
履修上の注意・担当教員からのメッセージ
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041250) Communicative English Ⅱ M(3) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 水野　康一	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）：30%・期末試験：20％

TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）

e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

環境問題をテーマにした教科書を用いて授業を進めます。４技能の中でも科学的な文章を正確に読む力の養成，および英語プレゼンのための発音指導を行います。

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回：教科書Unit1-14（毎回1Unit）

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

(1) e-learning（English Central）

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

(2) テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

候補として挙げられているテキストの中から使用するテキストを決定して下さい。

オフィスアワー 火曜日４時限目，金曜日４時限目

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041252) Communicative English Ⅱ NP(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中井　富紀	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

予習（語いリスト）20%　期末試験：30%

TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

＊マスク着用、教室全窓開放の上、対面で授業を実施する。

タイトルのごとく、Content and Language Integrated Learning（内容と言語を統合した学習法）に沿うように、パラグラフリーディング、エッセイ要約、音読、ディスカッションなどの多様な演習活動を個人、ペア、グループなどで行う。

【授業計画】

第1回：Course work introduction（コースワーク紹介）
第2回：unit 1　Sports and injuries
第3回：unit 2　Blood circulation
第4回：unit 3　Muscles and movement
第5回：unit 4　Genetically modified (GM) food
第6回：unit 5　The brain: language and sleep
第7回 ： unit 6　Animals and humans
第8回 ： unit 7　Agriculture and human health
第9回 ： unit 8　Health and fitness
第10回 ： unit 9　Food and nutrition
第11回 ： unit 10　Drugs and human body
第12回：unit 11　Human immunity
第13回：unit 12　Humans and their environments
第14回：unit 13　Food issues and human health
第15回：unit 14　Genetics
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

(1)　e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

(2)　テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の

具体的な内容については授業ごとに異なります。
教科書・参考書等 CLIL Human Biology.(Sasajima et al.) 2016.Sanshusha.ISBN 978-6384334609
オフィスアワー　幸町北キャンパス教育学部棟3号館4階 中井研究室（特命講師控室）
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041253) Communicative English Ⅱ NP(2) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中島　友愛	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト(ほぼ毎回実施)：10％
期末テスト(対面で実施)：30％
授業への熱心なとりくみ：10％
TOEIC-IPの結果：30％（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
- e-learningなどについての伝達(冒頭5分)
- 教科書を使用しての演習
  この授業は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。
  なお状況によっては授業形態をすべて対面または遠隔へ変更する可能性があります。
- 第1回授業の形態(対面か遠隔か)については、直前の感染拡大状況により判断します。
  開講直前に配信されるドリームキャンパスのメッセージで指示しますので、必ず確認してください。
- 第1回授業までに必ず教科書を購入しておいてください。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：教科書を毎回1ユニットずつ進める。
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

CBS NewsBreak 5（Nobuhiro Kumai & Stephen Timson）成美堂. ISBN 978-4791972302
（CBS NewsBreak 4ではなく、CBS NewsBreak 5です。購入時に注意してください。）

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041254) Communicative English Ⅱ NP(3) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 柏原　智美	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

授業態度及び各活動への取り組み：30%
期末テスト：20%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
本授業では、テキストに基づいてコミュニケーション活動を主体とした演習を行います。授業形態としては、全回対面授業を行いますが、状況によっては全てまたは一部の授業回を遠隔へ変更する可能性があります。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：毎回、1Unit分の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Expanding Horizons. 南雲堂. ISBN 978-4523179061.

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041257) Communicative English Ⅱ NP(4) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 鳥越　洋子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

授業での発表・参加度：20％
小テスト・課題：30％
TOEIC-IPの結果：30％（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) 主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

Expanding Horizons (Tanabe Yuji他) 南雲堂　ISBN 9784523179061

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041301) Communicative English Ⅲ LJ(1) Communicative English Ⅲ Communicative English III	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ポール・バテン	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. プレゼンテーションソフトを用いて５分間程度の発表を行うことができる。

1～3 は、共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応。

成績評価の方法と基準

quizzes：20%, in-class effort：30%, mid-term presentation：20%, final presentation：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

●この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業(Zoom)を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

【授業の方法】この授業は、教科書を通して、学生の英語コミュニケーション能力を磨くことが目的です。ペアワーク、グループワークという活動がこの授業の中心です。クラスメートと先生と、テーマを決めて、内容を準備して、少しずつ練習して、よりいい英語での発表をできるようになるのが教員の期待です。お互いに応援し、助け合い、評価し、自信をもって英語で話す・発表することが目標です。毎回、練習して、少しずつ英語の発表が上達する。

【授業計画】
第１回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第２回～第13回：self-introductions, introducing someone, demonstration presentation, layout speech, book and movie review speech, show and tell.
第14・15回：プレゼンテーションを行う。具体的な指示は第５週目の授業で行う。計画的に準備しておくこと。

【授業外学習に関するアドバイス】
授業でいい発表できるように、授業へ来る前にテーマ・内容について調べる事が大事です。

この科目は基本的に遠隔授業を行います。一部の授業回では対面式授業を行うこともありえます。なお、状況によって授業形式を全て対面式または遠隔へ変更する可能性があります。Please check this class's Moodle site for the Zoom details in April.

教科書・参考書等

Speaking of Speech, Premimum Edition. Charles LeBeau. Cengage.

http://cengagejapan.com/elt/PresentationPronunciation/page/?no=1603270172pm03k

オフィスアワー 事前にメールで連絡してください。Friday, 3:00 - 4:00 p. m.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

教員の実務経験との関連

私にとっての外国語の日本語を３０年以上前から毎日直面しています。２７年前から大学生を教えています。出来るだけ学生にとって実践的なスキルを身につける授業を目さします。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041302) Communicative English Ⅲ LJ(2) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ (LJ2)	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ニコラス　ダニエル　フライ	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Class meetings and preparation time per week 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

Course Outline
One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

General Objectives
This course focuses on the development of students oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

Evaluation Criteria
Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 10%　Mid-term presentation: 30%　Final presentation: 60%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
In-class activities will center on tasks in the textbook. Students will practice presentation skills with partners, in groups, and before the class, as well as prepare for mid-term and final presentations.
English will be the primary medium of communication in class.
[Course Schedule]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Present Yourself.
Week 2-6: Textbook study and speech practice
Week 7-8: Mid-term presentations
Week 9-12: Textbook study and speech practice
Week 13-14: Final presentations workshop.
Week 15-16: Final presentations.
[Suggestions for self-study]
Week 1-5: Students should complete assigned homework and prepare for mid-term presentations.
Week 6-7: Students should be prepared to deliver mid-term presentations.
Week 8-13: Students should complete assigned homework and prepare for final presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

Present Yourself Level 1 Student’s Book: Experiences. (Gershon, S.) 2015.CUP. ISBN 978-1107435636

オフィスアワー Office Hours: Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し、内容を確認した上で第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041303) Communicative English Ⅲ LJ(3) Communicative English Ⅲ Communicative English III	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ジョナサン　ベリー	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Academic English I/II		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Deliver 3 to 5-minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Student participation: 20%
Mid-term presentation: 20%
Final presentation: 40%
Homework: 20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Classwork will focus on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester progresses. Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Students should be prepared to introduce themselves in English in front of the class.
Weeks 2-6: Practice of specific presentation skills based on topics in the textbook
Week 7: Mid-term presentations
Weeks 8-14: Practice of specific presentation skills based on topics in the textbook
Weeks 15-16: Final presentations

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content. Being familiar with presentation software like PowerPoint would be advantageous.
Week 2-6: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 7: Midterm-presentations
Week 8-14: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 15-16: Final presentations

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全て。または一部の授 業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

Present Yourself I, (S.Gershon) CUP

オフィスアワー Please contact the instructor to arrange a meeting. Of course, this can be arranged on Zoom.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041304) Communicative English Ⅲ LJ(4) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 コールドウェル　アンドリュージョン	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Quizzes: 20%　In-class effort: 30%　Mid-term presentation: 20%　Final presentation: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Each class will incorporate the textbook and other supplementary materials. Many tasks will involve the paraphrasing, discussion and presentation of real-world information from sources such as newspapers, magazines and television. Students will gradually learn key speech and presentation language along with western gesturing techniques.

Week1: Introduction to course.
Week 2 ~ 5: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 6 ~ 7: Mid-term presentations.
Week 8 ~ 13: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 14: Final presentation workshop
Week 15 ~ 16: Final presentations.

You will receive details of the weekly content on the first day of your course.

In principle, this class will be conducted online. Some classes will be held in the regular classroom. Depending on the situation, the class may be shifted to regular face-to-face classes or be done entirely online.

Suggestions for self-study】

Week 1: Students should purchase their textbooks before the first class and look over the content.
Week 2-6: Students should complete assigned homework from the textbook and prepare for mini presentations.
Week 8-14 : Students should complete assigned homework from the textbook and prepare for mini presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

Present Yourself Level 1 Student's Book: Experiences. (Gershon, S.) 2015.CUP. ISBN 978-1107435636

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041305) Communicative English Ⅲ LJ(5) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ LJ (5)	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Students will be able to deliver a 5 minute presentation in English, learning appropriate language, body language and cultural differences.

成績評価の方法と基準

The course will be graded on the following criteria:

Midterm presentation: 20%
Final presentation: 30%
In class Effort :20%
Home Work: 20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

(Course Method)

Class work will center on activities from the textbook, but there will also be a great deal of language from outside the text used, as well as grammar exercises. Body language, pronunciation and the coherent linking of ideas will be practiced.

(Course Schedule)

Week 1: introducing self
Week 2: vacations
week 3: culture
week 4: explaining ideas
week 5 : Sharing an opinion
week 6: discussing current events
week 7: midterm presentations
week 8: body language and non verbal communication
week 9: Common presentation language
Week 10: Storytelling in a presentation.
week 11: explaining a process.
Week 12: explaining how to do something in steps.
week 13: final presentation workshop
Week 14: review
Week 15: Final Presentations.

(self study)

Students should keep notes in every lesson and review them at home. They should use language studied during class to help complete their homework. Students should also watch TIF videos on youtube, mirroring language and body language. 90 minutes of homework will be set each week. The

tasks will be set to prepare for the following lesson and to review the previous lesson. Tasks will include keeping a journal, writing mini presentations and writing reports on topics of interest. Classes will be held face-to-face, on campus. We may need to switch to online lessons if the situation with COVID worsens.
教科書・参考書等 Present Yourself 2: Viewpoints, by Steven Gershon Publisher: Cambridge University Press (second edition) (3025 Yen) ISBN: 978-1-107-43578-0
オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041306) Communicative English Ⅲ LJ(6) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ヒル　スティーブ	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 英語で５分間程度のスピーチを行うことができる.、または身近なことについて英語で伝えることができるなど。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz, in-class effort, etc.：20%　Presentation1：15%　Presentation2：15%　Presentation3：20%　Final presentation：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Weeks 2 － 15: Based on topics, and skills learned from the textbook, students will plan, prepare and execute short speeches to express their opinions, tell about past experiences, and so on.

【授業計画】

Week 1: Orientation (students should be prepared to introduce themselves to their instructor and classmates).
Weeks 2 & 3: Preparation for speech 1
Weeks 4: Speech 1 class presentations
Weeks 5 & 6: Preparation for speech 2
Week 7: Speech 2 class presentations
Weeks 8 & 9: Preparation for speech 3
Week 10: Speech 3 class presentations
Weeks 11,12&13: Preparation for speech 4
Weeks 14 & 15: Final presentations
Week 16: Final presentations (continued) and self-assessment.

この科目は基本的に遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

Present Yourself Level 1 Student’s Book: Experiences. (Gershon, S.) 2015. CUP. ISBN 978-1107435636

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041307） Communicative English Ⅲ LJ(7) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 森川　光与	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる
3. 英語で３分間程度のスピーチを行うことができる
4. 身近なことについて英語で伝えることができる

1~4 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）に対応しています。

成績評価の方法と基準

Quiz/Homework：30%　In-class effort/attendance：25％　Midterm Paper Exam/Presentation：20%
Final Paper Exam/Presentation：25%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
本講座では、社会で必要となるコミュニケーションスキルを磨くことを目指して、スピーキングを主としたアクティビティを実施します。

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【授業計画】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回～第14回：テキストに沿ってプレゼンテーションの技法を学ぶ。途中7，8回目あたりに中間試験を実施しますが、詳細はクラスでお話します。
第15回+期末試験日：プレゼンテーションを行う。具体的な指示は授業で行います。計画的に準備しておくこと。
【授業外学習に関するアドバイス】
毎日20分は英語に触れるのを目標として、授業外学習に取り組んでください。

事前学習として、宿題として提出した内容を実施してください。

事後学習として、英語によるスピーチに数多く触れるよう意識してください。TED Talkなどのスピーチ動画を定期的に観てください。こちらから指定したものを観る場合もありますが、指定がなくても英語に触れるための動画や音源などを探して英語に触れていただきます。最初の授業で詳しくお話します。

教科書・参考書等

動画で学ぶ英語プレゼンテーション ―覚えておきたい8つのモデル― Winning Presentations（Morita, A et al）2018 成美堂　ISBN：9784791934249

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041308) Communicative English Ⅲ LJ(8) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 竹中　千鶴	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習30時間＋事後学習30時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 身近なことについて会話をしたり、3 分程度のプレゼンテーション行うことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

平常点（積極的授業参加）：20%
小テスト(口頭・筆記）：30%
Presentation（2回）：50%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】授業では次のようなことをする予定です。

１．ペアあるいはグループで身近な話題について即興で会話することに慣れる。
２．テキストに沿って、Presentationについて、内容と構成、伝達技術の両面から学んでいく。
３．実際にPresentationをする。

この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

【授業計画】

第１回・・・・・Introduction
第２回・・・・・Unit 6
第３回・・・・・Unit 7
第４回・・・・・Unit 8
第５回・・・・・Unit 1
第６回・・・・・Unit 2
第７回・・・・・Unit 3
第８回・・・・・Unit 4
第９回・・・・・Unit 5
第10回～第15回　2回のPresentationの準備と発表
第16回・・・・・期末テスト

【自学自習のためのアドバイス】

・事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
・Presentationについて詳しい指示があれば、早めにタイトルを決めて原稿を書き、しっかり練習をして臨むこと。

教科書・参考書等

教科書： Charles LeBeau. (2021). Speaking of Speech (Premium Edition). National Geographic Learning.　ISBN 978-4-86312-385-4

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041309) Communicative English Ⅲ LJ(9) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 杉田　貴瑞	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 英語で３分間程度のスピーチを行うことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　In-class effort：30%　Midterm presentation：20%　Final presentation：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。テキストに従って授業を展開します。基本的に演習活動→presentationという流れです。毎回の授業では、ペアやグループでの演習活動を行ってもらいます。積極的に参加してください。中間・期末の2回のpresentationも必ず行ってください。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回～第7回：演習活動(Unit 1~9)
第8回：Midterm Presentation
第9回～第14回：演習活動(Unit 10-15)
第15回：Preparation for the Final Presentation
期末試験：The Final Presentation

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
第7回・期末試験日：プレゼンテーションを行う。具体的な指示は授業内で行います。入念な準備をしたうえで臨んでください。

教科書・参考書等

English Presentations Today: Language Skills for International Presentations. (Christopher, P.) 2018. 南雲堂. ISBN 978-4523178644

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041310) Communicative English Ⅲ LJ(10) Communicative English Ⅲ Communicative English III	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 中住　幸治	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習45時間・事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 英語で３分間程度のスピーチを行うことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　In-class effort：20%　Presentations：60%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
テキストに従って授業を展開します。基本的に演習活動→presentationという流れで、個人あるいはグループで計5回のpresentationを行ってもらいます。

【授業計画】
第1~2回：Unit 1
第3~5回：Unit 2
第6~8回：Unit 4
第9~11回：Unit 5
第12~15回：Unit 8

この科目は基本的に対面授業で行いますが、状況によっては授業形態を一部又は全て遠隔へ変更する可能性もあります。

【授業外学習に関するアドバイス】
Presentation: 原稿準備やリハーサルは入念に行っておいてください。

教科書・参考書等

Bartelen, H. & Kostiuk, M. (2019). Ready to Present, National Geographic Learning, ISBN: 978-4-86-312351-9

オフィスアワー　木曜日　12:30~13:30　幸町キャンパス北5号館5階　中住研究室

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

教員の実務経験との関連

高等学校に勤務経験あり。英語を担当。高等学校での実務経験を基に英語プレゼンテーションについて演習を行います。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041311) Communicative English Ⅲ LJ(11) Communicative English Ⅲ Communicative English III	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 永尾　智	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備等）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められているスキルの一つです。この授業では、1年次の授業(Comunicative English I/II)で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。とはいえ、いきなりスピーチを繰り広げるのではなく、スピーチを行うために必要な基本的英語力の向上が直接的目的です。英語の基本的な構造を理解したうえで発信に使えるようにすることを最大の目的とします。伝える内容のないコミュニケーションはありえないので、使える英語のストックを増やし、それを読み、聞き、使えるようにするというプロセスを大切にします。

到達目標

１．英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲を持つことができる。
２．伝えたい内容を、コミュニケーション方略を用いて継続的コミュニケーションを図る意欲をもつ。
３．原稿を見ないで３分程度の（ナチュラルスピードで３分程度を要する分量のものの）発表を英語で行うことができる。
４．５分程度の英語放送を、要点を把握しながら聞くことができる。
１~４は、共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応する。

成績評価の方法と基準

・Quiz（小テスト等）：20%
・In-Class Efforts：20%
・Homework：30%
・期末試験：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
　この授業は基本的に対面形式で行います。座席は指定制です。毎回、初めの15分ほどは【聞き取りテスト】（5分程度の英語放送を聞き、内容把握のQ&Aを行います。）授業本編は、テキストの各種タスクを進めながら、英語圏文化、英語そのものの背景等に思いを拡げながらトレーニングを行います。

【授業計画】
・第1回：イントロダクション、座席指定、学習方法の確認、テキスト第1回の初めの3分の1ほどを扱う。
・第2回～第13回：テキストを授業１～２回で１ユニット進みます。ユニット終了後は次の授業回で復習テストを課します。
・第14・15回：扱ったユニットのテーマから１つを選んで3分程度の意見発表を行います。
・期末試験：テキストの内容に関するペーパーテストを行います。

【授業外学習に関するアドバイス】
・第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。（教科書を買わずに授業に出席してはなりません。著作権法違反になることはもちろん、各自の学習向上にマイナスとなりますし、学習意欲を疑われます。必ず、購入してください。）
・最初の２～３回の授業で学習方法に慣れてもらう必要があるので、3回まで可能な欠席権利を最初の方で行使するのは得策ではありません。
・外国語力とは、最後の最後は語彙力です。毎時間、辞書持参必須。電子辞書も可。少なくとも予習復習時には紙の辞書をフル活用するよう努めること。英英辞典（「Oxford Advanced Learner's Dictionary」第10版がおすすめ）の付属DVDをPCに落として利用するのも一興です。

教科書・参考書等

『In Focus: Student's Book 2』, by Charles Browne, Brent Culligan & Joseph Philips, Cambridge UP, 2014, ISBN: 978-1-107-69701-0

オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041312) Communicative English Ⅲ LJ(12) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 中井　富紀	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 本授業のテーマである自然な速度における対話の中に生じる音の現象の基本的な知識を織り込んで、通じる英語の音声を目指し、アクトアウトプレゼンテーションができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

In class act out presentation（8回）80%と最終試験（Final communication performance）20%で最終評価をする。各dialogごとに設定したゴールの到達度、声の大きさと明瞭さ、流暢度、感情表現などの項目から、B・A＋・A・A－のいずれかで判定する。これらを点数化したものから遅刻、欠席を減点し、皆勤の場合は加点をしたものが最終評価点となる。ペアワークであるが個別で評価する。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
＊マスク着用、教室全窓開放の上、対面で授業を実施する。テキストの各ダイアログに設定されたゴールをクリアすべく、覚えたダイアログのアクトアウトプレゼンテーションを行う。

【授業計画】
第1回：Course work introduction（コースワーク紹介）ハンドアウト配布、ペア決定など。
第2回：コミュニケーション活動－getting to know each other など。
第3回：dialog 1　Nice to meet you
第4回：dialog 2　What year are you in at pine tree?
第5回：dialog 3　Practice makes perfect
第6回：dialog 4　First bus ride
第7回：dialog 5　Greenwood
第8回 ： dialog 6　Talk about sport
第9回 ： dialog 7　This is the campus
第10回 ： dialog 8　At the university cafeteria
第11回 ： dialog 9　Two pieces of apple pie a la mode
第12回 ： dialog 10　I can’t stand cold weather
第13回：dialog 11 #1　Getting a part-time job
第14回：dialog 11 #2　Getting a part-time job
第15回：Review tasks for dialogs 1-11

【授業外学習に関するアドバイス】
ただ暗唱するだけでなく、コミュニケーションを意識して、大きな声で声読できるようにする。
さらに、それを習慣的なホームラーニングとして定着させることが必要である。

教科書・参考書等

Sounds Great. Fuki Nakai. Matsuyama Univ. Seikyo.

オフィスアワー　幸町北キャンパス教育学部棟3号館4階 中井研究室（特命講師控室）

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041313) Communicative English Ⅲ ED(1) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ヒル　スティーブ	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 英語で５分間程度のスピーチを行うことができる.、または身近なことについて英語で伝えることができるなど。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz, in-class effort, etc.：20%　Presentation1：15%　Presentation2：15%　Presentation3：20%　Final presentation：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
Weeks 2 -15: Based on topics, and skills learned from the textbook, students will plan, prepare and execute short speeches to express their opinions, tell about past experiences, and so on.

【授業計画】
Week 1: Orientation (students should be prepared to introduce themselves to their instructor and classmates).
Weeks 2 & 3: Preparation for speech 1
Weeks 4: Speech 1 class presentations
Weeks 5 & 6: Preparation for speech 2
Week 7: Speech 2 class presentations
Weeks 8 & 9: Preparation for speech 3
Week 10: Speech 3 class presentations
Weeks 11,12&13: Preparation for speech 4
Weeks 14 & 15: Final presentations
Week 16: Final presentations (continued) and self-assessment.

この科目は基本的に遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

Present Yourself Level 1 Student’s Book: Experiences. (Gershon, S.) 2015. CUP. ISBN 978-1107435636

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041314) Communicative English Ⅲ ED(2) Communicative English Ⅲ Communicative English III	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ジョナサン　ベリー	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Deliver 3 to 5-minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Student participation: 20%
Mid-term presentation: 20%
Final presentation: 40%
Homework: 20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Classwork will focus on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Students should be prepared to introduce themselves in English in front of the class.
Weeks 2-6: Practice of specific presentation skills based on topics in the textbook
Week 7: Mid-term presentations
Weeks 8-14: Practice of specific presentation skills based on topics in the textbook
Weeks 15-16: Final presentations

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content. Being familiar and competent with presentation software like PowerPoint will be advantageous.
Week 2-6: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 7: Midterm-presentations
Week 8-14: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 15-16: Final presentations

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全て。または一部の授 業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

Present Yourself I, (S.Gershon) CUP

オフィスアワー Please contact the instructor to arrange a meeting. Meetings can of course be arranged on Zoom too.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041315) Communicative English Ⅲ ED(3) Communicative English Ⅲ Communicative English III	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ビラ　ダビッド	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Academic English I/II		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

- Assignments: 25%
- In-class effort: 25%
- Mid-term presentation: 20%
- Final presentation: 30%

(A score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class.)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

Online presentations will be made in video form following the teacher's instructions.

[Course Schedule]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions
Week 2-6: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 7-8: Mid-term presentations.
Week 9-13: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 14: Final presentation workshop.
Week 15-16: Final presentations.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-14: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 3-5: Students should also prepare for mid-term presentations.
Week 12-14: Students should also prepare for final presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations.

In principle, this class will be conducted online. Some classes may be held in the regular classroom. Depending on the situation, the class may be shifted to regular face-to-face classes or be done entirely online.

教科書・参考書等
Present Yourself Level 2 by Gershon, S.- Cambridge University Press (2015) ? 2015 - ISBN: 978-1-107-43578-0
オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ
事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041316) Communicative English Ⅲ ED(4) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ ED (4)	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2021年度 前期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 パーキンス ガレス エドワード	関連授業科目 主題科目B-2で提供される講義 履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute speeches in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

The course will be graded on the following criteria:

Midterm presentation: 20%
Final presentation: 30%
In class Effort :30%
Home Work: 20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

(Course Method)

Class work will center on activities from the textbook, but there will also be a great deal of language from outside the text used, as well as grammar exercises. Body language, pronunciation and the coherent linking of ideas will be practiced.

(Course Schedule)

Week 1: introducing self
Week 2: vacations
week 3: culture
week 4: explaining ideas
week 5 : Sharing an opinion
week 6: discussing current events
week 7: midterm presentations
week 8: body language and non verbal communication
week 9: Common presentation language
Week 10: Storytelling in a presentation.
week 11: explaining a process.
Week 12: explaining how to do something in steps.
week 13: final presentation workshop
Week 14: review
Week 15: Final Presentations.

(self study)

Students should keep notes in every lesson and review them at home. They should use language studied during class to help complete their homework. Students should also watch TIF videos on youtube, mirroring language and body language. 90 minutes of homework will be set each week. The

tasks will be set to prepare for the following lesson and to review the previous lesson. Tasks will include keeping a journal, writing mini presentations and writing reports on topics of interest. Classes will be held face-to-face, on campus. We may need to switch to online lessons if the situation with COVID worsens.
教科書・参考書等 Present Yourself 2: Viewpoints, by Steven Gershon Publisher: Cambridge University Press (second edition) (3025 Yen) ISBN: 978-1-107-43578-0
オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041317) Communicative English Ⅲ ED(5) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 英語を用いて 10 分程度のプレゼンテーションをすることができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

クイズ：20%　課題・授業参加：30%　Midterm presentation：20%　Final presentation：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

【授業の方法】
開始－15分　クイズ　会話練習
15分－終了　テキストを使用しての演習

【授業計画】
第 1回：オリエンテーション　Unit 1 Enjoy Your Presentation in English
第 2回：Unit 2 Talking about Yourself
第 3回：Unit 3 Express Yourself
第 4回：Unit 4 Talking about Hobbies and Interests
第 5回：Unit 5 Talking about Your University
第 6回：Unit 6 Your Future Plans
第 7回：Unit 7 Expressing Appreciation
第 8回：　Midterm Presentation
第 9回：Unit 9 Expressing Your Opinion
第10回：Unit10 Giving a Presentation about Japan
第11回：Unit11 Old Japanese sayings
第12回：Unit12 Describing Things Japanese
第13回：Unit13 Current Issues in Japanese Society
第14回：Unit14 Current Issues in International Relations
第15回：　Final Presentation

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回以降：前時の指示に従い、課題と予習をした上で授業に臨むこと。
第8回と第15回のPresesntation については、事前に授業で周知する。

教科書・参考書等

This Is My Presentation!（Nobuyuki Honna他）2019 桐原書店　ISBN978-4-342-55012-6

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-axxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041318) Communicative English Ⅲ ED(6) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：axx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Class meetings and preparation time per week 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to become more confident and competent English speakers by the end of the 15-week semester. Students' overall English skills (in listening, reading, writing, and speaking) should also improve.

到達目標

By the end of the semester, students will become enabled to:
1. Voice their own opinions and offer information in pairs, groups, and in class discussion;
2. Describe pictures, videos and other material using simple English and gestures;
3. Deliver 3-5 minute presentations about personal and social topics in English, using PowerPoint

成績評価の方法と基準

Participation (in-class effort) : 20 pts (20%)
Homework & mini-presentations: 40 pts (40%)
Midterm Presentation : 20 pts (20%)
Final Presentation : 20 pts (20%)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【Class method】
In a typical class, activities in the textbook (Inspiring Voices) will fill the first hour of class time. The textbook will also be used for homework assignments. In the last 30 minutes of class, students will gain practice in speaking and presentation skills such as eye contact, voice projection, and impromptu speaking. Students will also learn how to deliver presentations using tools such as PowerPoint, as well as on online platforms such as Zoom. Students will deliver 4-5 mini-presentations in groups and in front of the class. English will be the main language of classroom communication.

【Class schedule】
Week 1: Introduction to course, instructor, and students; Speaking warm-up
Week 2-6: Textbook & speech practice
Week 7-8: Mid-term Presentations; Theme: A Person Who Inspired You I (Personal)
Week 9-13: Textbook & speech practice
Week 14-15: Final Presentations; Theme: A Person Who Inspired You II (Academic)

【Suggestions for self-study】
Week 1-5: Students should complete homework and practice mini-presentations.
Week 6-8: Students should prepare for the Mid-term Presentation.
Week 9-12: Students should complete homework and practice mini-presentations.
Week 13-15: Students should prepare for and deliver the Final Presentation.

* In principle, this class will be conducted in the regular classroom. Depending on the situation, the class may be shifted to online classes.

教科書・参考書等

Kobayashi, M., Fujita, R., & Collins, P. (2021). Inspiring Voices: 15 Interviews from NHK Direct Talk. Kinseido. ISBN: 978-4-7647-4120-1

オフィスアワー Information about office hours and arranging meetings with the instructor will be provided on the first day of class.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041319) Communicative English Ⅲ ED(7) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 篠原　範子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 英語で３分間程度のスピーチを行うことができる

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Assignment：20%　In-class effort：30%　Midterm presentation：20%　Final presentation：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
テキストに従って授業を進めます。

【授業計画】
第１回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第２回以降：テキストに従って行います。
詳細については、第1回目に説明します。

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【授業外学習に関するアドバイス】
授業での積極的な参加、また与えられた課題は必ずやってくることを前提とします。

教科書・参考書等

English Presentation Today: Language Skills for International Presentation (Christopher, P.) 2018. 南雲堂. ISBN 978-4523178644

オフィスアワー　必要があれば授業時間に。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041320) Communicative English Ⅲ ED(8) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 森川　光与	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備 30時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる
3. 英語で３分間程度のスピーチを行うことができる
4. 身近なことについて英語で伝えることができる

1~4 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）に対応しています。

成績評価の方法と基準

Quiz/Homework：30%　In-class effort/attendance：25％　Midterm Paper Exam/Presentation：20%
Final Paper Exam/Presentation：25%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
本講座では、社会で必要となるコミュニケーションスキルを磨くことを目指して、スピーキングを主としたアクティビティを実施します。

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【授業計画】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回～第14回：テキストに沿ってプレゼンテーションの技法を学ぶ。途中7，8回目あたりに中間試験を実施しますが、詳細はクラスでお話します。
第15回+期末試験日：プレゼンテーションを行う。具体的な指示は授業で行います。計画的に準備しておくこと。
【授業外学習に関するアドバイス】
毎日20分は英語に触れるのを目標として、授業外学習に取り組んでください。

事前学習として、宿題として提出した内容を実施してください。

事後学習として、英語によるスピーチに数多く触れるよう意識してください。TED Talkなどのスピーチ動画を定期的に観てください。こちらから指定したものを観る場合もありますが、指定がなくても英語に触れるための動画や音源などを探して英語に触れていただきます。最初の授業で詳しくお話します。

教科書・参考書等

動画で学ぶ英語プレゼンテーション ―覚えておきたい8つのモデル― Winning Presentations (Morita, A et al) 2018 成美堂　ISBN：9784791934249

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041321） Communicative English Ⅲ ED(9) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 瀬良　和彦	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 身近なことについて英語で伝えることができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

授業への参加度［提出率・課題内容など］（４回未提出は単位不認定）、小テスト（予定）、期末試験の結果などに基づいて、総合的に評価をする。平常点（提出率、課題内容、小テストほか）６０％、期末テスト４０％（未受験の場合は単位を認定しない）。ただし、受講生の能力、授業の進度などにより、若干の変動がある。尚、成績不振による救済措置等は行わない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

この科目は基本的に対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。受講生は、毎回①教科書の課題、②教科書の中での不明な点などの質問、③英語能力向上に関する課題を期限までに提出していただきます。教科書は、予習などに基づき、各回１章ずつ進む予定です。ただし、受講生の能力や授業の状況により、変更することもあります。また、適宜補助プリントを使用することもあります。

【授業計画】

第１回：オリエンテーション
第２回～第１５回：演習活動、小テスト
第１６回：期末テスト

【自学自習に関するアドバイス】

事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
教科書のトレーニング・マニュアルを参照すること。
（基礎トレーニング）
１、２週目の毎日のメニュー。
①テキストを見ないでＣＤを聴く×２回
②テキストを見ながらＣＤを聴く×１回
③テキストを黙読して意味を理解する×２回
④ＣＤを聴きながら、１文ずつ音読する×１回
⑤ＣＤに合わせてテキストを音読する×１回
⑥仕上げの音読をする×２回
（応用トレーニング）
３～５週目の毎日のメニュー
①テキストを見ないでＣＤを聴く×１回
②テキストを見ながらＣＤを聴く×１回
③テキストを黙読して意味を理解する×１回
④ＣＤに合わせてテキストを音読する×１回
⑤テキストを筆写する×１セット
⑥仕上げの音読をする×２回

教科書・参考書等 國弘正雄、千田潤一監修『英会話・ぜったい音読・続入門編』講談社インターナショナル、2004年、ISBN9784770025241
オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041322) Communicative English Ⅲ ED(10) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 水野　康一	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。

1～2 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

学期中２回の口頭発表（プレゼン）を筆記試験に代えます。

Quiz：30%　In-class effort：30%　Midterm presentation：20%　Final presentation：20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

教科書を用い，英語のスピーチ，プレゼンテーションのための指導を行います。期末試験に代えて学期中２回の口頭発表を課します。

【授業計画】

第1回：オリエンテーション
第2回～第7回：教科書による授業，スピーチの準備
第8回：口頭発表（スピーチ）
第9回～第14回：教科書による授業，プレゼンの準備
第15回：口頭発表（プレゼン）

【授業外学習に関するアドバイス】

第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回～第7回，第9回～第14回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
第8・15回：口頭発表（スピーチ，プレゼンテーション）を行う。計画的に準備しておくこと。

教科書・参考書等

English Presentations Today.(P. Christopher) 南雲堂

オフィスアワー　火曜日４時限目，金曜日４時限目

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041323) Communicative English Ⅲ ED(11) Communicative English Ⅲ Communicative English III	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 アダム・ブロッド	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 Class meetings and preparation time per week 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute speeches in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Student Participation: 20% In-class activities: 30% Mid-term presentation: 20% Final presentation: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.
This class will be held mainly online with some classes held face to face. Please note that this may change depending on the situation with the current pandemic.
[Course Schedule] [
Week1: Studens should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions
[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-10: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 11-14: Students should prepare for final presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

Speaking of Speech: Premium Edition. LeBeau Charles. National Geographic Learning. ISBN: 9784863123854

オフィスアワー Office Hours: Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し、内容を確認した上で第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041342) Communicative English Ⅲ ED(12) Communicative English Ⅲ Communicative English III	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 長井　克己	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 英語で簡単なスピーチを行うことができる

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

中間と期末の２回，教科書のUnitから１つテーマを選び，２分間スピーチをする。

第１回目の授業で配布する Rubric（原稿棒読みをしない，声が小さくない，聞きとりやすい，結論が明快，の４項目を５段階で２０点満点）を30/20倍して30点で採点。２回のスピーチ６０点＋毎週の活動と提出課題40点により，総合的に評価する。

新型コロナの感染状況によって，スピーチを録音したファイルや原稿提出で代替する可能性がある。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
「ひと」「場所」「もの」などのテーマについて，テキストを使用した（安全な範囲での）コミュニケーション活動を行い，英語を話すことに慣れていきます。

【授業計画】
この科目は基本的に対面授業を行います。
ただし新型コロナウイルスの感染状況により，遠隔授業に変更する可能性があります。緊急連絡は教務システム(Dream Campus)で行いますので，指示に従ってください。
wk 1 (April 9): introduction to the course / Getting Ready
wk 2 (April 16): Good friend 1
wk 3 (April 23): Good friend 2
wk 4 (April 30): Favorite place 1
wk 5 (May 14): Favorite place 2
wk 6 (May 21): Prized possession 1
wk 7 (May 28): Prized possession 2
wk 8 (June 4): Speech 1
wk 9 (June 11): Memorable experience 1
wk 10 (June 18): Memorable experience 2
wk 11 (June 25): I'll show you how 1
wk 12 (July 2): I'll show you how 2
wk 13 (July 9): Screen magic 1
wk 14 (July 16): Screen magic 2
wk 15 (July 21!): Speech 2

【授業外学習に関するアドバイス】
教室で大きな声は出せないので，自宅での練習が必須です。
下記教科書ウェブサイトで音声ファイルをダウンロードし，ビデオを視聴し，
(1) ビデオを何度も見て概要を理解し
(2) 聞き取れない箇所をスクリプトで確認し，辞書で調べ

(3) 自分のスピーチに使えそうな表現や語句をメモし，覚える 作業を行い，2回の英語スピーチに備えてください。
教科書・参考書等 Present Yourself Level 1 Student's Book Experiences 2nd Edition, ISBN 9781107435636. Cambridge U.P.
オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 手洗いや消毒，常時換気（窓開放）と安全な距離の確保等の感染防止対策を行った上で、対面授業を実施します。 マスクを着用し，1回目の授業で指定した場所に着席してください。大声や飲食は厳禁です。体調管理に気を遣い，咳や発熱等の症状が少しでもあれば，躊躇なく連絡して欠席（特別な理由による公欠）してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041324) Communicative English Ⅲ T(1) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期金4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ガルシア　フェルナンデス　マリアグデリア	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Class meetings and preparation time per week: 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute speeches in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

Evaluation Criteria
Students will be evaluated on the following:
Assigments: 30%　In-class effort: 20%　Mid-term presentation: 20%　Final presentation: 30%
(If you get a mark of 0% in any of those categories, you will fail the subject)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Classwork will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds. Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content. Introductions.
Week 2-6: Speech practice using the textbook and additional materials. Complete assigned homework.
Week 7-8: Mid-term presentations.
Week 9-13: Speech practice using the textbook and additional materials. Complete assigned homework.
Week 14: Students should prepare for final presentations.
Week 15-16: Final presentations.

This course will be taught face-to-face in all sessions, but there is a possibility that some or all of the classes will be taught remotely.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-6: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 7-8: Midterm-presentations.
Week 9-14: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 15-16: Students should deliver final presentations.

*Video and audio files are available on the publisher's web page:

https://www.cambridge.org/gp/cambridgeenglish/catalog/skills/present-yourself-2nd-edition/resources
教科書・参考書等 Present Yourself Level 1 Student’s Book: Experiences. (Gershon, S.) 2015. CUP. ISBN 978-1107435636
オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041325) Communicative English Ⅲ T(2) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期金4	**対象年次** 2～
	水準 学士:基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ブロックスホーム・ジェームズ・ダグラス	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Face to face classes (subject to change).
Class time per week: 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute speeches in English

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Homework assignments/class effort: 50% / Mid-term exam/assignment: 20% / Final exam/assignment: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Course Method:
Classwork will center on activities in the textbook and other supplementary materials. Students will be given many opportunities to practice important communication skills as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

Students should buy the textbook before the first class and pre-read the content before week 1.

Course schedule:
Week 1: Introduction to the course. Begin the course content.
Week 2-6: Speech practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 7: Mid-term presentations. (20%) completed in class time only
Week 9-14: Speech practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 15: Final presentation preparation.
(Final presentation to be completed in exam week) (30%)

Suggestions for self-study:
Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Read English books and magazines
Practice English with friends/ family
Listen to English songs and think about the meaning
Keep a journal in English
Try to learn and remember new English words -make original sentences or stories
Find words with similar meanings / make connections between words
Do extra homework practice e.g. try summarizing a news article, short book, or online video
Prepare/ pre-read textbook lesson content before the lesson
Review the previous lesson before the next class

教科書・参考書等

English Firsthand 2. 5th Edition with MyMobileWorld. Pearson. (2018) ISBN-13 978-9813132788

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041326) Communicative English Ⅲ T(3) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2021年度 前期金4	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 アーノルド・デビット	関連授業科目 主題科目B-2で提供される講義 履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Class meetings and preparation time per week 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; deliver 3-minute speeches in English; deliver 5-minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on:
In-class participation and other assignments 30%
Midterm presentation 30%
Final presentation 40%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【Course Method】
Class work will center on activites in the textbook, and aspects of the speech act will be introduced as the semester unfolds (including the verbal message, non-verbal message and rhetorical message). Students will be given many opportunities in class to practice these skills. As a rule, Japanese will not be allowed in class.
Week 1: Introduction to the course
Weeks 2-6: Textbook work and specific presenation skills
Week 7: Mid-term presentation
Weeks 8-14: Textbook work and specific presenation skills
Weeks 15-16: Final presentations

【Suggestions for self-study】
Instructors should write specific advice to assist students' out-of-class study during the semester. An example is provided below.
Week 1: Students should purchase their textbooks before the first class and look over the content.
Week 2-6: Students should complete assigned homework from the textbook and prepare for mini presentations.
Week 8-14 : Students should complete assigned homework from the textbook and prepare for mini presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

教科書：英語のスピーチとプレゼンの技術 Your First Speech and Presentation. 南雲堂 (2011) ISBN-13: 978-4-523-17662-6

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041327) Communicative English Ⅲ T(4) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期金4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 中井　富紀	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 本授業のテーマである自然な速度における対話の中に生じる音の現象の基本的な知識を織り込んで、通じる英語の音声を目指し、アクトアウトプレゼンテーションができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

In class act out presentation (8回) 80%と最終試験 (Final communication performance) 20%で最終評価をする。各dialogごとに設定したゴールの到達度、声の大きさと明瞭さ、流暢度、感情表現などの項目から、B・A＋・A・A－のいずれかで判定する。これらを点数化したものから遅刻、欠席を減点し、皆勤の場合は加点をしたものが最終評価点となる。ペアワークであるが個別で評価する。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
＊マスク着用、教室全窓開放の上、対面で授業を実施する。テキストの各ダイアロッグに設定されたゴールをクリアすべく、覚えたダイアロッグのアクトアウトプレゼンテーションを行う。

【授業計画】
第1回：Course work introduction（コースワーク紹介）ハンドアウト配布、ペア決定など。
第2回：コミュニケーション活動－getting to know each other など。
第3回：dialog 1　Nice to meet you
第4回：dialog 2　What year are you in at pine tree?
第5回：dialog 3　Practice makes perfect
第6回：dialog 4　First bus ride
第7回：dialog 5　Greenwood
第8回 ： dialog 6　Talk about sport
第9回 ： dialog 7　This is the campus
第10回 ： dialog 8　At the university cafeteria
第11回 ： dialog 9　Two pieces of apple pie a la mode
第12回 ： dialog 10　I can’t stand cold weather
第13回：dialog 11 #1　Getting a part-time job
第14回：dialog 11 #2　Getting a part-time job
第15回：Review tasks for dialogs 1-11

【授業外学習に関するアドバイス】
ただ暗唱するだけでなく、コミュニケーションを意識して、大きな声で声読できるようにする。
さらに、それを習慣的なホームラーニングとして定着させることが必要である。

教科書・参考書等

Sounds Great. Fuki Nakai. Matsuyama Univ. Seikyo.

オフィスアワー　幸町北キャンパス教育学部棟3号館4階 中井研究室（特命講師控室）

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041328) Communicative English Ⅲ T(5) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期金4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 コールドウェル　アンドリュージョン	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute speeches in English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Quizzes: 20%　In-class effort: 30%　Mid-term presentation: 20%　Final presentation: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Each class will incorporate the textbook and other supplementary materials. Many tasks will involve the paraphrasing, discussion and presentation of real-world information from sources such as newspapers, magazines and television. Students will gradually learn key speech and presentation language along with western gesturing techniques.

Week1: Introduction to course.
Week 2 ~ 5: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 6 ~ 7: Mid-term presentations.
Week 8 ~ 13: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 14: Final presentation workshop
Week 15 ~ 16: Final presentations.

You will receive details of the weekly content on the first day of your course.

In principle, this class will be conducted online. Some classes will be held in the regular classroom. Depending on the situation, the class may be shifted to regular face-to-face classes or be done entirely online.

[Suggestions for self-study]

Week 1: Students should purchase their textbooks before the first class and look over the content.
Week 2-6: Students should complete assigned homework from the textbook and prepare for mini presentations.
Week 8-14 : Students should complete assigned homework from the textbook and prepare for mini presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

Present Yourself Level 1 Student's Book: Experiences. (Gershon, S.) 2015.CUP. ISBN 978-1107435636

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041329) Communicative English Ⅲ T(6) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期金4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 田口　明美	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 身近なことについて英語で伝えることができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

授業への参加度　20%
小テスト2回　40%
中間スピーチ　20%
期末スピーチ　20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性もあります。
第7回と第14回に小テストを行います。
第8回と第15回にスピーチをしてもらいます。

【授業計画】
第1回:オリエンテーション
第2回~第6回:テキストの演習
第7回:小テスト
第8回:中間スピーチ
第9回~第13回:テキストの演習
第14回:小テスト
第15回:期末スピーチ

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認しておいてください。
第2回～第7回：小テストおよびスピーチに備えて下さい。
具体的な指示はネットワークを通して行います。
第9回~14回：小テストおよびスピーチに備えて下さい。
具体的な指示はネットワークを通して行います。

教科書・参考書等

You're welcome!.(Tae Kudo).2016.センゲージラーニング株式会社
ISBN 978-4-86312-279-6.

オフィスアワー　教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認しておいてください。
提出物の締め切り日時を厳守してください。

教員の実務経験との関連

全国通訳案内士および司法通訳の実務経験を活かし、日本文化や異文化に対する知識や理解を深められるよう講義を行います。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041330) Communicative English Ⅲ T(7) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ガルシア　フェルナンデス　マリアグデリア	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute speeches in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

Evaluation criteria
Students will be evaluated on the following:
Assigments: 30%　In-class effort: 20%　Mid-term presentation: 20%　Final presentation: 30%
(If you get a mark of 0% in any of those categories, you will fail the subject)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Classwork will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds. Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content. Introduction.
Week 2-6: Speech practice using the textbook and additional materials. Complete assigned homework.
Week 7-8: Mid-term presentations.
Week 9-13: Speech practice using the textbook and additional materials. Complete assigned homework.
Week 14: Students should prepare for final presentations.
Week 15-16: Final presentations.

This course will be taught face-to-face in all sessions, but there is a possibility that some or all of the classes will be taught remotely.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-6: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 7-8: Midterm-presentations.
Week 9-14: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 15-16: Students should deliver final presentations.

*Video and audio files are available on the publisher's web page:

https://www.cambridge.org/gp/cambridgeenglish/catalog/skills/present-yourself-2nd-edition/resources
教科書・参考書等 Present Yourself Level 1 Student’s Book: Experiences. (Gershon, S.) 2015. CUP. ISBN 978-1107435636
オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041331) Communicative English Ⅲ T(8) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ブロックスホーム・ジェームズ・ダグラス	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Face to face classes (subject to change).
Class time per week: 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute speeches in English

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Homework assignments/class effort: 50% / Mid-term exam/assignment: 20% / Final exam/assignment: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Course Method:
Classwork will center on activities in the textbook and other supplementary materials. Students will be given many opportunities to practice important communication skills as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

Students should buy the textbook before the first class and pre-read the content before week 1.

Course schedule:
Week 1: Introduction to the course. Begin the course content.
Week 2-6: Speech practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 7: Mid-term presentations. (20%) completed in class time only
Week 9-14: Speech practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 15: Final presentation preparation.
(Final presentation to be completed in exam week) (30%)

Suggestions for self-study:
Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Read English books and magazines
Practice English with friends/ family
Listen to English songs and think about the meaning
Keep a journal in English
Try to learn and remember new English words -make original sentences or stories
Find words with similar meanings / make connections between words
Do extra homework practice e.g. try summarizing a news article, short book, or online video
Prepare/ pre-read textbook lesson content before the lesson
Review the previous lesson before the next class

教科書・参考書等

English Firsthand 2. 5th Edition with MyMobileWorld. Pearson. (2018) ISBN-13 978-9813132788

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041332） Communicative English Ⅲ T(9) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2021年度 前期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 アーノルド・デビット	関連授業科目　主題科目B-2で提供される講義 履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　Class meetings and preparation time per week　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; deliver 3-minute speeches in English; deliver 5-minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on:
In-class participation and other assignments 30%
Midterm presentation 30%
Final presentation 40%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【Course Method】
Class work will center on activites in the textbook, and aspects of the speech act will be introduced as the semester unfolds (including the verbal message, non-verbal message and rhetorical message). Students will be given many opportunities in class to practice these skills. As a rule, Japanese will not be allowed in class.
Week 1: Introduction to the course
Weeks 2-6: Textbook work and specific presenation skills
Week 7: Mid-term presentation
Weeks 8-14: Textbook work and specific presenation skills
Weeks 15-16: Final presentations

【Suggestions for self-study】
Instructors should write specific advice to assist students' out-of-class study during the semester. An example is provided below.
Week 1: Students should purchase their textbooks before the first class and look over the content.
Week 2-6: Students should complete assigned homework from the textbook and prepare for mini presentations.
Week 8-14 : Students should complete assigned homework from the textbook and prepare for mini presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

教科書：英語のスピーチとプレゼンの技術 Your First Speech and Presentation. 南雲堂 (2011) ISBN-13: 978-4-523-17662-6

オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041333) Communicative English Ⅲ T(10) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 中井　富紀	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 本授業のテーマである自然な速度における対話の中に生じる音の現象の基本的な知識を織り込んで、通じる英語の音声を目指し、アクトアウトプレゼンテーションができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

In class act out presentation（8回）80%と最終試験（Final communication performance）20%で最終評価をする。各dialogごとに設定したゴールの到達度、声の大きさと明瞭さ、流暢度、感情表現などの項目から、B・A＋・A・A－のいずれかで判定する。これらを点数化したものから遅刻、欠席を減点し、皆勤の場合は加点をしたものが最終評価点となる。ペアワークであるが個別で評価する。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
＊マスク着用、教室全窓開放の上、対面で授業を実施する。テキストの各ダイアロッグに設定されたゴールをクリアすべく、覚えたダイアロッグのアクトアウトプレゼンテーションを行う。

【授業計画】
第1回：Course work introduction（コースワーク紹介）ハンドアウト配布、ペア決定など。
第2回：コミュニケーション活動－getting to know each other など。
第3回：dialog 1　Nice to meet you
第4回：dialog 2　What year are you in at pine tree?
第5回：dialog 3　Practice makes perfect
第6回：dialog 4　First bus ride
第7回：dialog 5　Greenwood
第8回 ： dialog 6　Talk about sport
第9回 ： dialog 7　This is the campus
第10回 ： dialog 8　At the university cafeteria
第11回 ： dialog 9　Two pieces of apple pie a la mode
第12回 ： dialog 10　I can’t stand cold weather
第13回：dialog 11 #1　Getting a part-time job
第14回：dialog 11 #2　Getting a part-time job
第15回：Review tasks for dialogs 1-11

【授業外学習に関するアドバイス】
ただ暗唱するだけでなく、コミュニケーションを意識して、大きな声で声読できるようにする。
さらに、それを習慣的なホームラーニングとして定着させることが必要である。

教科書・参考書等

Sounds Great. Fuki Nakai. Matsuyama Univ. Seikyo.

オフィスアワー　幸町北キャンパス教育学部棟3号館4階 中井研究室（特命講師控室）

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041334) Communicative English Ⅲ T(11) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 コールドウェル　アンドリュージョン	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute speeches in English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Quizzes: 20%　In-class effort: 30%　Mid-term presentation: 20%　Final presentation: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Each class will incorporate the textbook and other supplementary materials. Many tasks will involve the paraphrasing, discussion and presentation of real-world information from sources such as newspapers, magazines and television. Students will gradually learn key speech and presentation language along with western gesturing techniques.

Week1: Introduction to course.
Week 2 ~ 5: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 6 ~ 7: Mid-term presentations.
Week 8 ~ 13: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 14: Final presentation workshop
Week 15 ~ 16: Final presentations.

You will receive details of the weekly content on the first day of your course.

In principle, this class will be conducted online. Some classes will be held in the regular classroom. Depending on the situation, the class may be shifted to regular face-to-face classes or be done entirely online.

[Suggestions for self-study]

Week 1: Students should purchase their textbooks before the first class and look over the content.
Week 2-6: Students should complete assigned homework from the textbook and prepare for mini presentations.
Week 8-14 : Students should complete assigned homework from the textbook and prepare for mini presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

Present Yourself Level 1 Student's Book: Experiences. (Gershon, S.) 2015.CUP. ISBN 978-1107435636

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041335) Communicative English Ⅲ T(12) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 田口　明美	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 身近なことについて英語で伝えることができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

授業への参加度　20%
小テスト2回　40%
中間スピーチ　20%
期末スピーチ　20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。
第7回と第14回に小テストを行います。
第8回と第15回にスピーチをしてもらいます。

【授業計画】
第1回:オリエンテーション
第2回~第6回:テキストの演習
第7回:小テスト
第8回:中間スピーチ
第9回~第13回:テキストの演習
第14回:小テスト
第15回:期末スピーチ

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認しておいてください。
第2回～第7回：小テストおよびスピーチに備えてください。
具体的な指示はネットワークを通して行います。
第9回~14回：小テストおよびスピーチに備えてください。
具体的な指示はネットワークを通して行います。

教科書・参考書等

You're welcome!.(Tae Kudo).2016.センゲージラーニング株式会社
ISBN 978-4-86312-279-6.

オフィスアワー　教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認しておいてください。
提出物の締め切り日時を厳守してください。

教員の実務経験との関連

全国通訳案内士および司法通訳の実務経験を活かし、日本文化や異文化に対する知識や理解を深められるよう講義を行います。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041336) Communicative English Ⅲ A(1) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ (A1)	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期木3	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ニコラス　ダニエル　フライ	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Class meetings and preparation time per week 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

Course Outline
One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

General Objectives
This course focuses on the development of student's oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 10%　Mid-term presentation: 30%　Final presentation: 60%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
In-class activities will center on tasks in the textbook. Students will practice presentation skills with partners, in groups, and before the class, as well as prepare for mid-term and final presentations.
English will be the primary medium of communication in class.
[Course Schedule]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Present Yourself.
Week 2-6: Textbook study and speech practice
Week 7-8: Mid-term presentations
Week 9-12: Textbook study and speech practice
Week 13-14: Final presentations workshop.
Week 15-16: Final presentations.
[Suggestions for self-study]
Week 1-5: Students should complete assigned homework and prepare for mid-term presentations.
Week 6-7: Students should be prepared to deliver mid-term presentations.
Week 8-13: Students should complete assigned homework and prepare for final presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

Present Yourself Level 1 Student's Book: Experiences. (Gershon, S.) 2015.CUP.
ISBN 978-1107435636

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し、内容を確認した上で第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041337) Communicative English Ⅲ A(2) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ (A2)	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期木4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ニコラス　ダニエル　フライ	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Class meetings and preparation time per week 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

Course Outline
One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

General Objectives
This course focuses on the development of student's oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 10%　Mid-term presentation: 30%　Final presentation: 60%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
In-class activities will center on tasks in the textbook. Students will practice presentation skills with partners, in groups, and before the class, as well as prepare for mid-term and final presentations.
English will be the primary medium of communication in class.
[Course Schedule]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Present Yourself.
Week 2-6: Textbook study and speech practice
Week 7-8: Mid-term presentations
Week 9-12: Textbook study and speech practice
Week 13-14: Final presentations workshop.
Week 15-16: Final presentations.
[Suggestions for self-study]
Week 1-5: Students should complete assigned homework and prepare for mid-term presentations.
Week 6-7: Students should be prepared to deliver mid-term presentations.
Week 8-13: Students should complete assigned homework and prepare for final presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

Present Yourself Level 1 Student's Book: Experiences. (Gershon, S.) 2015.CUP.
ISBN 978-1107435636

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し、内容を確認した上で第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041338) Communicative English Ⅲ A(3) Communicative English Ⅲ Communicative English III	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期木3	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ビラ　ダビッド	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 5 minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
- Assignments: 25%
- In-class effort: 25%
- Mid-term presentation: 20%
- Final presentation: 30%

(A score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class.)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions.
Week 2-6: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 7-8: Mid-term presentations.
Week 9-13: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 14: Final presentation workshop.
Week 15-16: Final presentations.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-14: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 4-6: Students should also prepare for mid-term presentations.
Week 12-14: Students should also prepare for final presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations.

In principle, this class will be conducted online. Some classes will be held in the regular classroom. Depending on the situation, the class may be shifted to regular face-to-face classes or be done entirely online.

教科書・参考書等

Present Yourself Level 1 by Gershon, S.- Cambridge University Press (2015) - ISBN: 978-1-10743563-6

オフィスアワー	Students should contact the instructor to arrange meetings.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ	
事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。	

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041339) Communicative English Ⅲ A(4) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2021年度 前期木4	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 ビラ ダビッド	関連授業科目 主題科目B-2で提供される講義 履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 5 minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
- Assignments: 25%
- In-class effort: 25%
- Mid-term presentation: 20%
- Final presentation: 30%

(A score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class.)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions.
Week 2-6: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 7-8: Mid-term presentations.
Week 9-13: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 14: Final presentation workshop.
Week 15-16: Final presentations.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-14: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 4-6: Students should also prepare for mid-term presentations.
Week 12-14: Students should also prepare for final presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations.

In principle, this class will be conducted online. Some classes will be held in the regular classroom. Depending on the situation, the class may be shifted to regular face-to-face classes or be done entirely online.

教科書・参考書等

Present Yourself Level 1 by Gershon, S.- Cambridge University Press (2015) - ISBN: 978-1-10743563-6

オフィスアワー	Students should contact the instructor to arrange meetings.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ	
事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。	

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041340) Communicative English Ⅲ A(5) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期木3	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 吉川　友子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 身近なことについて英語で２分間程度のまとまった内容を伝えることができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　In-class effort：20%　Midterm presentation：30%　Final presentation：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。課題提出等はオンラインでの提出を予定しています。
授業ではテキストに沿って、アイコンタクトやジェスチャーなどの非言語ツールを重視しつつ具体的な表現練習を重ね､英語によるプレゼンテーションのしかたを学習します。基本的に授業１回で１ユニット進めます。

【授業計画】
第１回：Introduction
第２回～第７回：演習活動（Unit １～６）
中間評価のための課題提出（プレゼンテーション）
第８回～第１５回：演習活動（Unit７～１４）
期末評価のための課題提出（プレゼンテーション）

【授業外学習に関するアドバイス】
・具体的な内容については、毎回の授業で指示する。課題提出や小テストも評価に含まれることに注意し､計画的に準備しておくこと。
第１回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第1～7回：プレゼンテーションの枠組みとボディランゲージの重要性を理解し､英語のプレゼンテーションで使われる表現を身につける（14時間）また､中間評価のための課題に向けて準備を進める。（2時間）
第8回～第15回：さらなるプレゼンテーションの技法を習得しつつ､論理的展開方法について理解を深め､英語のプレゼンテーションで使われる表現を身につける（16時間）また､教科書の各課のモデルを参考にしながら期末評価のための課題に向けて準備を進める。（4時間）

教科書・参考書等

英語プレゼンテーション教材開発研究チーム（2020） College Presentation: Bridge to Better Communication 『プレゼンテーションを観て学ぶ　英語コミュニケーション』金星堂 2,500円＋税 ISBN: 978-4-7647-4099-0

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041341） Communicative English Ⅲ A(6) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期木4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 吉川　友子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 身近なことについて英語で２分間程度のまとまった内容を伝えることができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　In-class effort：20%　Midterm presentation：30%　Final presentation：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。課題提出等はオンラインでの提出を予定しています。
授業ではテキストに沿って、アイコンタクトやジェスチャーなどの非言語ツールを重視しつつ具体的な表現練習を重ね､英語によるプレゼンテーションのしかたを学習します。基本的に授業１回で１ユニット進めます。

【授業計画】
第１回：Introduction
第２回～第７回：演習活動（Unit １～６）
中間評価のための課題提出（プレゼンテーション）
第８回～第１５回：演習活動（Unit７～１４）
期末評価のための課題提出（プレゼンテーション）

【授業外学習に関するアドバイス】
・具体的な内容については、毎回の授業で指示する。課題提出や小テストも評価に含まれることに注意し､計画的に準備しておくこと。
第１回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第1～7回：プレゼンテーションの枠組みとボディランゲージの重要性を理解し､英語のプレゼンテーションで使われる表現を身につける（14時間）また､中間評価のための課題に向けて準備を進める。（2時間）
第8回～第15回：さらなるプレゼンテーションの技法を習得しつつ､論理的展開方法について理解を深め､英語のプレゼンテーションで使われる表現を身につける（16時間）また､教科書の各課のモデルを参考にしながら期末評価のための課題に向けて準備を進める。（4時間）

教科書・参考書等

英語プレゼンテーション教材開発研究チーム（2020） College Presentation: Bridge to Better Communication 『プレゼンテーションを観て学ぶ　英語コミュニケーション』金星堂 2,500円＋税 ISBN: 978-4-7647-4099-0

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041344) Communicative English Ⅲ M(1) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2021年度 前期金1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン	関連授業科目 主題科目B-2で提供される講義 履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Deliver 3-5-minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Student participation: 20%
Forum discussions: 30%
Mid-term presentation: 20%
Final presentation: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]

Classwork will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds. Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.
This course will be mostly taught face-to-face but some classes will be taught online. Depending on the situation with the current pandemic, all classes may be changed to face-to-face or online.

[Course Schedule]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Students should be prepared to introduce themselves in English in front of the class.
Weeks 2-6: Practice of specific presentation skills based on topics in the textbook
Week 7: Mid-term presentations
Weeks 8-13: Practice of specific presentation skills based on topics in the textbook
Weeks 14-15: Final presentations

[Suggestions for self-study]

Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-6: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class. Students will be expected to write around 250 words per week on a topic given in class.
Week 7: Midterm-presentations (face-to-face unless told otherwise)
Week 8-13: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class. Students will be expected to write around 300 words per week on a topic given in class.
Week 14-15: Final presentations (face-to-face unless told otherwise)

教科書・参考書等 英語のスピーチとプレゼンの技術 Your First Speech and Presentation.　南雲堂（2011）ISBN-13: 978-4-523-17662-6
オフィスアワー　Office hours: Wednesday: 9 am -10 am or contact the instructor to arrange meetings.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041345) Communicative English Ⅲ M(2) Communicative English Ⅲ Communicative English III	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期金1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ビラ　ダビッド	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Academic English I/II		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

- Assignments: 25%
- In-class effort: 25%
- Mid-term presentation: 20%
- Final presentation: 30%

(A score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class.)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

Online presentations will be made in video form following the teacher's instructions.

[Course Schedule]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions
Week 2-6: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 7-8: Mid-term presentations.
Week 9-13: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 14: Final presentation workshop.
Week 15-16: Final presentations.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-14: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 3-5: Students should also prepare for mid-term presentations.
Week 12-14: Students should also prepare for final presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations.

In principle, this class will be conducted online. Some classes may be held in the regular classroom. Depending on the situation, the class may be shifted to regular face-to-face classes or be done entirely online.

教科書・参考書等
Present Yourself Level 2 by Gershon, S.- Cambridge University Press (2015) - 2015 - ISBN: 978-1-107-43578-0
オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ
事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041346) Communicative English Ⅲ M(3) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期金1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 英語を用いて 10 分程度のプレゼンテーションをすることができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

クイズ：20%　課題・授業参加：30%　Midterm presentation：20%　Final presentation：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

【授業の方法】
開始-15分　クイズ　会話練習
15分-終了　テキストを使用しての演習

【授業計画】
第 1回：オリエンテーション　Unit 1 My Club Activities / Slide 1 & 2
第 2回：Unit 2　How Committed Are You to Learning English? / Slide 3 & 4
第 3回：Unit 3　What Do You Want to Do with Your Life? / Slide 5 & 6
第 4回：Unit 4　My Part-time Job / Slide 7 & 8
第 5回：Unit 5　How Do You Keep Fit? / Slide 9 & 10
第 6回：Unit 6　Should Alcohol Abuse Be Tolerated? / Slide 11 & 12
第 7回：Unit 7　Smoking Should Be Banned in All Public Places / Slide 13 & 14
第 8回：　Midterm Presentation
第 9回：Unit 9　Pet Owners Should Be Responsible for Their Pets - Until the End / Slid 15 & 16
第10回：Unit10　Domestic Violence Should Not Be Tolerated　/ Slide 17 & 18
第11回：Unit11　How Can We Prevent Suicides?　/ Slide 19 & 20
第12回：Unit12　Colleges Should Offer Driving Lessons
第13回：Unit13　Schools Should Not Force Students to Do Volunteer Work
第14回：Unit14　Should the Age of Adulthood Be Lowered in Japan?
第15回：　Final Presentation

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回以降：前時の指示に従い、課題と予習をして臨むこと。
第8回と第15回のPresentationについては事前に授業で周知する。

教科書・参考書等

Your First Speech and Presentation 英語スピーチとプレゼンの技術　(Kobayashi Toshihiko　Shawn M. Clankie)　NAN'UN-DO　2017　ISBN978-4-523-17662-6

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041347) Communicative English Ⅲ M(4) Communicative English Ⅲ Communicative English III	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期金1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 長井　克己	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語で３分間，話し続けることができる。
2. 医療に関するテーマについて，自分の意見を英語で伝え，質問に答えることができる。

(共通教育スタンダード「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応)

成績評価の方法と基準

(1) 3-minute speech on newspaper articles(20%)
(2) Speech handout and Q&A (20%)
(3) Exam 1 (30%) and Exam 2 (30%)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
(1) Speech in 3 minutes on newspaper articles （コロナの状況により，録音や原稿で代替する可能性あり)
(2) Q&Aとコメント作成
(3) 教科書を用いた Shadowing / Role-play 演習（状況によりリスニング等の課題に変更)
新聞記事のスピーチ用ハンドアウト(学籍番号.pdf)はメールの添付として前日までに提出すること。
毎週スピーチとハンドアウトへのコメントを提出し，出席確認とします。

【授業計画】
この科目は基本的に対面授業を行います。
ただし新型コロナウイルスの感染状況により，遠隔授業に変更する可能性があります。緊急連絡は教務システム(Dream Campus)で行いますので，指示に従ってください。
wk 1 (April 9): newsの切り抜きを読む，教科書 part 1
wk 2 (April 16): ch 1-2, news 1
wk 3 (April 23): ch 3-4, news 2
wk 4 (April 30): ch 5-6, news 3
wk 5 (May 14): ch 7-8, news 4
wk 6 (May 21): ch 9-10, news 5
wk 7 (May 27): ch 11, news 6
wk 8 (June 4): tutorial / mid-term esam 1
wk 9 (June 11): ch 12-13, news 7
wk 10 (June 18): ch 14-15, news 8
wk 11 (June 25): ch 16-17, news 9
wk 12 (July 2): ch 18-19, news 10
wk 13 (July 9): ch 20-21, news 11
wk 14 (July 16): ch 22-23, news 12
wk 15 (July 21!): tutorial / mid-term exam 2

【授業外学習に関するアドバイス】
教科書 Part 1 は易しすぎるので授業では扱いませんが，未知の語句は抜き出して覚えること。
Part 2 部分はCDを繰り返し聞き，同時に発音し，耳と口で語彙を増やすこと。

教科書・参考書等

正しく診断するための 医師の診療英会話．ナツメ社．978-4816358142.
スピーチの題材となるニュースは，１回目に新聞記事を配付。

オフィスアワー	授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 手洗いや消毒，常時換気（窓開放）と安全な距離の確保等の感染防止対策を行った上で、対面授業を実施します。 マスクを着用し，1回目の授業で指定した場所に着席してください。大声や飲食は厳禁です。体調管理に気を遣い，咳や発熱等の症状が少しでもあれば，躊躇なく連絡して欠席（特別な理由による公欠）してください。	

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041348) Communicative English Ⅲ NP(1) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期金2	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 コールドウェル　アンドリュージョン	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute speeches in English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Quizzes: 20%　In-class effort: 30%　Mid-term presentation: 20%　Final presentation: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Each class will incorporate the textbook and other supplementary materials. Many tasks will involve the paraphrasing, discussion and presentation of real-world information from sources such as newspapers, magazines and television. Students will gradually learn key speech and presentation language along with western gesturing techniques.

Week1: Introduction to course.
Week 2 ~ 5: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 6 ~ 7: Mid-term presentations.
Week 8 ~ 13: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 14: Final presentation workshop
Week 15 ~ 16: Final presentations.

You will receive details of the weekly content on the first day of your course.

In principle, this class will be conducted online. Some classes will be held in the regular classroom. Depending on the situation, the class may be shifted to regular face-to-face classes or be done entirely online.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should purchase their textbooks before the first class and look over the content.
Week 2-6: Students should complete assigned homework from the textbook and prepare for mini presentations.
Week 8-14 : Students should complete assigned homework from the textbook and prepare for mini presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

Present Yourself Level 1 Student's Book: Experiences. (Gershon, S.) 2015.CUP. ISBN 978-1107435636

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041349) Communicative English Ⅲ NP(2) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期金2	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 中井　富紀	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 本授業のテーマである自然な速度における対話の中に生じる音の現象の基本的な知識を織り込んで、通じる英語の音声を目指し、アクトアウトプレゼンテーションができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

In class act out presentation（8回）80%と最終試験（Final communication performance）20%で最終評価をする。各dialogごとに設定したゴールの到達度、声の大きさと明瞭さ、流暢度、感情表現などの項目から、B・A＋・A・A－のいずれかで判定する。これらを点数化したものから遅刻、欠席を減点し、皆勤の場合は加点をしたものが最終評価点となる。ペアワークであるが個別で評価する。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
＊マスク着用、教室全窓開放の上、対面で授業を実施する。テキストの各ダイアログに設定されたゴールをクリアすべく、覚えたダイアログのアクトアウトプレゼンテーションを行う。

【授業計画】
第1回：Course work introduction（コースワーク紹介）ハンドアウト配布、ペア決定など。
第2回：コミュニケーション活動－getting to know each other など。
第3回：dialog 1　Nice to meet you
第4回：dialog 2　What year are you in at pine tree?
第5回：dialog 3　Practice makes perfect
第6回：dialog 4　First bus ride
第7回：dialog 5　Greenwood
第8回 ： dialog 6　Talk about sport
第9回 ： dialog 7　This is the campus
第10回 ： dialog 8　At the university cafeteria
第11回 ： dialog 9　Two pieces of apple pie a la mode
第12回 ： dialog 10　I can’t stand cold weather
第13回：dialog 11 #1　Getting a part-time job
第14回：dialog 11 #2　Getting a part-time job
第15回：Review tasks for dialogs 1-11

【授業外学習に関するアドバイス】
ただ暗唱するだけでなく、コミュニケーションを意識して、大きな声で声読できるようにする。
さらに、それを習慣的なホームラーニングとして定着させることが必要である。

教科書・参考書等

Sounds Great. Fuki Nakai. Matsuyama Univ. Seikyo.

オフィスアワー　幸町北キャンパス教育学部棟3号館4階 中井研究室（特命講師控室）

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041350） Communicative English Ⅲ NP(3) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期金2	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 吉川　友子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 身近なことについて英語で２分間程度のまとまった内容を伝えることができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　In-class effort：20%　Midterm presentation：30%　Final presentation：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。課題提出等はオンラインでの提出を予定しています。
授業ではテキストに沿って、アイコンタクトやジェスチャーなどの非言語ツールを重視しつつ具体的な表現練習を重ね､英語によるプレゼンテーションのしかたを学習します。授業２回で１ユニット進む程度の進度で課によって変則的に進めます。

【授業計画】
第１回：オリエンテーション､演習活動（Unit 1）
第２回～第７回：演習活動（Unit １～４）
中間評価のための課題提出（プレゼンテーション）
第８回～第１５回：演習活動（Unit ５～８）
期末評価のための課題提出（プレゼンテーション）

【授業外学習に関するアドバイス】
・具体的な内容については、毎回の授業で指示する。課題提出や小テストも評価に含まれることに注意し､計画的に準備しておくこと。
第１回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第1～7回：プレゼンテーションの枠組みとボディランゲージの重要性を理解し､英語のプレゼンテーションで使われる表現を身につける（14時間）また､中間評価のための課題に向けて準備を進める。（2時間）
第8回～第15回：プレゼンテーションの論理的展開方法について理解を深め､教科書の各課のモデルを参考にしながら､実際にプレゼンテーション原稿を構成する（16時間）また､期末評価のための課題に向けて準備を進める。（4時間）

教科書・参考書等

Charles LeBeau (2021) Speaking of Speech, Premium Edition: Basic Presentation Skills for Beginners. National Geographic Learning / Cengage Learning K.K.
2,800円＋税 ISBN: 978-4-86312-385-4

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041351) Communicative English Ⅲ NP(4) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ NP (4)	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期金2	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute speeches in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

The course will be graded on the following criteria:
Midterm presentation: 20%
Final presentation: 30%
In class Effort :30%
Home Work: 20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

(Course Method)

Class work will center on activities from the textbook, but there will also be a great deal of language from outside the text used, as well as grammar exercises. Body language, pronunciation and the coherent linking of ideas will be practiced.

(Course Schedule)

Week 1: introducing self
Week 2: vacations
week 3: culture
week 4: explaining ideas
week 5 : Sharing an opinion
week 6: discussing current events
week 7: midterm presentations
week 8: body language and non verbal communication
week 9: Common presentation language
Week 10: Storytelling in a presentation.
week 11: explaining a process.
Week 12: explaining how to do something in steps.
week 13: final presentation workshop
Week 14: review
Week 15: Final Presentations.

(self study)

Students should keep notes in every lesson and review them at home. They should use language studied during class to help complete their homework. Students should also watch TIF videos on youtube, mirroring language and body language. 90 minutes of homework will be set each week. The tasks will be set to prepare for the following lesson and to review the previous lesson. Tasks

will include keeping a journal, writing mini presentations and writing reports on topics of interest.

Classes will be held face-to-face, on campus. We may need to switch to online lessons if the situation with COVID worsens.

教科書・参考書等

Present Yourself 2: Viewpoints, by Steven Gershon Publisher: Cambridge University Press (second edition) (3025 Yen) ISBN: 978-1-107-43578-0

オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041401) Communicative English Ⅳ LJ(1) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ (LJ1)	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ニコラス　ダニエル　フライ	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Class meetings and preparation time per week: 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

Course Outline
One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

Course Objectives
This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately 100 -word journal entries each week.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 10%　Mid-term essay: 30%　Final essay: 60%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Each class will center on a writing task in the textbook (e.g., business letters, responses to invitations, etc.) Writing will be done in class and assigned as homework. Completed writing assignments will be used for group activities and other communicative tasks. The class will be conducted exclusively in English in order to develop student's overall English skills.

[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions
Week 2-7: Writing from within 1 writing task.
Week 8: Mid-term test
Week 9-15: Writing from within 1 writing tasks
Week 16: Final test
[Suggestions for self-study]
Week 1-14: Complete homework from the textbook and other writing assignments.

教科書・参考書等

Writing from Within 1 2nd Edition. (Kelly, C & Gargadliano, A,) 2011. CUP ISBN 978-0-521-18827-2

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041402) Communicative English Ⅳ LJ(2) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ポール・バテン	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / Ⅱ		

学習時間 授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で300語程度のエッセイを書くことができる。

1～3は、共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応。

成績評価の方法と基準

Quizzes：20%　In-class effort：30%　assignments：50%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

この科目は基本的に遠隔授業を行います。一部の授業回では対面式授業を行うこともありえます。なお、状況によって授業形式を全て対面式または遠隔へ変更する可能性があります。

This class will focus on writing but with a strong emphasis on pair and group work on tasks in the class. By checking together to produce a written text, students will be encouraged and will learn better. The tasks in the text cover a variety of topics and introduce students to a good range of writing skills in English.

1. Course intro
2. Who am I?
3. An important place
4. An ideal partner
5. My favourite photo
6. My seal
7. Party time
8. Mid-term check, review, questions.
9. Thank-you note
10. Friendship
11. Superhero powers
12. Advertisements
13. Lessons learned
14. Emails
15. Final review, check

【授業外学習に関するアドバイス】

第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。

第1～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。

教科書・参考書等

Writing from Within 1, Second Edition by Kelly, C. & Gargagliano, A. Cambridge University Press (2011) - ISBN: 978-0-521-18827-2

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

教員の実務経験との関連

私にとっての外国語の日本語は、３０年以上前から毎日直面しています。２７年前から大学生を教えています。出来るだけ学生にとって実践的なスキルを身につける授業を目さします。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041403) Communicative English Ⅳ LJ(3) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 コールドウェル　アンドリュージョン	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English short essays essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Quizzes: 20%　In-class effort: 30%　Mid-term essay: 20%　Final essay: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Each class will center on a written task from the textbook as well as supplementary materials. (E.g. sending letters, work emails and so forth. Completed assignments will be used for group analysis and activities. Class will be conducted in English to develop students' English skills. Students will be set weekly writing tasks for homework.

Week 1: Students casually introduce themselves to their teacher and classmates.
Week 2 ~ 4: Units will be taught from the textbook covering topics such as appropriate email etiquette, filling out forms and business letters.
Week 5 ~ 6: preparation for and submission of midterm report.
Week 7 ~ 14: Continue to work through textbook: topics such as arranging meetings, writing descriptions, sending postcards and invitations.
Week 15 - 16: Final report preparation and submission.
*Students will receive a detailed description of weekly activities on the first day of the course.

In principle, this class will be conducted online. Some classes will be held in the regular classroom. Depending on the situation, the class may be shifted to regular face-to-face classes or be done entirely online.

(Self study)

Take notes in every class. Use the language you learned in class to complete your homework. Reading is very important if your aim is to improve at writing, so you should read at least 30 minutes a week outside of class time. The tasks will be set to prepare for the following lesson and to review the previous lesson. Tasks will include writing mini presentations and writing reports on topics of interest.

教科書・参考書等

Writing from Within Book 1 Second Edition. (Kelly & Gargagliano) Cambridge University Press ISBN 978-0-521-18827-2

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041404) Communicative English Ⅳ LJ(4) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 森川　光与	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / Ⅱ		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 読解や聴解によって理解した内容を自分の言葉で要約することができる。
4. 限られた時間の中で、英語で 300 語程度の文章を辞書を使わずに書くことができる

1~4 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）に対応しています。

成績評価の方法と基準

Homework：30%　In-class effort/attendance：25%　2 Writing assignments 20%　Final Paper / Presentation：25%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】社会人として求められる英語のライティング力を磨くため、様々なシチュエーションのライティングを練習します。

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【授業計画】

第１回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。

第1～15回目：指定の教科書とその他補足資料を使ったライティング中心の授業。期末も含めて3回のライティング課題があります。詳細および日程はクラスでお伝えします。

期末試験期間：ライティング課題のうちの最終回3回目を実施。

教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。

その他：英語で書いたエッセイを数回提出してもらう予定です。タイトル等の指示は授業内で行います。

【授業外学習に関するアドバイス】

毎日20分は英語に触れるのを目標として、授業外学習に取り組んでください。ライティングの基礎力にはリーディングが不可欠です。英語の読み物に触れることを意識しましょう。

事前学習として、宿題として提出した内容を実施してください。

事後学習として、英語によるスピーチや読み物に数多く触れるよう意識してください。こちらから指定したものを閲覧、または読んでいただく場合もありますが、指定がなくても英語に触れるための動画や音源、記事などを探して定期的に英語に触れていただきます。最初の授業で詳しくお話します。

教科書・参考書等

Writing from Within LEVEL2 2nd Edition. (Kelly, C & Gargadliano, A) 2011. CUP. ISBN 978-0-521-18834-0.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041405） Communicative English Ⅳ LJ(5) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 中井　富紀	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / Ⅱ		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で300語程度のエッセイを既習のエッセイライティングスキルを駆使して論理的に書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

（予習）語いリスト30%　中間エッセイ：30%　　最終エッセイ：40%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
＊マスク着用、教室全窓開放の上、対面で授業を実施する。
毎回、エッセイライティングのスキルを学習し、定着のための演習活動を行う。
演習活動とは、実際にセンテンスレベル、パラグラフレベル、エッセイレベルで書くことを体験する。
効果的なエッセイライティングの理論と実践で展開する。

【授業計画】
第1回：Course work introduction（コースワーク紹介）
第2回：Overviewーエッセイの構造、論理展開、テキスト全体像説明など。
第3回：unit 1　Narrative Paragraphs #1
第4回：unit 2　Narrative Paragraphs # 2
第5回：unit 3　Descriptive Paragraphs #1
第6回：unit 4　Descriptive Paragraphs # 2
第7回：unit 5　Compare and Contrast Paragraphs #1
第8回 ： unit 6　Compare and Contrast Paragraphs # 2
第9回 ： unit 7　Cause and Effect Paragraphs #1
第10回 ： unit 8　Cause and Effect Paragraphs #2
第11回 ： unit 9　Summary Paragraphs #1
第12回 ： unit 10　Summary Paragraphs #2
第13回：unit 11　Opinion Paragraphs #1
第14回：unit 12　Opinion Paragraphs #2
第15回：Review tasks for Units 1-12

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前にテキストを購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第3～第15回：予習として、該当のunitの語いを調べて語いリストを作成しておくこと。語いは必ず電子辞書、ネットなどを利用して、音声とともに確認しておくこと。
その他：英語で書いたドラフトを２回、エッセイを２回、提出することになっている。計画的に準備しておくこと。

教科書・参考書等

Writing for fluency and accuracy. Cengage. ISBN 978-4-86312-3069

オフィスアワー　幸町北キャンパス教育学部棟3号館4階 中井研究室（特命講師控室）

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041406) Communicative English Ⅳ LJ(6) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2021年度** 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 竹中　千鶴	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Academic English Ⅰ / Ⅱ		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習30時間＋事後学習30時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 200～300 語程度のジャーナルやエッセイを書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

平常点(授業参加、ノート提出）：30%
小テスト：10%
作文課題（長文）提出：60%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
授業はテキストに沿って次のような活動をする。

１．Warm-upとして、与えられたトピックについて、各自、あるいはペア・グループでブレーンストーミングする。（即興の会話・作文）
２．パラグラフ構成パターンを学ぶ。（　6種類のパターンを徐々に学ぶ。）
３．実際にまとまった文章を書き、クラス内で読み合いコメントし合う。
４．仲間や教師からのアドバイスをもとに文章を修正し仕上げる。

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【授業計画】

第1回・・・・・・・オリエンテーション
第2回～８回・・・・Unit１～６
第9回～15回・・・・Unit７~１２
第16回・・・・・・　期末テスト

進度は様子を見ながら変更する可能性があります。

【自学自習のためのアドバイス】
事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
専用のノートを一冊準備すること。
第２～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
その他：授業準備、提出物についての指示に従い、計画的に準備すること。

教科書・参考書等

教科書
Andy Boon. (2017). Writing for Fluency and Accuracy. Cengage Learning.　ISBN 978-4-86312-306-9

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041407) Communicative English Ⅳ LJ(7) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Students will develop a much stronger understanding of grammar and writing techniques. They will be better able to express themselves in written English, as well as develop skills useful for work and travel.

成績評価の方法と基準

Students will be graded as follows:

Midterm report: 20%
Final report: 30%
Homework: 20%
In Class Effort: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

(Course method)

Though the text book will be used in most lessons, the students will be doing a lot of writing based on prompts and activities. There will be a strong focus on explaining, and getting students comfortable with, different types of grammar. One of the main goals of the class to have the students engage with English on a personal level to express themselves.

Week 1: introduction to course and text
week 2: writing about self
week 3: reviews
Week 4: narrative in writing/relative pronouns.
week 5: complaining in English
week 6: midterm presentation workshop
week 7: hand in midterm presentations. Writing invitations.
Week 8: formality and manners in writing.
week 9: abbreviations and appropriate use.
week 10: travel writing
Week 11: explaining a process (cooking, making something)
week 12: historical writing (passive grammar.)
Week 13: Writing about a place (passive grammar continued.)
week 14: Final report workshop.
week 15: Hand in final reports. Review language learned over the semester.

(Self study)

Take notes in every class. Use the language you learned in class to complete your homework. Read articles on breakingnewsenglish.com and/or any online newspaper that interests you. reading is very important if your aim is to improve at writing. 90 minutes of homework will be set each week. The tasks will be set to prepare for the following lesson and to review the previous

lesson. Tasks will include keeping a journal, writing mini presentations and writing reports on topics of interest. Classes will be held face-to-face, on campus. We may need to switch to online lessons if the situation with COVID worsens.
教科書・参考書等 Inside Writing 1: The Academic Word List in Context Arline Burgmeier / Rachel Lange Oxford University Press ISBN: 978-0194601160
オフィスアワー　Students should consult the instructor to arrange meetings.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041408) Communicative English Ⅳ LJ(8) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 杉田　貴瑞	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Academic English Ⅰ / Ⅱ		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 300 語程度のエッセイを書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　In-class effort：30%　Midterm paper：20%　Final paper：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。基本的にテキストに沿って授業を進めます。英文エッセイを書く事前準備、構成、草稿作り、推敲の順に学び、実際に一つのエッセイを書いてもらいます。

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2回～第7回：演習活動・エッセイ作成（Unit 1~4)

第8回：Midterm Paper

第9回～第15回：演習活動・エッセイ作成（Unit 5~8)

【授業外学習に関するアドバイス】

第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。

第2～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。

その他：英語で書いたエッセイを8回目と15回目に提出してもらう予定である。8回目のエッセイをさらに発展させて、第15回目のエッセイにつなげる。タイトル等の指示は授業内で行う。計画的に準備しておくこと。

教科書・参考書等

Writing from Within 1 2nd Edition. (Kelly, C. & Gargadliano, A.)2011. CUP. ISBN 978-0521188272.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041409) Communicative English Ⅳ LJ(9) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 中住　幸治	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習30時間・事後学習30時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 見本（モデル）を参考にして英語で150語程度のエッセイを書くことができる。

1～3は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：15% In-class effort/homework：25% Essays：60%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】基本的にテキストに沿って授業を行います。
brainstorming→organization→drafting→editing→feedback、という流れでエッセイを書いてもらいます。

【授業計画】
第1週：オリエンテーション
第2~3週：Unit 1（演習活動・エッセイ作成），第4~5週：Unit 2（演習活動・エッセイ作成）
第6～7週：Unit 3（演習活動・エッセイ作成），第8～9週：Unit 4（演習活動・エッセイ作成）
第10～11週：Unit 5（演習活動・エッセイ作成），第12～13週：Unit 6（演習活動・エッセイ作成）
第14～15週：Unit 7（演習活動・エッセイ作成）

この科目は基本的に対面授業で行いますが、状況によっては授業形態を一部又は全て遠隔へ変更する可能性もあります。

【授業外学習に関するアドバイス】
授業担当者の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨んで下さい。また課題の提出期限も厳守して下さい。エッセイのタイトル等の指示は授業内で行います。

教科書・参考書等

Kelly, C. & Gargagliano, A. (2011). Writing from Within 1 Second Edition. Cambridge University Press.　ISBN: 9780521188272

オフィスアワー　火曜日 12:30~13:30 幸町キャンパス北5号館5階 中住研究室

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

教員の実務経験との関連

高等学校に勤務経験あり。英語を担当。高等学校での実務経験を基に英語ライティングについて演習を行います。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041410) Communicative English Ⅳ LJ(10) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ヒル　スティーブ	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 「英語で 300 語程度のエッセイを書くことができる」、「読解や聴解によって理解した内容を平易な英語で要約することができる」、「英語で毎日 200 語程度のジャーナルを書くことができる」

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz1：20%　Quiz2：20%　Writing tasks：30%
Final paper：20%　Journal: 10%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
Students will be given a writing task each week based on the textbook unit topic. Students are expected to complete the writing task in a timely manner.

【授業計画】
Week 1: Orientation
Weeks 2-5: units 1-4
Week 6: Review and quiz1
Weeks 7-10: units 5-8
Week 11: review and quiz2
Weeks 12-15: units 9-12
Week 16: Final paper

【授業外学習に関するアドバイス】
In addition to the textbook-based writing tasks, students will be requested to keep an English journal, which they will submit at the end of the course. Details will be given during orientation.

この科目は基本的に遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

Writing from Within 1 2nd Edition. (Kelly, C. & Gargadliano, A.)2011. CUP. ISBN 978-0521188272.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041411) Communicative English Ⅳ LJ(11) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ジョナサン　ベリー	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately [number]-word journal entries each week.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 40%
Mid-term test: 30%
Final test: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Classwork will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester progresses. English will be the primary medium of communication in class.
[Course Schedule]

Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions
Weeks 2-7: Textbook-based activities
Week 8: Mid-term test
Weeks 9-15: Textbook-based activities
Week 16: Final test

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should complete assigned homework and writing assignments.

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全て。または一部の授 業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

Writing From Within I (C.Kelly & A. Gargagliano). CUP

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings. Meetings can of course be arrange on Zoom too.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041412) Communicative English Ⅳ LJ(12) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 永尾　智	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題等）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学性がその習得を求められるスキルの一つです。この授業は、1年次の授業(Communicative English I/II)で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。とはいえ、いきなり500語のエッセイを書くというのではなく、意見を述べるために必要な基本的英語力の向上が直接的目的です。英語の基本的な構造を理解したうえで発信に使えるようにすることを最大の目的とします。伝える内容のないコミュニケーションはありえないので、使える英語のストックを増やし、それを読み、聞き、使えるようにするというプロセスを大切にします。

到達目標

１．英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲を持つことができる。
２．辞書等のツールを用いて、少なくとも基本的事項については適切さと正確さに配慮しながら、英文を書くことができる。
３．英語で 300 語程度のエッセイを書くことができる。
１~３は、共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応する。

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following criteria:

- In-class effort: 40%
- Written Assignments: 30%
- Final Essay: 30%

(A score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class.)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

この授業は基本的に対面形式で行います。座席は指定制です。毎回、初めの15分ほどは【聞き取りテスト】（5分程度の英語放送を聞き、内容把握のQ&Aを行います。）授業本編は、テキストの各種タスクを進めながら、英語圏文化、英語そのものの背景等に思いを拡げながらトレーニングを行います。

【授業計画】
・第1回：イントロダクション、座席指定、学習方法の確認、テキスト第1回の初めの3分の1ほどを扱う。
・第2回：～第15回：演習活動。テキストを授業１～２回で１ユニット進みます。ユニット終了後は次の授業回で復習テストを課します。２～３ユニットに1回の頻度でショート・エッセイの課題が出ます。

Unit 1: Staying Healthy (Physiology)
Unit 2: Reading the Rings (Geography)
Unit 3: Life in Space (Biology)
Unit 4: What Should I Do? (Sociology)
Unit 5: Green Beauty (Business)
Unit 6: Ice Sheets in Mongolia (Engineering)
Unit 7: When the Earth Moves (Earth Science)
Unit 8: Eating Right (Nutrition)
Unit 9: Painting a Story (Art)
Unit10: Greening Our Cities (Urban Planning)

【授業外学習に関するアドバイス】
・第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。（教科書を買わずに授業に出席してはなりません。著作権法違反になることはもちろん、各自の学習向上にマイナスとなりますし、学習意欲を疑われます。必ず、購入してください。）
・最初の2～３回の授業で学習方法に慣れてもらう必要があるので、3回まで可能な欠席権利を最初の方で行使するのは得策ではありません。

・外国語力とは、最後の最後は語彙力です。毎時間、辞書持参必須。電子辞書も可。少なくとも予習復習時には紙の辞書をフル活用するよう努めること。英英辞典（「Oxford Advanced Learner's Dictionary」第10版がおすすめ）の付属DVDをPCに落として利用するのも一興です。 ・スマートフォンの無料翻訳アプリケーションの使用には注意が必要。いい加減な翻訳、日本語を理解していない翻訳が頻出します。
教科書・参考書等 『Inside Writing: Student Book INTRO』, by Walton Burns, Oxford UP, 2014, ISBN: 978-0-19-460106-1
オフィスアワー　Students should consult the instructor to arrange meetings.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041413) Communicative English Ⅳ ED(1) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ジョナサン　ベリー	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately [number]-word journal entries each week.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 40%
Mid-term test: 30%
Final test: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Classwork will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions
Weeks 2-7: Textbook-based activities
Week 8: Mid-term test
Weeks 9-15: Textbook-based activities
Week 16: Final test

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should complete assigned homework and writing assignments.

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全て。または一部の授 業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

Writing From Within I (C.Kelly & A. Gargagliano). CUP

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041414) Communicative English Ⅳ ED(2) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ビラ　ダビッド	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Academic English I/II		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following criteria:
- In-class effort: 30%
- Written Assignments: 40%
- Final Essay: 30%

(A score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class.)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions
Week 2-15: Students should complete assignments.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should complete assigned homework and writing assignments.

In principle, this class will be conducted online. Some classes will be held in the regular classroom. Depending on the situation, the class may be shifted to regular face-to-face classes or be done entirely online.

教科書・参考書等

Writing for Fluency and Accuracy. Boon, Andy. Cengage. 978-4-86312-306-9

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041415) Communicative English Ⅳ ED(3) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ヒル　スティーブ	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 「英語で 300 語程度のエッセイを書くことができる」、「読解や聴解によって理解した内容を平易な英語で要約することができる」、「英語で毎日 200 語程度のジャーナルを書くことができる」

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz1：20%　Quiz2：20%　Writing tasks：30%
Final paper：20%　Journal: 10%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
Students will be given a writing task each week based on the textbook unit topic. Students are expected to complete the writing task in a timely manner.

【授業計画】
Week 1: Orientation
Weeks 2-5: units 1-4
Week 6: Review and quiz1
Weeks 7-10: units 5-8
Week 11: review and quiz2
Weeks 12-15: units 9-12
Week 16: Final paper

【授業外学習に関するアドバイス】
In addition to the textbook-based writing tasks, students will be requested to keep an English journal, which they will submit at the end of the course. Details will be given during orientation.

この科目は基本的に遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

Writing from Within 1 2nd Edition. (Kelly, C. & Gargadliano, A.)2011. CUP. ISBN 978-0521188272.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041416) Communicative English Ⅳ ED(4) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 コールドウェル　アンドリュージョン	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write short English essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Quizzes: 20%　In-class effort: 30%　Mid-term essay: 20%　Final essay: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Each class will center on a written task from the textbook as well as supplementary materials. (E.g. sending letters, work emails and so forth. Completed assignments will be used for group analysis and activities. Class will be conducted in English to develop students' English skills. Students will be set weekly writing tasks for homework.

Week 1: Students casually introduce themselves to their teacher and classmates.
Week 2 ~ 4: Units will be taught from the textbook covering topics such as appropriate email etiquette, filling out forms and business letters.
Week 5 ~ 6: preparation for and submission of midterm report.
Week 7 ~ 14: Continue to work through textbook: topics such as arranging meetings, writing descriptions, sending postcards and invitations.
Week 15 - 16: Final report preparation and submission.

A detailed description of weekly tasks will be given on the first day of the course.

In principle, this class will be conducted online. Some classes will be held in the regular classroom. Depending on the situation, the class may be shifted to regular face-to-face classes or be done entirely online.

(Self study)

Take notes in every class. Use the language you learned in class to complete your homework. Reading is very important if your aim is to improve at writing, so you should read at least 30 minutes a week outside of class time. The tasks will be set to prepare for the following lesson and to review the previous lesson. Tasks will include writing mini presentations and writing reports on topics of interest.

教科書・参考書等

Writing from Within Book 1 Second Edition. (Kelly & Gargagliano) Cambridge University Press ISBN 978-0-521-18827-2

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041417) Communicative English Ⅳ ED(5) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ ED (5)	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Students will develop a much stronger understanding of grammar and writing techniques. They will be better able to express themselves in written English, as well as develop skills useful for work and travel.

成績評価の方法と基準

Students will be graded as follows:

Midterm report: 20%
Final report: 30%
Homework: 20%
In Class Effort: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

(Course method)

Though the text book will be used in most lessons, the students will be doing a lot of writing based on prompts and activities. There will be a strong focus on explaining, and getting students comfortable with, different types of grammar. One of the main goals of the class to have the students engage with English on a personal level to express themselves.

Week 1: introduction to course and text
week 2: writing about self
week 3: reviews
Week 4: narrative in writing/relative pronouns.
week 5: complaining in English
week 6: midterm presentation workshop
week 7: hand in midterm presentations. Writing invitations.
Week 8: formality and manners in writing.
week 9: abbreviations and appropriate use.
week 10: travel writing
Week 11: explaining a process (cooking, making something)
week 12: historical writing (passive grammar.)
Week 13: Writing about a place (passive grammar continued.)
week 14: Final report workshop.
week 15: Hand in final reports. Review language learned over the semester.

(Self study)

Take notes in every class. Use the language you learned in class to complete your homework. Read articles on breakingnewsenglish.com and/or any online newspaper that interests you. reading is very important if your aim is to improve at writing. 90 minutes of homework will be set each week. The tasks will be set to prepare for the following lesson and to review the previous

lesson. Tasks will include keeping a journal, writing mini presentations and writing reports on topics of interest. Classes will be held face-to-face, on campus. We may need to switch to online lessons if the situation with COVID worsens.
教科書・参考書等 Inside Writing 1: The Academic Word List in Context Arline Burgmeier / Rachel Lange Oxford University Press ISBN: 978-0194601160
オフィスアワー　Students should consult the instructor to arrange meetings.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041418) Communicative English Ⅳ ED(6) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 篠原　範子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / Ⅱ		

学習時間　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で毎日 200 語程度のジャーナルを書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

- Attendance and in-class effort: 30%
- Journals: 30%
- Written Assignments: 40%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【【授業の方法】
テキストに従って行います。

【授業計画】
第１回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
詳細な進め方については、第1回目に説明します。

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【授業外学習に関するアドバイス】
授業中に使用するノートを一冊用意してください（ルーズリーフ不可）。

教科書・参考書等

Writing from Within 1, 2nd Edition. (Kelly, C. & Gargagliano, A.)2011. CUP.
ISBN: 978-0521188272

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041419) Communicative English Ⅳ ED(7) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 森川　光与	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Communicative English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備 30時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 読解や聴解によって理解した内容を自分の言葉で要約することができる。
4. 限られた時間の中で、英語で 300 語程度の文章を辞書を使わずに書くことができる

1~4 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）に対応しています。

成績評価の方法と基準

Homework：30%　In-class effort/attendance：25%　2 Writing assignments 20%　Final Paper / Presentation：25%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】社会人として求められる英語のライティング力を磨くため、様々なシチュエーションのライティングを練習します。

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【授業計画】
第１回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第1～15回目：指定の教科書とその他補足資料を使ったライティング中心の授業。期末も含めて3回のライティング課題があります。詳細および日程はクラスでお伝えします。
期末試験期間：ライティング課題のうちの最終回3回目を実施。

教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
その他：英語で書いたエッセイを数回提出してもらう予定です。タイトル等の指示は授業内で行います。
【授業外学習に関するアドバイス】
毎日20分は英語に触れるのを目標として、授業外学習に取り組んでください。ライティングの基礎力にはリーディングが不可欠です。英語の読み物に触れることを意識しましょう。

事前学習として、宿題として提出した内容を実施してください。

事後学習として、英語によるスピーチや読み物に数多く触れるよう意識してください。こちらから指定したものを閲覧、または読んでいただく場合もありますが、指定がなくても英語に触れるための動画や音源、記事などを探して定期的に英語に触れていただきます。最初の授業で詳しくお話します。

教科書・参考書等

Writing from Within LEVEL2 2nd Edition. (Kelly, C & Gargadliano, A) 2011. CUP.　ISBN 978-0-521-18834-0.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041420) Communicative English Ⅳ ED(8) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write well-developed paragraphs.
4. Write basic business emails on a variety of different topics

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Student participation: 20%
Forum discussions: 30%
Mid-term assignment: 20%
Final assignment: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Classwork will center on activities in the textbook which will focus on developing students' writing skills. Students will be given many opportunities to practice these skills in pairs, small groups, and in forum discussions. English will be the primary medium of communication in class.
This course will be mostly taught face-to-face but some classes will be taught online. Depending on the situation with the current pandemic, all classes may be changed to face-to-face or online.

[Course Schedule]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Students should be prepared to introduce themselves in English.

Weeks 2-3: Introduction to paragraph writing: Introduction to elements of business email; Forum discussions

Weeks 4-6: Development of paragraph writing skills; writing basic business emails, forum discussions

Week 7: Mid-term assignment due

Weeks 8-13: Practice of specific writing skills based on topics in the textbook; further development of business writing skills; forum discussions

Weeks 14-15: Final assignment due

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-6: Students should complete assigned homework and participate in forum discussions
Week 7: Midterm-assignments due
Week 8-14: Students should complete assigned homework and participate in forum discussions
Week 15: Final assignment due

教科書・参考書等
Stories Without End: 24 open-ended stories to engage students in reading, discussion, and creative writing. By Taylor Sapp (著), Walton Burns (編集). Alphabet Publishing; Illustrated Edition (February 26, 2018). ISBN-13: 978-1948492119.
オフィスアワー Office hours: Wednesday 9:00-10:00
履修上の注意・担当教員からのメッセージ
事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041421) Communicative English Ⅳ ED(9) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 水野　康一	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / Ⅱ		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。

1～2 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

授業内評価，中間，期末試験のほか，学期中2回の作文課題により評価します。
In-class effort：30%　Assignment：20%　Midterm paper：20%　Final paper：20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
教科書を用いて，ビジネス通信文（e-Mail）の書き方を学習します。合わせて英作文に必要な基本的文法の復習をします。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回～第6回：教科書Unit1-5
第7回：Review１
第8回：中間テスト・作文課題１
第9回～第13回：教科書Unit6-10
第14回：Review２
第15回：作文課題２

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第1～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
その他：英語で書いたエッセイを8回目と15回目に提出してもらう予定である。タイトル等の指示は授業内で行う。計画的に準備しておくこと。

教科書・参考書等

Writing for the Real World 2.(R. Barnard & A. Meehan) OUP. ISBN 978-0194538176

オフィスアワー　火曜日４時限目，金曜日４時限目

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041422) Communicative English Ⅳ ED(10) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 瀬良　和彦	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Academic English Ⅰ / Ⅱ		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. モデルとして提示されたセンテンスの意味と文構造を理解することができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

授業への参加度［提出率・課題内容など］（４回未提出は単位不認定）、小テスト、期末試験の結果などに基づいて、総合的に評価をする。平常点（提出率、課題内容、小テストほか）６０％、期末テスト４０％（未受験の場合は単位を認定しない）。ただし、受講生の能力、授業の進度などにより、若干の変動がある。尚、成績不振による救済措置等は行わない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

この科目は基本的に対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【授業計画】

第１回：オリエンテーション
第２回～第１５回：演習活動、小テスト（適宜）
第１６回：期末テスト

【自学自習に関するアドバイス】

事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
適宜小テストを行うので、復習しておくこと。
小テストの範囲は、前週までの章からです。
小テストを行う際には前週に通知します。

教科書・参考書等

長坂昇 他.(2013).『Keystone -Grammar-based English Writing-　基本英文から現代英語表現へ』成美堂.ISBN:9784791912926

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041423) Communicative English Ⅳ ED(11) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 Class meetings and preparation time per week: 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to become more fluent, accurate, and reader-focused writers by the end of the 15-week semester. Students' reading, listening, and speaking skills will improve as well.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Write well-developed paragraphs in English;
2. Write different types of paragraphs (narrative, descriptive, compare & contrast, cause & effect, & summary)
3. Competently proofread their own writing;
4. Competently respond to other students' writing;
5. Complete at least eight 120-word writing assignments;
6. Read their own writing aloud to other students in groups or before the class, while making eye contact;
7. Improve their overall English communication skills through pair and group speaking tasks.

成績評価の方法と基準

Evaluation will be based on the criteria below:
Participation (in-class effort): 30%
Writing tasks: 70%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【Class method】
In a typical class, the first hour of class will be spent on activities in the textbook. Students will engage in timed writing tasks as well as pair and group activities. Students must write at least eight 120+ word essays as homework assignments. Essays will be submitted on Moodle as Writing Forum assignments. All class activities will be conducted in English.

【Class schedule】
Week 1: Introductions; Writing sample
Week 2-14: Textbook and Writing Forum assignments
Week 15: End-of-course wrap-up

【Suggestions for self-study】
Week 1: Students should purchase their textbooks before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should do assigned homework in the textbook and complete writing assignments on Moodle.

* In principle, this class will be conducted in the regular classroom. Depending on the situation, the class may be shifted online.

教科書・参考書等

Boon, Andy. (2017). Writing for Fluency and Accuracy. Cengage Learning. ISBN: 978-4-86312-306-9.

オフィスアワー Information about office hours will be provided on the first day of class.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041442) Communicative English Ⅳ ED(12) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 アダム・ブロッド	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / Ⅱ		

学習時間 Class meetings and preparation time per week: 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 300 words; Write approximately 100 word in class journal entries each week.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Participation and Practice: 20% Writing Assignments: 40%. Mid-term essay: 20% Final Portfoilo: 20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class. Students will be given many opportunities to practice these skills in pairs, small groups, and in forum discusssions. This class will be held mainly online with some face to face classes.
Please note this may change depending on the situation with the curent pandemic. English will be the primary medium of communication in class.
[Course Schedule]
Week1: Studens should purchase their textbook before the first class and look over the content.
Introductions: Students should be prepared to introduce themselves in English.
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-6: Students should complete writing assignments, and prepare for the midterm writing test.
Week 7: In class writing midterm.
Week 8-15: Students should complete writing assignments, and revise write for the final portfolio.
Week: 16 Complete final portfolio.

教科書・参考書等

Ready to Write 1, Blanchard, Karen and Christine Root. Pearson. 9780134400655

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041424) Communicative English Ⅳ T(1) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2021年度** 後期金4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 アーノルド・デビット	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Class meetings and preparation time per week: 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

Course Outline
One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

Course Objectives
This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Fill in official forms in English.

成績評価の方法と基準

Course Evaluation
Students will be evaluated on the following:
Completion of weekly homework assignments 50%
Periodic assignments in which students will be assessed in detail by the instructor 50%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【Course Methodology】
Class work will center on activities in the textbook and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. Writing will be done online. Students will gain experience typing in English. As a rule Japanese will not be allowed in class.

【Class schedule】
Week 1: Introduction to the course and textbook work
Week 2 - Week 15: Textbook work

Suggestions for self-study
Week 1: Students should purchase their textbooks before the first class and look over the content.

教科書・参考書等

教科書：Writing from Within 1 by Curtis Kelly & Arlen Gargagliono. CUP. 2011. ISBN: 978-0-521-188272

オフィスアワー Office Hours: Students should contact the instructor at the email address below.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041425) Communicative English Ⅳ T(2) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期金4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ガルシア　フェルナンデス　マリアグデリア	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 200 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately 150-word journal entries each week.

成績評価の方法と基準

Evaluation criteria
Students will be evaluated on the following:
Assignments/journal: 30%　In-class effort: 20%　Mid-term exam: 20%　Final exam: 30%
(If you get a mark of 0% in any of those categories, you will fail the subject)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Classwork will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions.
Week 2-7: Students should complete assigned homework and writing assignments.
Week 8: Midterm exam.
Week 9-15: Students should complete assigned homework and writing assignments.
Week 16: Final exam.

This course will be taught face-to-face in all sessions, but there is a possibility that some or all of the classes will be taught remotely.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should complete assigned homework and writing assignments.

教科書・参考書等

Writing from Within Level 1 Student's Book by Curtis Kelly and Arlen Gargagliano (2011)
ISBN-13: 978-0521188272

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041426) Communicative English Ⅳ T(3) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期金4	**対象年次** 2～
	水準 学士:基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ブロックスホーム・ジェームズ・ダグラス	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Face to face classes (subject to change).
Class time per week: 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English written communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English compositions/essays of approximately 300 words about a wide range of topics

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Homework assignments/class effort:50% / Mid-term exam/assignment: 20% / Final exam/assignment: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Course Method:
Classwork will center on activities in the textbook with additional supplementary materials.
Various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

Students should buy the textbook before the first class and pre-read the content before week 1.

Course schedule:
Week 1: Introduction to the course. Begin the course content.
Week 2-6: Writing practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 7: Mid-term presentations. (20%) completed in class time only
Week 9-14: Writing practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 15: Final exam preparation.
(Final exam to be completed in exam week) (30%)

Suggestions for self-study:
Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Read English books and magazines
Practice English with friends/ family
Listen to English songs and think about the meaning
Keep a journal in English
Try to learn and remember new English words -make original sentences or stories
Find words with similar meanings / make connections between words
Do extra homework practice e.g. try summarizing a news article, short book, or online video
Prepare/ pre-read textbook lesson content before the lesson
Review the previous lesson before the next class

教科書・参考書等

Writing from Within 1, Second Edition by Kelly, C. & Gargagliano, A. Cambridge University Press (2011) - ISBN: 978-0-521-18827-2

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041427) Communicative English Ⅳ T(4) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2021年度** 後期金4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Academic English Ⅰ / Ⅱ		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 300 語程度のエッセイを書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

小テスト：20%　課題・授業参加：30%　Midterm paper：20%　Final paper：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

【授業の方法】
開始－15分　クイズ　会話練習
15分ー終了　テキストを使用しての演習

【授業計画】
第 1回：オリエンテーション　Unit 1　My Hometown
第 2回：Unit 2　Hobbies
第 3回：Unit 3　Shopping
第 4回：Unit 4　Nature Quiz / 小テスト(Moodle)
第 5回：Unit 5　Dream House
第 6回：Unit 6　Food
第 7回：Unit 7　First Date / 小テスト(Moodle)
第 8回：Midterm Paper
第 9回：Unit 9　Career
第10回：Unit10　Parties
第11回：Unit11　Rules and Regulations / 小テスト(Moodle)
第12回：Unit12　Invention & Discovery
第13回：Unit13　Movie Reviews
第14回：Unit14　World Records / 小テスト(Moodle)
第15回：Final Paper

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回以降：前時の指示に従い、課題と予習をした上で授業に臨むこと。
小テストおよびMideterm/Final Paperについては事前に授業で周知する。

教科書・参考書等

English Ace　コミュニケーションのための実践基礎英語　(Atsuko Yamamoto他)　2020　SEIBIDO
ISBN978-4-7919-5089-8

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041428) Communicative English Ⅳ T(5) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期金4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 田口　明美	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / Ⅱ		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. モデルを参考にして 200 語程度のエッセイを書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

授業への参加度　20%
小テスト2回　40%
中間エッセイ　20%
期末エッセイ　20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この科目は基本的に対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業形態を全て遠隔へ変更する可能性もあります。
授業は主にテキストを使用して演習活動を行います。
第7回と第14回に小テストを行います。
第8回と第15回にエッセイを書いてもらいます。

【授業計画】
第1回:オリエンテーション
第2回~第6回:テキストの演習
第7回:小テスト
第8回:中間エッセイ提出
第9回~第13回:テキストの演習
第14回:小テスト
第15回:期末エッセイを提出

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入しておいてください。
第2回～第7回：小テストの勉強と中間エッセイの準備をしてください。。
第8回~第14回:小テストの勉強と期末エッセイの準備をしてください。

小テストの範囲や、提出するエッセイのタイトルはネットワークを通して事前に指示します。

教科書・参考書等

English Ace.(Atsuko Yamamoto).成美堂.2017.
ISBN 978-4-7919-5089-8.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認しておいてください。
提出物の締め切り日時を厳守してください。

教員の実務経験との関連

全国通訳案内士および司法通訳の実務経験を活かし、日本文化や異文化に対する知識や理解を深められるよう講義を行います。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041429) Communicative English Ⅳ T(6) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期金4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 中井　富紀	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / Ⅱ		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で300語程度のエッセイを既習のエッセイライティングスキルを駆使して論理的に書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

（予習）語いリスト30%　中間エッセイ：30%　　最終エッセイ：40%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
＊マスク着用、教室全窓開放の上、対面で授業を実施する。
毎回、エッセイライティングのスキルを学習し、定着のための演習活動を行う。
演習活動とは、実際にセンテンスレベル、パラグラフレベル、エッセイレベルで書くことを体験する。
効果的なエッセイライティングの理論と実践で展開する。

【授業計画】
第1回：Course work introduction（コースワーク紹介）
第2回：Overviewーエッセイの構造、論理展開、テキスト全体像説明など。
第3回：unit 1　Narrative Paragraphs #1
第4回：unit 2　Narrative Paragraphs # 2
第5回：unit 3　Descriptive Paragraphs #1
第6回：unit 4　Descriptive Paragraphs # 2
第7回：unit 5　Compare and Contrast Paragraphs #1
第8回 ： unit 6　Compare and Contrast Paragraphs # 2
第9回 ： unit 7　Cause and Effect Paragraphs #1
第10回 ： unit 8　Cause and Effect Paragraphs #2
第11回 ： unit 9　Summary Paragraphs #1
第12回 ： unit 10　Summary Paragraphs #2
第13回：unit 11　Opinion Paragraphs #1
第14回：unit 12　Opinion Paragraphs #2
第15回：Review tasks for Units 1-12

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前にテキストを購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第3～第15回：予習として、該当のunitの語いを調べて語いリストを作成しておくこと。語いは必ず電子辞書、ネットなどを利用して、音声とともに確認しておくこと。
その他：英語で書いたドラフトを２回、エッセイを２回、提出することになっている。計画的に準備しておくこと。

教科書・参考書等

Writing for fluency and accuracy. Cengage. ISBN 978-4-86312-3069

オフィスアワー　幸町北キャンパス教育学部棟3号館4階 中井研究室（特命講師控室）

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041430) Communicative English Ⅳ T(7) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 アーノルド・デビット	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Class meetings and preparation time per week: 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

Course Outline
One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

Course Objectives
This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Fill in official forms in English.

成績評価の方法と基準

Course Evaluation
Students will be evaluated on the following:
Completion of weekly homework assignments 50%
Periodic assignments in which students will be assessed in detail by the instructor 50%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【Course Methodology】
Class work will center on activities in the textbook and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. Writing will be done online. Students will gain experience typing in English. As a rule Japanese will not be allowed in class.

【Class schedule】
Week 1: Introduction to the course and textbook work
Week 2~15: Textbook work

【Suggestions for self-study】
Week 1: Students should purchase their textbooks before the first class and look over the content.

教科書・参考書等

教科書：Writing from Within 1 by Curtis Kelly & Arlen Gargagliono. CUP. 2011. ISBN: 978-0-521-188272

オフィスアワー Office Hours: Students should contact the instructor at the email address below.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041431) Communicative English Ⅳ T(8) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ガルシア　フェルナンデス　マリアグデリア	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 200 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately 150-word journal entries each week.

成績評価の方法と基準

Evaluation criteria
Students will be evaluated on the following:
Assignments/journal: 30%　In-class effort: 20%　Mid-term exam: 20%　Final exam: 30%
(If you get a mark of 0% in any of those categories, you will fail the subject)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Classwork will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions.
Week 2-7: Students should complete assigned homework and writing assignments.
Week 8: Midterm exam.
Week 9-15: Students should complete assigned homework and writing assignments.
Week 16: Final exam.

This course will be taught face-to-face in all sessions, but there is a possibility that some or all of the classes will be taught remotely.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should complete assigned homework and writing assignments.

教科書・参考書等

Writing from Within Level 1 Student's Book by Curtis Kelly and Arlen Gargagliano (2011)
ISBN-13: 978-0521188272

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041432) Communicative English Ⅳ T(9) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士:基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ブロックスホーム・ジェームズ・ダグラス	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Face to face classes (subject to change).
Class time per week: 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English written communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English compositions/essays of approximately 300 words about a wide range of topics

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Homework assignments/class effort:50% / Mid-term exam/assignment: 20% / Final exam/assignment: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Course Method:
Classwork will center on activities in the textbook with additional supplementary materials.
Various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

Students should buy the textbook before the first class and pre-read the content before week 1.

Course schedule:
Week 1: Introduction to the course. Begin the course content.
Week 2-6: Writing practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 7: Mid-term presentations. (20%) completed in class time only
Week 9-14: Writing practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 15: Final exam preparation.
(Final exam to be completed in exam week) (30%)

Suggestions for self-study:
Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Read English books and magazines
Practice English with friends/ family
Listen to English songs and think about the meaning
Keep a journal in English
Try to learn and remember new English words -make original sentences or stories
Find words with similar meanings / make connections between words
Do extra homework practice e.g. try summarizing a news article, short book, or online video
Prepare/ pre-read textbook lesson content before the lesson
Review the previous lesson before the next class

教科書・参考書等

Writing from Within 1, Second Edition by Kelly, C. & Gargagliano, A. Cambridge University Press (2011) - ISBN: 978-0-521-18827-2

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041433) Communicative English Ⅳ T(10) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2021年度** 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / Ⅱ		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 300 語程度のエッセイを書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

小テスト：20%　課題・授業参加：30%　Midterm paper：20%　Final paper：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

【授業の方法】
開始－15分　クイズ　会話練習
15分ー終了　テキストを使用しての演習

【授業計画】
第 1回：オリエンテーション　Unit 1 My Hometown
第 2回：Unit 2 Hobbies
第 3回：Unit 3 Shopping
第 4回：Unit 4 Nature Quiz / 小テスト(Moodle)
第 5回：Unit 5 Dream House
第 6回：Unit 6 Food
第 7回：Unit 7 First Date / 小テスト(Moodle)
第 8回：Midterm Paper
第 9回：Unit 9 Career
第10回：Unit10 Parties
第11回：Unit11 Rules and Regulations / 小テスト(Moodle)
第12回：Unit12 Invention & Discovery
第13回：Unit13 Movie Reviews
第14回：Unit14 World Records / 小テスト(Moodle)
第15回：Final Paper

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回以降：前時の指示に従い、課題と予習をした上で授業に臨むこと。
小テストおよびMideterm/Final Paperについては事前に授業で周知する。

教科書・参考書等

English Ace　コミュニケーションのための実践基礎英語　(Atsuko Yamamoto他)　2020　SEIBIDO
ISBN978-4-7919-5089-8

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041434) Communicative English Ⅳ T(11) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 田口　明美	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Academic English Ⅰ / Ⅱ		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. モデルを参考にして 200 語程度のエッセイを書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

授業への参加度　20%
小テスト2回　40%
中間エッセイ　20%
期末エッセイ　20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。
授業は主にテキストを使用して演習活動を行います。
第7回と第14回に小テストを行います。
第8回と第15回にエッセイを書いてもらいます。

【授業計画】
第1回: オリエンテーション
第2回~第6回:テキストの演習
第7回:小テスト
第8回:中間エッセイを提出
第9回~第13回:テキストの演習
第14回:小テスト
第15回:期末エッセイを提出

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入しておいてください。
第2回～第7回：小テストの勉強と中間エッセイの準備をしてください。
第8回~第14回:小テストの勉強と期末エッセイの準備をしてください。

小テストの範囲や、提出するエッセイのタイトルはネットワークを通して事前に指示します。

教科書・参考書等

English Ace.(Atsuko Yamamoto).成美堂.2017.
ISBN 978-4-7919-5089-8.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認しておいてください。
提出物の締め切り日時を厳守してください。

教員の実務経験との関連

全国通訳案内士および司法通訳の実務経験を活かし、日本文化や異文化に対する知識や理解を深められるよう講義を行います。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041435) Communicative English Ⅳ T(12) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2021年度** 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 中井　富紀	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / Ⅱ		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で300語程度のエッセイを既習のエッセイライティングスキルを駆使して論理的に書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

（予習）語いリスト30%　中間エッセイ：30%　　最終エッセイ：40%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
＊マスク着用、教室全窓開放の上、対面で授業を実施する。
毎回、エッセイライティングのスキルを学習し、定着のための演習活動を行う。
演習活動とは、実際にセンテンスレベル、パラグラフレベル、エッセイレベルで書くことを体験する。
効果的なエッセイライティングの理論と実践で展開する。

【授業計画】
第1回：Course work introduction（コースワーク紹介）
第2回：Overviewーエッセイの構造、論理展開、テキスト全体像説明など。
第3回：unit 1　Narrative Paragraphs #1
第4回：unit 2　Narrative Paragraphs # 2
第5回：unit 3　Descriptive Paragraphs #1
第6回：unit 4　Descriptive Paragraphs # 2
第7回：unit 5　Compare and Contrast Paragraphs #1
第8回 ： unit 6　Compare and Contrast Paragraphs # 2
第9回 ： unit 7　Cause and Effect Paragraphs #1
第10回 ： unit 8　Cause and Effect Paragraphs #2
第11回 ： unit 9　Summary Paragraphs #1
第12回 ： unit 10　Summary Paragraphs #2
第13回：unit 11　Opinion Paragraphs #1
第14回：unit 12　Opinion Paragraphs #2
第15回：Review tasks for Units 1-12

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前にテキストを購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第3～第15回：予習として、該当のunitの語いを調べて語いリストを作成しておくこと。語いは必ず電子辞書、ネットなどを利用して、音声とともに確認しておくこと。
その他：英語で書いたドラフトを２回、エッセイを２回、提出することになっている。計画的に準備しておくこと。

教科書・参考書等

Writing for fluency and accuracy. Cengage. ISBN 978-4-86312-3069

オフィスアワー　幸町北キャンパス教育学部棟3号館4階 中井研究室（特命講師控室）

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041436) Communicative English Ⅳ A(1) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ (A1)	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期木3	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ニコラス　ダニエル　フライ	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Class meetings and preparation time per week: 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

Course Outline
One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

Course Objectives
This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately 100 -word journal entries each week.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 10%　Mid-term essay: 30%　Final essay: 60%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Each class will center on a writing task in the textbook (e.g., business letters, responses to invitations, etc.) Writing will be done in class and assigned as homework. Completed writing assignments will be used for group activities and other communicative tasks. The class will be conducted exclusively in English in order to develop student's overall English skills.

[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions
Week 2-7: Writing from within 1 writing tasks.
Week 8: Mid-term test
Week 9-15: Writing from within 1 writing tasks
Week 16: Final test
[Suggestions for self-study]
Week 1-14: Complete homework from the textbook and other writing assignments.

教科書・参考書等

Writing from Within 1 2nd Edition. (Kelly, C & Gargadliano, A,) 2011. CUP ISBN 978-0-521-18827-2

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041437) Communicative English Ⅳ A(2) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ (A2)	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期木4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ニコラス　ダニエル　フライ	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Class meetings and preparation time per week: 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

Course Outline
One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

Course Objectives
This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately 100 -word journal entries each week.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 10%　Mid-term essay: 30%　Final essay: 60%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Each class will center on a writing task in the textbook (e.g., business letters, responses to invitations, etc.) Writing will be done in class and assigned as homework. Completed writing assignments will be used for group activities and other communicative tasks. The class will be conducted exclusively in English in order to develop student's overall English skills.

[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions
Week 2-7: Writing from within 1 writing tasks.
Week 8: Mid-term test
Week 9-15: Writing from within 1 writing tasks
Week 16: Final test
[Suggestions for self-study]
Week 1-14: Complete homework from the textbook and other writing assignments.

教科書・参考書等

Writing from Within 1 2nd Edition. (Kelly, C & Gargadliano, A,) 2011. CUP ISBN 978-0-521-18827-2

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041438） Communicative English Ⅳ A(3) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2021年度** 後期木3	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 吉川　友子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Academic English Ⅰ / Ⅱ		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 150～200 語程度のパラグラフを書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：10%　In-class effort（ノート点検）：30%　Midterm paper：30%　Final paper：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。課題提出等はオンラインでの提出を予定しています。
授業では発想をまとめる練習や単文作成練習を通して、まとまった内容のパラグラフ構築へと発展させていきます。また、文や段落の構成について学習し、英文の誤りを直して推敲する練習もします。２ユニットごとに異なる種類のパラグラフを題材にしているので、基本的に１回の授業で２ユニットを扱い、変則的に進めます。

【授業計画】
第１回：オリエンテーション、ユニット１・２
第２回～第７回：演習活動（ユニット１～６）（第５回ノート画像提出、第８回Midterm paper提出）
第８回～第１５回：演習活動（ユニット７～１２）（第１５回 ノート画像提出）
第１６回：Final paper（試験期間中の筆記試験形式）

【授業外学習に関するアドバイス】
具体的な内容については、毎回の授業で指示する。この授業の専用ノートを作成し、それが評価されることに注意。小テストも評価に含まれる。定期試験はパラグラフライティングを予定している。タイトル等の指示は授業内で行う。計画的に準備しておくこと。
第１回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第1～5回：パラグラフライティングの枠組みを理解し、身近なトピックで英語のパラグラフを書き、自分で添削する（10時間）
第6～7回：論理的なパラグラフの構造について理解を深めながら、中間評価のパラグラフライティングに向けて資料を集め、計画、準備する。（4時間）
第8回～第13回：原因と結果、要約など、多様な記述方法を習得しつつ、必要な資料を集めて英語のパラグラフを書き、自分で添削する（12時間）
第14回～第15回：論理的で明晰な言葉で自分の意見を説明することを目標に、期末試験のパラグラフライティングに向けて資料を集め、計画、準備する。（4時間）

教科書・参考書等

Boon, A.(2017) Writing for Fluency and Accuracy. Cengage Learning K.K.
ISBN-13:978-4-86312-306-9

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041439) Communicative English Ⅳ A(4) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期木4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 吉川　友子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / Ⅱ		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 150～200 語程度のパラグラフを書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：10%　In-class effort（ノート点検）：30%　Midterm paper：30%　Final paper：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。課題提出等はオンラインでの提出を予定しています。
授業では発想をまとめる練習や単文作成練習を通して、まとまった内容のパラグラフ構築へと発展させていきます。また、文や段落の構成について学習し、英文の誤りを直して推敲する練習もします。２ユニットごとに異なる種類のパラグラフを題材にしているので、基本的に１回の授業で２ユニットを扱い、変則的に進めます。

【授業計画】
第１回：オリエンテーション、ユニット１・２
第２回～第７回：演習活動（ユニット１～６）（第５回ノート画像提出、第８回Midterm paper提出）
第８回～第１５回：演習活動（ユニット７～１２）（第１５回 ノート画像提出）
第１６回：Final paper（試験期間中の筆記試験形式）

【授業外学習に関するアドバイス】
具体的な内容については、毎回の授業で指示する。この授業の専用ノートを作成し、それが評価されることに注意。小テストも評価に含まれる。定期試験はパラグラフライティングを予定している。タイトル等の指示は授業内で行う。計画的に準備しておくこと。
第１回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第1～5回：パラグラフライティングの枠組みを理解し、身近なトピックで英語のパラグラフを書き、自分で添削する（10時間）
第6～7回：論理的なパラグラフの構造について理解を深めながら、中間評価のパラグラフライティングに向けて資料を集め、計画、準備する。（4時間）
第8回～第13回：原因と結果、要約など、多様な記述方法を習得しつつ、必要な資料を集めて英語のパラグラフを書き、自分で添削する（12時間）
第14回～第15回：論理的で明晰な言葉で自分の意見を説明することを目標に、期末試験のパラグラフライティングに向けて資料を集め、計画、準備する。（4時間）

教科書・参考書等

Boon, A.(2017) Writing for Fluency and Accuracy. Cengage Learning K.K.
ISBN-13:978-4-86312-306-9

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041440) Communicative English Ⅳ A(5) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期木3	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ビラ　ダビッド	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Academic English I/II		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 250 words; Summarize reading or listening passages in simple English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following criteria:
- In-class effort: 30%
- Written Assignments: 40%
- Final Essay: 30%

(A score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class.)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions
Week 2-15: Students should complete assignments.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should complete assigned homework and writing assignments.

In principle, this class will be conducted online. Some classes will be held in the regular classroom. Depending on the situation, the class may be shifted to regular face-to-face classes or be done entirely online.

教科書・参考書等

Writing from Within 1, Second Edition by Kelly, C. & Gargagliano, A. Cambridge University Press (2011) - ISBN: 978-0-521-18827-2

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041441) Communicative English Ⅳ A(6) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期木4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ビラ　ダビッド	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Academic English I/II		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 250 words; Summarize reading or listening passages in simple English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following criteria:
- In-class effort: 30%
- Written Assignments: 40%
- Final Essay: 30%

(A score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class.)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions
Week 2-15: Students should complete assignments.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should complete assigned homework and writing assignments.

In principle, this class will be conducted online. Some classes will be held in the regular classroom. Depending on the situation, the class may be shifted to regular face-to-face classes or be done entirely online.

教科書・参考書等

Writing from Within 1, Second Edition by Kelly, C. & Gargagliano, A. Cambridge University Press (2011) - ISBN: 978-0-521-18827-2

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041444) Communicative English Ⅳ NP(1) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2021年度 後期金1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド	関連授業科目 主題科目B-2で提供される講義 履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 Class meetings and preparation time per week: 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to become more fluent, accurate, and reader-focused writers by the end of the 15-week semester. Students' reading, listening, and speaking skills will improve as well.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Write well-developed paragraphs in English;
2. Write different types of paragraphs (narrative, descriptive, compare & contrast, cause & effect, & summary)
3. Competently proofread their own writing;
4. Competently respond to other students' writing;
5. Complete at least ten 120-word writing assignments;
6. Read their own writing aloud to other students in groups or before the class, while making eye contact;
7. Improve their overall English communication skills through pair and group speaking tasks.

成績評価の方法と基準

Evaluation will be based on the criteria below:
Participation (in-class effort): 30%
Writing tasks: 70%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【Class method】
In a typical class, the first hour of class will be spent on activities in the textbook. Students will engage in timed writing tasks as well as pair and group activities. Students must write at least ten 120+ word essays as homework assignments. Essays will be submitted on Moodle as Writing Forum assignments. All class activities will be conducted in English.

【Class schedule】
Week 1: Introductions; Writing sample
Week 2-14: Textbook and Writing Forum assignments
Week 15: End-of-course wrap-up

【Suggestions for self-study】
Week 1: Students should purchase their textbooks before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should do assigned homework in the textbook and complete writing assignments on Moodle.

* In principle, this class will be conducted in the regular classroom. Depending on the situation, the class may be shifted online to Zoom meetings.

教科書・参考書等

Boon, Andy. (2017). Writing for Fluency and Accuracy. Cengage Learning. ISBN: 978-4-86312-306-9.

オフィスアワー Information about office hours will be provided on the first day of class.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。欠席回数が４回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻を３回すると欠席１回となります。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041445) Communicative English Ⅳ NP(2) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期金1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 吉川　友子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / Ⅱ		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 100～150 語程度のパラグラフを書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：10%　In-class effort（ノート点検）：30%　Midterm paper：30%　Final paper：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。課題提出等はオンラインでの提出を予定しています。
授業ではテキストに沿ってモデルとなる英文を理解しながら、文や段落の構成、表記や表現などについて学習し､単文作成からまとまった内容の作文へと発展させていきます。基本的に授業１回で１ユニット進めます。

【授業計画】
第１回：オリエンテーション、ユニット１
第２回～第７回：演習活動（ユニット２～７）（第５回：ノート画像提出）
第８回：Midterm paper提出
第８回～第１５回：演習活動（ユニット8～15）（第１５回: ノート画像提出）
第１６回：Final paper （試験期間中の筆記試験形式）

【自学自習のためのアドバイス】
・具体的な内容については、毎回の授業で指示する。学習内容のノートが画像提出により評価されることに注意。小テストも評価に含まれる。定期試験はパラグラフライティングを予定している。タイトル等の指示は授業内で行う。計画的に準備しておくこと。
第1～4回：原因と結果､比較など多様な表現を身につけ､身近なトピックで英語のパラグラフを書く（8時間）
第5～7回：時制や品詞についての理解を深めながら、中間評価のパラグラフライティングに向けて資料を集め､計画､準備する。（6時間）
第8回～第12回：さらに多様な文章構成や表現方法を習得しつつ､英語のパラグラフを書く（10時間）
第13回～第15回：明晰な言葉で自分の意見を説明することを目標に､期末試験のパラグラフライティングに向けて資料を集め､計画､準備する。（6時間）

教科書・参考書等

Hickling, R. & Yashima, J.(2020)Jigsaw: Insightful Reading to Successful Writing. National Geographic Learning / Cengage Learning K.K.
ISBN-13:978-4-86312-369-4

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041446) Communicative English Ⅳ NP(3) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期金1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Academic English Ⅰ / Ⅱ		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で300語程度のエッセイを書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

小テスト：20%　課題・授業参加：30%　Midterm paper：20%　Final paper：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

【授業の方法】
開始－15分　クイズ　会話練習
15分－終了　テキストを使用しての演習

【授業計画】
第 1回：オリエンテーション　Unit 1 Orange Clothing
第 2回：Unit 2 A Reasonable Dream...
第 3回：Unit 3 Japan's Popular Wave
第 4回：Unit 4 Color Matters / 小テスト(Moodle)
第 5回：Unit 5 Business, Not Bullets
第 6回：Unit 6 Spices for Life!
第 7回：Unit 7 Plastic Planet / 小テスト(Moodle)
第 8回： Midterm Paper
第 9回：Unit 9 Jacques's Lung
第10回：Unit10 Disease vs. Hunger
第11回：Unit11 May We Have a Catalog, Please? / 小テスト(Moodle)
第12回：Unit12 Bright Little Lights
第13回：Unit13 Popular but Penniless
第14回：Unit14 Taxing the Robots / 小テスト(Moodle)
第15回： Final Paper

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回以降：前時の指示に従い、課題と予習をした上で授業に臨むこと。
小テストおよびMidterm/Finalpaperについては事前に授業で周知する。

教科書・参考書等

WRITING KEY (Yasuyuki Kitao 他) 2019 KINSEIDO ISBN978-4-7647-4086-0

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041447) Communicative English Ⅳ NP(4) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期金1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 長井　克己	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / Ⅱ		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 翻訳サイトをコピペするのではなく，ワードプロセッサのスペルチェック・文法チェック・類義語辞典等のツールとネットのコロケーション・フレーズ検索を利用して，自分だけの英語を書くことができる。

１～２は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

毎週の課題提出: 40%, Exam 1: 30%, Exam 2: 30%
２回の中間試験は教科書各課のReadingの空所補充３０問。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
(1) 毎週のトピックについてリスニングとリーディング練習
(2) 内容についてのQ&A
(3) 様々な表現と構文についての練習
(4) 自分の意見をワードプロセッサを用いて書き，テキストファイルを提出

【授業計画】
この科目は基本的に対面授業を行います。
ただし新型コロナウイルスの感染状況により，遠隔授業に変更する可能性があります。緊急連絡は教務システム(Dream Campus)で行いますので，指示に従ってください。
wk 1 (Oct 8): introduction / ch 1 (cause and effect)
wk 2 (Oct 15): ch 2 (compare and contrast)
wk 3 (Oct 22): ch 3 (giving an opinion)
wk 4 (Oct 26!): ch 4 (classification)
wk 5 (Nov 5): ch 5 (describing a process)
wk 6 (Nov 12): ch 6 (description)
wk 7 (Nov 19): ch 7 (persuasion)
wk 8 (Nov 26): tutorial / mid-term exam 1
wk 9 (Dec 3,この日のみ大A講義室): ch 8 (evaluation)
wk 10 (Dec 10): ch 9 (pros and cons)
wk 11 (Dec 17): ch 10 (advice)
wk 12 (Dec 24): ch 11 (clarification)
wk 13 (Jan 21): ch 12 (reflection)
wk 14 (Jan 28): ch 13 (problem solving)
wk 15 (Feb 4): tutorial / mid-term exam 2

【授業外学習に関するアドバイス】
授業時間内に英文パラグラフを完成するため，パソコン（ワープロ・ファイル）の操作やネット検索（辞書やコロケーション）に慣れておこう。

教科書・参考書等

Hickling & Yashima. (2020).
Jigsaw - Insightful Reading to Successful Writing.
Cengage. ISBN 9784863123694.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
手洗いや消毒，常時換気（窓開放）と安全な距離の確保等の感染防止対策を行った上で、対面授業を実施します。 マスクを着用し，1回目の授業で指定した場所に着席してください。大声や飲食は厳禁です。体調管理に気を遣い，咳や発熱等の症状が少しでもあれば，躊躇なく連絡して欠席（特別な理由による公欠）してください。

ナンバリングコード B2ENG-axxG-5N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041501） Intensive English I Intensive English I TOEFLiBT受験対策 TOEFLiBT Preparation	**科目区分** 特別教育プログラム	**時間割** 2021年度 前期月3,木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：axx	**対象学生 特プロ履修学生のみ** **特定プログラムとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，水野　康一	**関連授業科目** Communicative English I **履修推奨科目** Intensive English II		

学習時間　講義９０分　×　３０回　＋　自学自習　９０分　×　15回

授業の概要

この授業では、TOEFL iBT の問題演習を徹底的かつ集中的に行う。週２回の授業のうち、一方(木曜２時限)では Reading Section を、他方（月曜３時限）では Listening Section（+Integrated Writing Section）を扱う。

授業の目的

英語圏の大学で講義を受ける際に必要な読解能力および聴解能力を身につけることを目的とする。

この授業は、「香川大学ネクストプログラム：グローバル人材育成プログラム（英語コース）」の必修科目である。

到達目標

１．英語圏の大学で使用される教科書レベルの学術的文章を読んで理解することができる。
２．英語による講義の内容を聞いて理解することができる。
３．英語による討論の内容を聞いて理解することができる。
４．英語圏の大学生活における日常的な会話を理解することができる。
５．後期終了時点で TOEFL iBT で 61 点以上のスコアを獲得することができる。

共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応。

成績評価の方法と基準

課題，宿題等の取り組み　２５％
授業への積極的参加　２５％
期末テスト（TOEFL ITP）　５０％

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業（第１，２回を除く）は、以下のように進める。
月曜：リスニング・ライティング演習
木曜：リーティング演習

【授業計画】
第１回：イントロダクション①（授業の進め方、TOEFL iBT Reading Section の傾向と対策）
第２回：イントロダクション②（授業の進め方、TOEFL iBT Listening Section の傾向と対策）
第３回～第30回：問題演習
期末試験：TOEFL ITP(ペーパー版TOEFL)

【自学自習のアドバイス】
・毎回、予習内容を指定する。必ず宿題をして授業に臨むこと。
・未知の単語や英語表現については、常に自ら調べ、定着をはかること。
・多くの課題提出を求めるので、もれなく取り組むこと。

この科目は基本的に対面授業を行います。なお状況によっては授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

Official TOEFL iBT Tests: Third Edition. ETS. ISBN: 978-1-260-44100-0

オフィスアワー　火曜日４時限目，金曜日４時限目（経済学部　水野研究室）

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

「香川大学ネクストプログラム：グローバル人材育成プログラム（英語コース）」の必修科目である。本プログラムに関係するガイダンス等に出席すること。

本プログラムに参加していない学生も、海外留学希望および自身の英語力（TOEIC600点程以上）を示すことにより受講が認められる。

ナンバリングコード B2ENG-axxG-5N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041502) Intensive EnglishⅡ Intensive EnglishⅡ TOEFL iBT: Speaking & Writing	**科目区分** 特別教育プログラム	**時間割** 2021年度 後期月3,木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：axx	**対象学生** 特プロ履修学生のみ **特定プログラムとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン, ウィリー・イアン・デビッド	**関連授業科目** Communicative English II		
	履修推奨科目 Intensive English I		

学習時間 90 分 × ３０回 + 自学自習 ９０分 × 15週

授業の概要

This course aims to help students develop speaking and writing skills needed for the TOEFL iBT. Monday's class (taught by McCrohan) will focus on speaking; Thursday's class (taught by Willey) will focus on writing.

授業の目的

この授業は、「香川大学ネクストプログラム：グローバル人材育成プログラム（英語コース）」の必修科目のひとつである。

英語圏の大学で講義を受ける際に必要なコミュニケーション能力および文章作成能力を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ことを目的とする。

到達目標

Through this course, students will become enabled to:
1. Speak in English for varying amounts of time about different academic topics;
2. Take effective notes in order to prepare for speaking and writing tasks;
3. Complete both the Integrated writing task and Independent writing task in the alotted time;
4. Use academic vocabulary effectively in both speaking and writing tasks.
5. Attain a score of 61 or above on the TOELF iBT.
6. Actively participate in courses taught exclusively in English.

成績評価の方法と基準

In-class participation and effort: 20%
Homework and out-of-class assignments: 80%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Overview
Class activities will center on tasks in the textbook or materials provided by the instructors. Students will be assigned homework before each class meeting, and this homework will be part of class activities. For the writing class, students must complete at least one essay per week using the Criterion essay writing program.

Class 1: Introduction 1: TOEFL iBT Speaking Section
Class 2: Introduction 2: TOEFL iBT Writing Section
Class 3-30: Speaking and writing practice

This is an intensive course, which means at least 3 hours of homework will be assigned every week. Students must complete all homework assignments in order to participate in class. It is important to stay up-to-date with all assignments.

NOTE: A detailed syllabus and calendar for each section (Speaking and Writing) will be given to students on the first meeting of the Speaking class and Writing class. It is best to think of these two sections as two separate classes.

The speaking section of this course will be held face-to-face. Please note that this may change depending on the situation with the current pandemic.

* In principle, this class will be conducted in the regular classroom. Depending on the situation, the class may be shifted online.

教科書・参考書等

Rogers, B. (2007). The Complete Guide to the TOEFL Test Speaking. Cengage. ISBN: 978-981-265-987-3, ￥3,046 (税込)

オフィスアワー This information will be provided by each instructor on the first class.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
「香川大学ネクストプログラム：グローバル人材育成プログラム（英語コース）」の必修科目である。本プログラムに関係するガイダンス等に出席すること。 本プログラムに参加していない学生は、定員に余裕がある場合、受講が認められることがある。ただし、この場合、単位は卒業要件には含まれないので注意すること。

ナンバリングコード B2ENG-abcG-10-Eg1 **授業科目名** (時間割コード：041601) Academic English I (1) Academic English I Academic English 1 (1)	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 前期火4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教センター **DPコード**：abc	**対象学生** 全学生 **特定プログラムとの対応** 対応なし
	授業形態 演習 グループワーク	**単位数** 1	
担当教員名 ポール・バテン	**関連授業科目** Communicative English classes		
	履修推奨科目 Communicative English classes		

学習時間 There are fifteen classes in this course. Each class is for ninety minutes. A high level of dedication is expected - students should prepare carefully for at least ninety minutes for each classes in order to be able to contribute to the class.

授業の概要

This is a class for students who are interested in discussing issues in English with an academic focus. We will use the text to look at various issues and develop students' skills in commenting on and presenting their ideas on these. Depending on class size, students' individual areas of weakness and/or interest (e.g., pronunciation, vocabulary, language/cultural points) will also be included in the class and then ultimately assessed.

授業の目的

The goal of this course is to develop the learners' abilities in discussing and explaining their ideas convincingly and appropriately in an English language academic setting. Through a range of topics and issues, some familiar to the students and some not, students will develop better self-expression skills in academic English. There is also a focus on vocabulary and fact checking. Through a focus on various topics interesting and thought-provoking debate and exchange of ideas will be stimulated. I hope that as 'advanced' speakers of English, students will be prepared to introduce and discuss interesting and useful topics.

到達目標

After completing this class, students will be able to:
1) understand to express their opinions in 'paragraph length' comments
2) understand etymologies of English words
3) better knowledge of the topics discussed in class
4) use compensatory strategies in English
5) better knowledge of academic English - appropriate vocabulary and discussion and presentation skills

成績評価の方法と基準

Evaluation will be based on: in-class performance (25%), improvement of areas of weakness (25%), ability in compensatory strategies (25%), contribution to class and topics in general (25%). Students who develop the ability and confidence to explain their ideas (and indeed have something of interest to contribute) and can compare and contrast ideas will be evaluated highly.

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

●この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業(Zoom)を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

The focus will be on researching a topic, preparatory readings of the text, and then being able to discuss these in class and discuss them fully.

(1) Introduction to class methodology and goals, self-introductions.

Lessons 2 - 14 : chapters will be selected from the text upon consultation with students.
Students will also work together to prepare a text for the class.

(15) Student presentations (final)

自学自習に関するアドバイス
Please prepare for classes. Be prepared to explain your ideas, and the words you use, to other students. Preparation should take about one hour per class. Please also use the handout you will be sent by email for brushing up the vocab covered in class.

教科書・参考書等

Life Topics: Reflections. 総合英語ライフトピックス４。 Johnathon Berman and Takashi Shimaoka. Nan'undo.

オフィスアワー Friday, 3:00 - 4:00 p.m. Please email me beforehand and tell me what you would

like to discuss. 研究室は８号館の４Fです。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ Students must be prepared to fully participate and make contributions to the class. ４回以上の欠席回数の場合は単位を与えられません。
教員の実務経験との関連 私にとっての外国語の日本語を３０年以上前から毎日直面しています。２７年前から大学生を教えています。出来るだけ学生にとって実践的なスキルを身につける授業を目さします。

ナンバリングコード　B2ENG-axxG-10-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041602） Academic English I (2) Academic English I Academic English skills	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2021年度 前期月5	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教センター DPコード：axx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド	関連授業科目　Communicative English I, II, III		
	履修推奨科目		

学習時間　90 min classes X 15 class meetings; + 90~180 min out-of-class work per week.

授業の概要

This course is for students who hope to improve their academic English speaking skills. Students will learn valuable interview techniques and have many opportunities to discuss and debate topics with classmates in English.

授業の目的

Through this course, students will become more confident and competent speakers of English, in pairs, groups, and when delivering short speeches in front of others. The main goal is to help students become able to use English competently on a global stage, when speaking with people from around the world.

到達目標

Through this course, students will become able to:
1. Voice their own opinions and offer information in pairs, groups, and in class discussion;
2. Speak in English continuously for 2 minutes about various topics;
3. Use expressions and techniques to make their speech sound more natural and fluent;
4. Prepare and deliver short English speeches and presentations.

成績評価の方法と基準

Students' grades will be based on the following:
20%: Participation (in-class effort)
50%: Short speeches and homework
10%: Mid-term interview
20%: Final interview

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

授業及び学習の方法
The textbook for this course focuses on the speaking part of the IELTS test. Students will learn how to speak about themselves and various topics in interviews and speeches. We will often discuss short videos, readings, and music, and engage in group work and short speech tasks. Students will deliver at least three presentations in front of the class, and complete a final one-on-one interview with the teacher.

(1) Introduction to class and students; Warm-up topics
(2-6) Speaking tasks and other activities
(7) Mid-term interview
(8-14) Speaking tasks and other activities
(15) Final interview

Suggestions for Self-study: Assignments will be explained in each class, and will include advice on how assignments can be completed efficiently.

* IMPORTANT! In principle, this class will be conducted online. Students from different faculties are encouraged to attend this class! この科目は基本的に遠隔で行う予定です。他学部・学年の学生は大歓迎です。

Depending on the situation and students, classes may be shifted to the regular classroom.

教科書・参考書等

Kovacs, Karen. (2020). Collins Speaking for IELTS (2nd Edition). Collins Publishers. 978-0008367510

オフィスアワー　Information about office hours and arranging meetings will be provided by the instructor on the first day of class.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

４回以上の欠席回数の場合は単位を与えられません。

ナンバリングコード B2ENG-axxG-10-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041604) Academic EnglishⅡ (1) Academic EnglishⅡ Academic English skills	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2021年度 後期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教センター **ＤＰコード**：axx	**対象学生** 全学生 **特定プログラムとの対応** 対応なし
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド	**関連授業科目** Communicative English I, II, III		
	履修推奨科目		

学習時間 90 min classes X 15 class meetings; + 90~180 min out-of-class work per week.

授業の概要

This course is for students who hope to improve their academic English skills. Students will improve their fluency in reading, writing, and speaking.

授業の目的

Through this course, students will develop their reading speed and comprehension by engaging in extensive reading, that is, by reading a lot using the XReading system! Students will also improve their writing fluency and vocabulary knowledge by writing about reading assignments, and will improve their speaking skills by reading their writing aloud with other students and by engaging in discussion and other communicative activities.

到達目標

Through this course, students will become able to:
1. Read with greater fluency and comprehension;
2. Read at least 100,000 words by the end of the semester;
3. Write weekly Reading Journal entries of at least 150 words;
4. Deliver short speeches in front of other students using their Journals;
5. Use communicative techniques to speak English competently in impromptu (unscripted) situations.

成績評価の方法と基準

Students' grades will be based on the following:
30%: XReading assignments (Target 100,000 words)
40%: Reading Journal
20%: Mid-term and Final speeches
10%: In-class effort

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

The main part of this class will be the reading assignments on XReading, an e-learning system. Students will be asked to read at least 35 pages per week using this system outside of the class. Students will also complete quizzes and other tasks on XReading to develop their vocabulary knowledge and to check reading comprehension. In addition, students will keep a Reading Journal in which they must write at least 150 words per week on the reading they have done for that week. This journal will be used for speech activities in class. Students will also be given time to read during class. Activities to develop students' communication skills (games, discussion, etc.) will also be done in class.

(1)Introduction to class and students; Xreading Orientation
(2-6): XReading assignments and Reading Journal/short speeches
(7) Mid-term Speech
(8-14): XReading assignments and Reading Journal/short speeches
(15) Final Speech

Suggestions for Self-study: Assignments will be explained in each class, and will include advice on how assignments can be completed efficiently.

In principle, this class will be conducted in the regular classroom. Depending on the situation, the class may be shifted online.

教科書・参考書等

Online graded readers: https://xreading.com/login/index.php
*Students will be informed how to access this system by Dream Campus before classes begin.

オフィスアワー Information about office hours and arranging meetings will be provided by the instructor on the first day of class.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

４回以上の欠席回数の場合は単位を与えられません。

ナンバリングコード　B2ENG-axxG-10-Lg1 授業科目名　（時間割コード：041605） Academic EnglishⅡ (2) Academic EnglishⅡ IELTS Listening and Speaking Skills	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2021年度 後期火5	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教センター ＤＰコード：axx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態　講義 グループワーク	単位数　1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン	関連授業科目 履修推奨科目		

学習時間　Class meetings and preparation time per week　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, etc.) Students should spend at least 2 hours per week on out-of-class preparation.　Writing skills practice will mainly be assigned as homework.

授業の概要

This course aims to improve students' speaking skills for the IELTS interview test. There will be a focus on pronunciation/intonation, responding to questions, giving information, proposing a solution, and expressing an opinion.　In addition, students will develop their cross-cultural awareness.

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills with a focus on the skills required for the speaking section of the IELTS exam.　There will be an emphasis on developing vocabulary, phrases and sentence forms.　The primary objective is for students to improve their English speaking by the end of the 15-week semester.

到達目標

In this oral communication course, students will become able to express their opinion or give information verbally in a clear and organized manner.　They will also be better able to communicate in cross-cultural situations.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on:
In-class work and forum discussions:　40%
Mid-term　interview test:　30%
Final interview test:　30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Classwork will center on developing the spoken skills necessary to take the interview section of the　IELTS test. There will be a focus on developing vocabulary, and the use of spoken discourse markers needed to give good responses to interview questions.　In addition,　students will be exposed to a variety of cross-cultural communication topics and issues which will further develop their communicative abilities.
This class will be a hybrid class (face-to-face and on Zoom) to allow students from other faculties to join. However, depending on the situation with the current pandemic, all classes may be changed to online.　As a rule, Japanese will not be allowed in class.

Week 1: Introduction to course

Week 2-3: IELTS interview practice Section 1; Cross-cultural topics forum discussions

Week 4-6: IELTS Interview practice Section 2; Cross-cultural topics forum discussions

Week 7: Review of sections 1 and 2: Cross-cultural topics forum discussion

Week 8: Mid-term interview test:　IELTS interview test sections 1 & 2

Week 9-12:　IELTS interview practice Section 3; Cross-cultural topics forum discussions

Week 13: Review of IELTS speaking sections 1 - 3; Cross-cultural topics forum discussion

Week 14-15: Final IELTS interview tests:　Speaking sections 1, 2 & 3

Suggestions for self-study:　Assignments will be explained in each class.　Each week students should complete the assigned chapter of the textbook, focusing on the vocabulary activities.　In addition, students should contribute weekly to the online forum discussion.

教科書・参考書等
Speaking for IELTS (Collins English for Exams) by Karen Kovacs. HarperCollins UK; ISBN-13: 978-0007423255 ¥2200
オフィスアワー　Wednesday: 13:00-14:00 (Saiwai Campus only) or contact the instructor to make an appointment.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ
Students should have a TOEIC score of at least 550 to enter this class.

ナンバリングコード　B2ENG-axxG-10-Lg1 授業科目名　（時間割コード：041606） Academic EnglishⅡ (3) Academic EnglishⅡ Extensive Reading	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2021年度 後期木3	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教センター ＤＰコード：axx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態　講義 グループワーク	単位数　1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン	関連授業科目 履修推奨科目		

学習時間　Class meetings and preparation time per week　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, etc.) Students should spend at least 2 hours per week on out-of-class preparation.　Writing skills practice will mainly be assigned as homework.

授業の概要

This course aims to improve students' reading skills. There will be a focus on developing various reading strategies and encouraging students to enjoy reading in English. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their general education English classes　(Communicative English I-IV).

授業の目的

授業の目的 General Objectives
The aim of this course is to develop the students' reading fluency and positive attitudes to reading. Students will read a range of graded readers at a level suitable with the purpose of increasing their fluency in the areas of vocabulary recognition and reading comprehension skills. This course will equip students with effective reading strategies which will make reading a positive and encouraging experience.

到達目標

On completion of this course, students should be able to:

1. read with greater fluency and confidence
2. read for meaning without translating by using effective reading strategies
3. evaluate and judge different narrative genres
4. discuss and write about setting (time, place, mood), plot, characters, and themes
5. share information from books with others, e.g. summarize stories
6. share personal reactions to and opinions about books in informal situations
7. complete quizzes to demonstrate comprehension
8. use software to make a Reading Portfolio

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on:
Mid-term & final assignments: 30%
Writing porfolio: 40%
Word Count: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Classwork will center on activities designed to develop students' reading skills. In this course, students will select graded readers that appeal to them and spend time doing sustained silent reading (SSR). Students will complete short quizzes online to get word count credit. Students will practice reading exercises e.g. Timed Repeated Reading (TRR) to increase reading skills and fluency. Students will also engage in pair and group work where they will share their reflections on what they have read, and what they have learned for each book. By the end of the course, students will have created a "Reading Portfolio" consisting of a reading log, book reports, summaries, and other written activities. As a rule, Japanese will not be allowed in class.　This class will be mainly taught face-to-face (in a regular classroom) however, depending on the situation with the current pandemic, this may be changed to online.

[Course Schedule]
Week 1: Students will need to bring a computer/tablet or smartphone to class to take a reading placement test. They will log into their XReading account and choose their first book. Students will also set their individual reading goals.
Week 2: SSR; Introduction to TRR; completion of first quiz. Predicting genres and book blurbs
Week 3: SSR; TRR; Describing and evaluating characters; Discussion #1
Week 4: SSR; TRR; Plot structure - Orientation/introduction, Problem, Climax, Solution
Week 5: SSR; TRR; Describing the setting; Discussion #2

Week 6: SSR; TRR; Summarizing
Week7: Mid-tern review: Book report and presentation workshop
Week 8: Mid-term book report due. Students will make a presentation describing their favourite book to date
Week 9: SSR; TRR; Setting personal reading goals 2; Summarizing 2; Discussion 3
Week 10: SSR; TRR; Personal reflections and making recommendations 1
Week 11: SSR; TRR; Personal reflections and making recommendations 2; Discussion 4
Week 12: SSR; TRR; Writing an alternative ending
Week 13: SSR; TRR: Discussion 5
Week 14: Book portfolio due; Final presentation workshop
Week 15: Final book report presentations

Weeks 1-13:
1. Students are expected to engage in extensive reading using Xreading. Students should read about 35 pages per week.
2. Every student must keep a log that shows how much the student read every week and must demonstrate that s/he understood what s/he read. The log must be kept in the prescribed format.
3. Students must be prepared to discuss what they have read with their partner/group tutor.
4. Students should complete assigned homework.
Weeks 14-15: Students should prepare to deliver final presentations and submit a reading portfolio.

教科書・参考書等

Online graded readers: https://xreading.com/login/index.php

オフィスアワー　Wednesday: 13:00-14:00 (Saiwai Campus only) or contact the instructor to make an appointment.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

Students should have a TOEIC score of at least 550 to enter this class.